



2024年度 日本語・日本文化研修留学生 研究レポート集

2024 年 9 月
国際イニシアティブ基幹 日本学教育研究センター

－ 目 次 －

【日本語・日本文化研修留学生】

- 日本語の助詞「で」/「に」とアッサム語の助詞「ত্ৰ」(ta) / 「ৰে」(re)の 対照
研究—『窓際のトットちゃん』の 日本語版とアッサム語版の比較から—
MAZUMDAR KAUSHIK
ティラク・マハーラーシュトラ大学

- 日本人学生とインドネシア人学生における SNS の使い方の類似点と相違点
Muthia Farha Aidil
ビヌス大学

- 日本語の「心」について—『不安の書』に見られる 「心」は英訳の "The
book of Disquiet"ではどのように表現されているか—
FERREIRA PAULO GUILHERME
サンパウロ大学

- 在日ベトナム人技能実習が直面している問題
NGUYEN TRUONG DUY
ドンア大学

- 『みんなの日本語』における漢語サ変動詞が中国人日本語学習者に与える影響
について
陳安娜
浙江師範大学

- コミュニケーションにおけるアイコンタクトの取り方の研究
—スリランカ人と日本人の若者を中心に—
ABEYKOON MUDIYANSELAGE PIYUMI NADEESHA ABEYKOON
ケラニア大学

- 日本語とウズベク語の会話に見られるあいづち表現の比較対照研究
トジマトフ・ドストムハッマド・ショムハッマド・ウグリ
ウズベキスタン国立世界言語大学

2024 年 8 月 7 日提出
日本語・日本文化研究 A (2024 年前期木曜 4 限)
長友文子先生

日本語の助詞「で」 / 「に」とアッ
サム語の助詞「ত」(ta) / 「ৰে」
(re)の 対照研究—
—『窓際のトットちゃん』の 日本
語版とアッサム語版の比較から—

日本語日本文化研修留学生
大学名：Tilak Maharashtra Vidyapeeth
学籍番号：C2310017
氏名：モズムダー コウシク

目 次

1. はじめに	1
2. 基本情報	2
2-1. 日本語の助詞「で」と「に」	2
2-1-1. 「で」の使い方	2
2-1-2. 「に」の使い方	2
2-2. アッサム語	2
2-2-1. アッサム語の助詞「ত」(to)と「ৰে」(re)	3
2-2-2. 「ত」(to)の働き	3
2-2-3. 「ৰে」(re)の働き	3
3. 先行研究	
4. 比較的考察	3
4-1. 「で」を使う例文に対応するアッサム語の例文	4
4-2. 「に」を使う例文に対応するアッサム語の例文	5
4-3. 場面によって日本語の助詞「で」と「に」に対応しているアッサム語の 助詞「ত」(to)と「ৰে」(re)	5
4-4. 結果・類似点と相違点の解説	6
4-5. 様々な場面での使用上の注意点	7
5. 終わりに	8
参考文献	

要旨

本研究は、日本語の助詞「で」と「に」、およびアッサム語の助詞「ত」(ta)と「ৰে」(re)の機能と使用法を対照的に分析することを目的とする。これらの助詞は類似点が多いが、微妙な相違点も多いため、誤用されやすい。したがって、両言語の学習者に対して正確な助詞の使用法に関する注意点を提供することが重要である。本研究により、日本語の助「で」と「に」、アッサム語の助詞「ত」(ta)と「ৰে」(re)の使用における相違点と共通点が明らかになると考えられる。これにより、言語間の意味伝達におけるこれらの助詞の役割についての理解が深まるだけでなく、両言語の学習者に対して正確な助詞の使用法に関する注意点を提供できる。具体的には、異なる文脈における助詞の適切な選択と使用に関する指針を示すことで、学習者が実際の言語運用において誤りを避け、自然な表現を身につけるための支援となることが期待される。

1. はじめに

本研究では、日本語の助詞「で」と「に」とアッサム語の助詞「ত」(ta)と「ৰে」(re)を比較・対照する。具体的には、黒柳徹子の著書『窓際のトットちゃん』の日本語版とアッサム語版を使用し、上述した助詞の使い方を比較する。

日本語やアッサム語のように助詞は言語における重要な要素であり、文法構造や意味の理解に大きな役割を果たす。日本語の助詞「で」と「に」、およびアッサム語の助詞「ত」(ta)と「ৰে」(re)は、それぞれの言語において非常に基本的かつ多用な意味を持つ助詞である。助詞の正確な使い方を理解することは、翻訳や通訳の精度向上にも寄与する。日本語とアッサム語間の翻訳において、「で」と「に」の使い方とアッサム語の「ত」(ta)と「ৰে」(re)の使い方の違いを理解することで、より自然で意味を正確に伝える翻訳が可能になる。しかし、これらの助詞には、どのような共通点や相違点があるかについての詳細な比較研究は、これまであまり行われていない。したがって、日本語の「で」と「に」とアッサム語の「ত」(ta)と「ৰে」(re)の使い方の相違点は明確ではなく、翻訳する際に誤りやすいという問題がある。この問題を解決するためには、日本語の「で」と「に」の使い方とアッサム語の「ত」(ta)と「ৰে」(re)の使い方を区別し、誤りなく使用する方法を明らかにすることが必要である。

本研究には基本的に二つの目的がある。

1. 日本語の助詞「で」と「に」の様々な場面での使い方に対して、アッサム語では「ত」(ta)と「ৰে」(re)をどのように対応しているかを明確にすることである。
2. 日本語学習者とアッサム語を学ぶ日本人学習者が、それぞれの言語の助詞「で」・「に」と「ত」(ta)・「ৰে」(re)の類似点と相違点の理解を深め、注意点を提供することだ。

本研究では『窓際のトットちゃん』の日本語版とアッサム語版を使用する。『窓ぎわのトットちゃん』は、日本のテレビパーソナリティであり、ユニセフ親善大使でもある黒柳徹子を書いた自伝的回想録である。この本は1981年に出版され、日本で「即座にベストセラー」となった。この本は、第二次世界大戦中に黒柳が受けた独特な教育の価値について描いている。その教育は、教育者である小林宗作が設立した東京の小学校、トモエ学園で行われたものである。黒柳徹子はその学園での経験を通じて、多様な学びと自由な発想

の重要性を伝えている。1982年にドロシー・ブリットンにこの本が英語に翻訳され、1996年にはトシャプラバ・カリタによってアッサム語訳を出版されたのである。

『窓際のトットちゃん』の日本語版とアッサム語版から例文を抽出し、日本語の助詞「で」と「に」とアッサム語の助詞「ত」(ta)と「ৰে」(re)の使用法について比較検討を行った。具体的には、各例文における助詞の機能とその文脈での役割を分析し、これらの助詞の類似点と相違点を明らかにした。

以下にこの方法を使用した例を取り上げる。

例

日本語	アッサム語
自由が丘の駅で大井町線から降りると、ママは、トットちゃんの手をひっぱって、改札口を出ようとした。	ওয়িমাছি শাখা ৰে'লৰপৰা তেওঁলোক জিয়ুগাওকা ষ্টেচনত(stationot) নামিল আবু মাকে ত'ত'-চানক টিকেট পৰীক্ষা কৰা গেইটৰ ফালে হাতত ধৰি আগুৱাই নিলে।

両言語の助詞を赤い色で示されている。このように比較したら、この例では、日本語の助詞がアッサム語のどの助詞と対応しているかを理解できる。そして日本語の助詞がどのような場面で使用されているかを理解できれば、同じ場面でアッサム語にはどのような助詞を使われているかが明確になる。

2. 基本情報

2-1. 日本語の助詞「で」と「に」

助詞「で」と「に」は、日本語の文法において非常に重要な役割を果たす。それぞれの使い方を理解することは日本語の習得において不可欠である。文脈に応じて適切に使い分けることで、正確な意味を伝えることができる。それぞれの助詞の働きについて以下で例文を使用して整理する。

2-1-1. 「で」の働き

- (1) 存在の場所：教室にホワイトボードがある。
- (2) 時間：1985年6月3日に生まれた。
- (3) 到達点：目的地に着いた。
- (4) 相手：恋人にチョコレートをあげた。
- (5) 目的：新しい服を買いに行った。
- (6) 対象：みんなの意見に賛成する。

2-1-2. 「に」の働き

- (1) 動作・動きの場所：毎日図書館で勉強します。
- (2) 半段・方法：地下鉄で学校に来ます。
- (3) 原因・理由：事故で電車が止まっている。

2-2. アッサム語

アッサム語 (Assamese または Asamiya・Ôxômiya・অসমীয়া) は、主にインド北東部のアッサム州で話されているインド・アーリア語である。アッサム州の公用語であり、地域全体のリンガ・フランカとして機能している。Ethnologue によると、アッサム語には1500万人以上の母語話者がいる。アッサム語は、他の東インド・アーリア語とともに、7世紀以前に中期インド・アーリア語のマガディ・プラークリットから進化した。アッサム州に固

有の言語であるが、アルナーチャル・プラデーシュ州、メーガーラヤ州、ナガランド州でも話されている。また、現代のミャンマー（ビルマ）やネパールのパシュパティナート寺院でもアッサム語の影響を見ることができる。アッサム語は、インド共和国が認める 22 の公用語の一つであり、アッサム州政府の事務もこの言語で行われている。さらに、世界中にアッサム語を話すディアスポラが存在する。

2-2-1. アッサム語の助詞「ত」(to)と「ৰে」

これらの助詞は、文中の名詞と代名詞の文法的な役割と関係を識別するのに役立つ。したがって、アッサム語での文の適切な構成と理解に役立つ。

2-2-2. 「ত」(to)の働き

「ত (ta)」はアッサム語の位置格助詞であり、名詞に付けてその名詞が指す場所や位置を示すために用いる。英語の「in」「at」「on」に相当する。場所や空間的な位置を表す際に使用される。

- 使用例：
 - হাবিত (Habi-t) : (in the forest)
 - ঘৰত (Ghor-ot) : (in the house)
 - স্কুলত (Skul-ot) : (at school)

2-2-3. 「ৰে」(re)の働き

「ৰে (re)」はアッサム語の手段格助詞であり、行為を実行するための手段や道具を示すために用いる。英語の「with」「by」に相当する。無生物を指す際に使われる。

- 使用例：
 - ছুৰিৰে (Suri-re) : (with a knife)
 - কলমৰে (Kolom-re) : (with a pen)
 - কাৰেঙে (Kareng-re) : (by car)

3. 先行研究

アッサム語の助詞と日本語の助詞を比較する研究はあまりないが、アッサム語の助詞と類似する英語の「prepositions」と日本語の助詞を比較する先行研究ある。例えば、Smith(2024)の研究では、日本語の助詞「に」と「で」が英語の前置詞と比較されている。Smith(2024)によると、「に」は方向や場所を示す際に「to」や「at」と類似しており、「で」は手段や場所を示す際に「by」や「in」に対応するものという。また、Hanazaki and Hanazaki(2016)は、日本語の助詞「に」と「で」の意味役割について、特に空間的文脈における比較を行っている。Hanazaki and Hanazaki(2016)によると、「に」は通常、目標や終点を示す助詞であり、英語では「to」や「at」として訳されることが多く、物事が存在する特定の地点を示し、英語の「in」や「on」にも相当するという。一方、「で」は、主に動作が行われる場所を示す助詞であり、英語の「at」や「in」に相当するという。

4. 比較と考察

ここでは、日本語の助詞「で」と「に」とアッサム語の助詞「ত」(ta)と「ৰে」(re)の使用法について比較する。したがって、以下の 5.1 と 5.2 には『窓際のトットちゃん』の日本語版とアッサム語版から例文を抽出する。5.1 と 5.2 では両言語の助詞を赤い色で示されている。

4.1 「に」を使う例文に対応するアッサム語の例文

トットちゃんは、それまで、あまり電車 <u>に</u> 乗ったことがなかったから、大切に握って切符をあげちゃうのは、もったいないなと思った。	তাই আগতে তেনেকৈ ৰে'লত্ৰ (railot) উঠাই নাছিল। খামোচ মাৰি ধৰি থকা টিকেটটো দি দিবলৈ তাইৰ অকণো মন যোৱা নাই।
トットちゃんは、手を腰 <u>に</u> あてて、観察しながら言った。	“হু-ম-ম”, কঁকালত্ৰ (kokalot) হাত দুখন ৰাখি তাই বিষয়টো সাৱধানে বিবেচনা কৰিলে।
顔があうと、うれしそう <u>に</u> 笑っていった。	সেইকাৰণে চকুৱে চকুৱে পৰোঁতে তাই আনন্দমনেৰে (anondo monere) ক'লে
学校のそばを通るときは、音をおさめにして、チンドン屋さんも、せっかくの頼みだからというので <u>盛大に</u> 始める。クラリネットや鉦やタイコや、三味線 <u>で</u> 。	সাধাৰণতে যদিও স্কুলৰ কাষেদি দলটো নীৰৱে পাৰ হৈ যোৱাটোৱেই নিয়ম, তথাপি তন্ত'-চানৰ অনুৰোধত সিহঁতে উলহ-মালহেৰে (uloh-malohere) কেৰিঅ'নেট, বৰ কাঁহ, ড্ৰাম আৰু জাপানী গিটাৰেৰে (gitarere) এটা সুৰ বজাবলৈ ধৰে
「おたくのお嬢さんがいると、クラス中の迷惑になります。よその学校 <u>に</u> お連れください!」	মই আপোনাৰ ছোৱালীজনীক বেলেগ স্কুললৈ (skoololoi) নিবলৈ আপোনাক ক'বলৈ বাধ্য হৈছোঁ।”
あたし、これから新しい学校 <u>に</u> 行くんで…	নতুন স্কুল এখনলৈ (skool ekhonoloi) যাওঁ...
トットちゃんは、待ってるママのところ <u>に</u> 走っていった。そして、こう叫んだ。「私、切符屋さんになろうと思うんだ!」	তাই মাক বৈ থকা ঠাইলৈ (thailoi) দৌৰি গ'ল আৰু যাওঁতে চিঞৰি গ'ল, “মই টিকেট বেচা মানুহ হ'ম দেই।”
先生 <u>に</u> は「よく注意しますから」といった。	কিন্তু শিক্ষয়িত্ৰীক (xikkhoitrik) তেখেতে মাথোন ক'লে, “মই বাৰু তাইৰ লগত কথা পাতি চাম।”
そこで、改札口のおじさん <u>に</u> 「この切符、もらっちゃいけない?」と聞いた。	“মই এইটো ৰাখিব পাৰিমনে?” তন্ত'চ্চানে টিকেট-পৰীক্ষকজনক (porikkhokjonok) সুধিলে।
また大きな声で、いきなり、「なにしてるの?」と、誰か <u>に</u> 、何かを聞いているんですね。	হঠাতে তাই বাহিৰৰ কাৰোবাক (karubak) চিঞৰি সোধা শুনিবলৈ, বোলে 'কি কৰিছা তোমালোকে?’
ママは、この退学のことをトットちゃん <u>に</u> 話していなかった。	স্কুলৰপৰা খেদাখোৱা বুলি মাকে তন্ত'- চ্চানক (totto chanok) কোৱা নাছিল।

4.2 「で」を使う例文に対応するアッサム語の例文

日本語	アッサム語
自由が丘の <u>駅で</u> 大井町線から降りると、ママは、トットちゃんの手をひっぱって、改札口を出ようとした。	ওয়িমাছি শাখা ৰেলৰপৰা তেওঁলোক জিয়ুগাওকা ষ্টেচনত্ৰ (stationot) নামিল আৰু মাকে তন্ত'-চ্চানক টিকেট পৰীক্ষা কৰা গেইটৰ ফালে হাতত ধৰি আগুৱাই নিলে।
「うちの男の子も、 <u>駅で</u> 働きたいって、いっているから、一緒にやるといいよ」	টিকেট-পৰীক্ষকে এইবাৰ তাইৰ ফালে প্ৰথমবাৰলৈ চকু দিলে, “মোৰ সবু ল'ৰাটোৱেও ষ্টেচনত্ৰ (stationot) কাম কৰিব খুজিছে, গতিকে তোমালোকে একেলগেই কাম কৰিব পাৰিবা।”
窓の <u>ところで</u> 、何をしているんでしょう	U3 “খিড়িকীমুখত্ৰ (mukhot) কিয় থাকে?”

か？	
ママは、なるほど、これでは先生も、お困りだわと思いかけたとたん、先生は、また一段と大きな声 <u>で</u> こういった。	U4 মাকে তেখেতক সহানুভূতি জনাব খোজোঁতেই এ তেখেতে আবু তীক্ষ মাতে <u>ৰে</u> (maate <u>re</u>) ক'বলৈ ধৰিলে
それから先生は立ち上がるとかなり冷たい感じ <u>で</u> とどめをさすように言った。	তাৰ পিছত চকীৰপৰা উঠি তেখেতে নিৰুত্তাপ মাতে <u>ৰে</u> (niruttap maate <u>re</u>) ক'লে
この間まで行っていた学校のものは、立派なコンクリートみたいな柱 <u>で</u> 、学校の名前も大きく書いてあった。	U6 তাই আগতে যিখন স্কুললৈ গৈছিল তাৰ গে'ইট খনৰ দুকাষে দুটা ধুনীয়া কংক্ৰিটৰ খুটা <u>ত</u> (khut <u>at</u>) ডাঙৰ ডাঙৰ আখৰেৰে স্কুলখনৰ নামটো লিখা আছিল।

4.3 場面によって日本語の助詞「で」と「に」に対応しているアッサム語の助詞「ত」(to)と「ৰে」

場面によって 5.1 と 5.2 の例文を整理して両言語の同じ場面での例文で使用されている助詞を比較すると以下のようなことが明らかになる。

①日本語の助詞「で」を動きの場所を表すために使うのに対してアッサム語では「ত」(ta)が使われている。

例

日本語	アッサム語
「うちの男の子も、駅 <u>で</u> 働きたいって、いっているから、一緒にやるといいよ」	টিকেট-পৰীক্ষকে এইবাৰ তাইৰ ফালে প্ৰথমবাৰলৈ চকু দিলে, “মোৰ সবু ল'ৰাটোৱেও ষ্টেচন <u>ত</u> (station <u>ot</u>) কাম কৰিব খুজিছে, গতিকে তোমালোকে একেলগেই কাম কৰিব পাৰিবা।”

②日本語の助詞「で」を材料・原料を表すために使うのに対してアッサム語では「ৰে」(re)が使われている。

例

トットちゃんの頃のラジオは、大きくて、木 <u>で</u> 出来ていた。	ত'ত'-চ্চান সবু হৈ থকা দিনত ৰেডিঅ'বোৰ ডাঙৰ আবু কাঠে <u>ৰে</u> (kath <u>ere</u>) সজা আছিল।
--------------------------------------	---

③日本語の助詞「に」を存在の場所を表すために使うときにも同じ場面でアッサム語では「ত」(ta)が使われている。

例

日本語	アッサム語
講堂は、さっきトットちゃんが上って来た石の階段の、つきあたり <u>に</u> あった。	সভাভৱনটো আছিল ত'ত'-চ্চানে কিছু আগতে দেখা ছিৰিকেইটাৰ মূৰ <u>ত</u> (muro <u>t</u>)।

④. 日本語の助詞「に」を時間を表すために使われているのに対して、アッサム語では「ত」

(ta)を使われている。

例

日本語	アッサム語
そして、今でも十一月三日 <u>に</u> は、必ず私達と一緒に集ります。	ত'মে'ৰ তিনি নবেম্বৰ পুনর্মিলন <u>ত</u> (punormilon <u>ot</u>) যোগদান নকৰাকৈ কেতিয়াও নাথাকে।

⑤. 手段を表すために日本語では「で」を、アッサム語では「ৰে」(re)が使われている。

例

日本語	アッサム語
ママは、なるほど、これでは先生も、お困りだわと思いかけた。とたん、先生は、また一段と大きな声 <u>で</u> こういった。	মাকে তেখেতক সহানুভূতি জনাব খোজোঁতেই এ তেখেতে আবু তীক্ষ্ম মাতে <u>ৰে</u> (maate <u>re</u>) ক'বলৈ ধৰিলে।

⑥. 目的地を表すために日本語では「に」をアッサム語では「লৈ」(loi)が使われる。

例

日本語	アッサム語
あたし、これから新しい学校 <u>に</u> 行くんで…	নতুন স্কুল এখন <u>লৈ</u> (skool ekhonol <u>oi</u>) যাওঁ…

⑦. 相手を表すために日本語では「に」を、アッサム語では「ক」(ka)が使われる。

例

日本語	アッサム語
そこで、改札口のおじさん <u>に</u> 「この切符、もらっちゃいけない?」と聞いた。	“মই এইটো ৰাখিব পাৰিমনে?” তন্ত'জানে টিকেট-পৰীক্ষকজন <u>ক</u> (porikkhokjon <u>ok</u>) সুধিলে।

⑧. 対象を表すために日本語では「に」を、アッサム語では「ত」(ta)が使われる。

例

日本語	アッサム語
トットちゃんは、手を腰 <u>に</u> あてて、観察しながら言った。	“হ-ম-ম”, কঁকাল <u>ত</u> (kokal <u>ot</u>) হাত দুখন ৰাখি তাই বিষয়টো সাৱধানে বিবেচনা কৰিলে।

4.4 結果・類似点と相違点の解説

使い方	助詞	
	日本語	アッサム語
動作・作用の場所	で	「ত」(ta)
手段	で	「ৰে」(re)
原因	で	*注意 d

材料・原料	で	「ৰে」 (re)
-------	---	-----------

使い方	助詞	
	日本語	アッサム語
存在の場所	に	「ত」 (ta)
時間	に	「ত」 (ta) *注意 e
到達点	に	「ত」 (ta)
相手	に	「ক」 (ka) *注意 b
対象	に	「ত」 (ta) *注意 j
目的地	に	「লৈ」 (loi) *注意 c

以上の表は、日本語とアッサム語の助詞の使い方の類似点と相違点について説明している表である。

日本語の「で」に対応するアッサム語の助詞は、動作・作用の場所では「ত」 (ta)、手段では「ৰে」 (re)、材料・原料でも「ৰে」 (re)である。原因に関しては注意事項があり、アッサム語の助詞が明記されていない。日本語の「に」に対応するアッサム語の助詞は、存在の場所と時間と到達点では「ত」 (ta)であるが、相手では「ক」 (ka)、対象では「ত」 (ta)である。目的地に対するアッサム語の助詞は「লৈ」 (loi)である。表には複数の注意事項があり、それぞれの詳細な説明が次に記載されている。

4.5 様々な場面での使用上の注意点

a. 受け身・授受の対象を表すとき

受け身や授受の対象を表す際に日本語では「に」を使われますがアッサム語では受け身形を避ける傾向があるので「ত」・「ৰে」とは別の助詞 কে が使われる。

例：先生に褒められる = শিক্ষকে প্রশংসা কৰিছে (shikhoke prashamsa korise)

b. 相手を表すとき

日本語では助詞「に」を使われているが、アッサム語では「ত」・「ৰে」とは別の助詞「ক」 (ka)が使われている。

例：そこで、改札口のおじさん に「この切符、もらっちゃいけない?」と聞いた。= “মই এইটো বাখিব পাৰিমনে?” তন্তু'চানে টিকেট-পৰীক্ষকজন ক সুধিলে।

c. 目的地を表すとき

日本語では助詞「に」を使われているが、アッサム語では「ত」・「ৰে」とはまた別の助詞「লৈ」 (loi)が使われている。

例：あたし、これから新しい学校 に行くんで = নতুন স্কুল এখন লৈ যাওঁ।

d. 原因を表すとき

日本語では助詞「で」を使われているが、アッサム語では「ত」・「ৰে」を使えない。代わりに「বৃষ্টিৰ ফলত (bristir pholot)」=「雨のため」、「দুর্ঘটনাৰ বাবে (durghotonar babe)」

= 「事故のため」のような表現が使われている。

e. 時間の経過を表すとき

日本語の使用：何かにかかる時間を表現するために「で」使われます。

一方、アッサム語では 時間の長さは、直接的な助詞ではなく文脈と動詞「ত」を通じて表現されることが多いです。

例：1時間で終わる (Finish in one hour) -> এটা ঘণ্টাৰ ভিতৰত শেষ হব (eta ghantar bhitorot sesh hobo)

f. 手段格助詞「ৰে(re)」

アッサム語では無生物に対して **ৰে(re)** が使用されるが、生物に対しては、手段格助詞 **দ্বাৰা** (dwara) が使用され、手段を示す。

例：তেওঁ কলমৰে লিখিলে (Teo kolom-re likhile) (彼はペンで書いた)

例：মই তাৰ দ্বাৰা কামটো কৰাইছো (Moi tar dwara kamtu koraichu) (私は彼にその仕事をしてもらった)

g. ～に～てもらふ・いただく

日本語でこういう場合対象を示すために助詞「**に**」が使われるが、アッサム語では対象を示すために「**ক**」(ka)が使われている。

例：「海のもの、山のもの」のお弁当を、校長先生に見てもらうんだ = হে'ডমাষ্টাৰক “মহাসাগৰৰপৰা কিবা অলপ, পাহাৰৰপৰা কিবা অলপ”ৰ সৈতে আহাৰখিনি দেখুৱাব।

h. 感情を表す形容詞＋そうに (例えば～ 嬉しそうに)

このような誰かの感情の様子を表すために日本語で「～そう**に**」のような表現が使われるが、アッサム語では感情＋助詞「**ৰে**」が使われている。

例：顔があうと、うれしそうに笑っていった = সেইকাৰণে চকুৱে চকুৱে পৰোঁতে তাই আনন্দমনেৰে ক'লে

i. 方向を示すとき

方向を示すとき日本語では助詞「**に**」が使われているが、アッサム語では「**ফালে**」(～方向に)のような表現が使われている。

例：校長室は、電車ではなく、ちょうど門から正面に見える扇型に広がった七段ぐらいある石の階段を上った、その右手にあった。 = হেডমাষ্টাৰ অফিছটো ডবাত নহয়, গেইটৰ বিপৰীতে সাত খল পা অৰ্ধবৃত্তাকাৰ পাথৰৰ ছিৰি ওপৰত থকা এটা এমহলীয়া ঘৰৰ সোঁফালে।

j. 対象を示すとき

対象を表すために日本語では「**に**」を、アッサム語では「**ত**」(ta)を使われる。しかし、対象が人である場合はアッサム語では「**ক**」(ka)が使われている。

例

先生には 「よく注意しますから」といった = কিন্তু শিক্ষয়িত্ৰীক তেখেতে মাথোন ক'লে, “মই বাবু তাইৰ লগত কথা পাতি চামা”

5. 終わり

本研究では、日本語の助詞「で」と「に」と、アッサム語の助詞「ত」(ta)と「ৰে」(re)を対照的に分析し、それぞれの使用方法と機能について比較検討した。『窓際のトットちゃん』の日本語版とアッサム語版を例に取り、両言語の助詞の使い方を具体的な文脈で示した。

日本語の助詞「で」と「に」は、多様な場面で異なる意味と機能を持つため、使い分け

が重要である。一方、アッサム語の助詞「ত」(ta)と「ৰে」(re)も同様に、文の意味を正確に伝えるために適切な使用が求められる。本研究を通じて、両言語の助詞の共通点と相違点を明らかにすることで、日本語とアッサム語の学習者に対して、正確な助詞の使用方法に関する指針を提供することができた。

具体的には、日本語の助詞「で」がアッサム語の「ত」(ta)に、また「に」が「ৰে」(re)に対応することが多いことを確認した。しかし、細かな文脈や意味の違いにより、一部の例では異なる対応が必要となる場合もあることが分かった。この点を踏まえて、学習者は両言語の助詞の使用において、文脈を考慮しながら適切に選択することが重要である。

今後の研究では、より多くの例文を分析し、さらなる助詞の使い方の違いを明らかにすることで、より深い理解を得ることが期待される。また、他の言語との比較研究も行うことで、日本語やアッサム語の助詞の特性をより広い視点から捉えることができるだろう。

最後に、本研究の結果が、日本語とアッサム語の学習者の言語運用において役立つことを願っている。本研究に上述した両言語の助詞の正確な理解と使用が、自然な表現を身につけるための一助となることを期待している。

参考文献

- 1) Wikipedia, the free encyclopedia 「Assamese language」 (2024/07/10) <https://en.wikipedia.org/wiki/Assamese_language> (参照 2024/07/08)
- 2) Wikipedia, the free encyclopedia 「Assamese people」 (2024/07/08) <https://en.wikipedia.org/wiki/Assamese_people> (参照 2024/07/10)
- 3) 黒柳 徹子 (2023) 『窓ぎわのトットちゃん』 講談社
- 4) তেজুকো কুৰ'য়ানাগি (1996) অসমীয়া অনুবাদ নেশ্যনেল বুক ট্ৰাষ্ট, ইণ্ডিয়া [Totto-chan (Assamiya)] সঞ্চালক, নেশ্যনেল বুক ট্ৰাষ্ট, ইণ্ডিয়া
- 5) スリーエーネットワーク; 第2版 (2012) 『みんなの日本語 初級』 スリーエーネットワーク出版社
- 6) 仲山 淳子 (2022) 『日本語文法ブラッシュアップトレーニング』 アルク出版社
- 7) Abdul Mozid Sheikh (2021) 「Case and Case-ending of the Bengali and Assamese Language: A Contrastive Study」 『JOURNAL OF CRITICAL REVIEWS』 8-1, pp. 494-497 <<https://www.jcreview.com/admin/Uploads/Files/61bb1e83534281.03244311.pdf>> (参照 2024/07/02)
- 8) The classic journal 「The Unrealized Universality of Phrase Structure An Analysis of Similarities Between Japanese and English」 (2020/11/11) <<https://theclassicjournal.uga.edu/index.php/2020/11/11/the-unrealized-universality-of-phrase-structure/>> (参照 2024/07/31)
- 9) HANAZAKI, MIKI & HANAZAKI, KAZUO (2016) 「WORDS THAT SEEM TO DENOTE "PLACES" IN ENGLISH AND JAPANESE: ENGLISH PREPOSITIONS AND JAPANESE POSTPOSITIONS」 (2016/06/07) <<https://huichawaii.org/hanazaki-miki-kazuo-hanazaki/>> (参照 2024/07/31)

2024 年 8 月 7 日提出
日本語・日本文化研究 A (2024 年前期木曜 4 限)
長友文子先生

日本人学生とインドネシア人学生 における SNS の使い方の 類似点と相違点

日本語日本文化研修留学生
大学名: BINUS University (ビヌス大学)
学籍番号: C2310015
氏名: Muthia Farha Aidil
ムティアファルハアイディル

目 次

1. はじめに	1
2. 先行研究	1
3. 研究方法	2
4. アンケート調査分析と結果	2
4.1. セクション1	2
4.2. セクション2	6
4.3. セクション3	9
5. おわりに	12

参考文献

1. はじめに

グローバル化したデジタル時代において、SNS を利用するという現象は、日常生活において必要なものとなっている。特に若い世代では、Facebook、Instagram、X (旧 Twitter)、Tumblr、TikTok など、さまざまな SNS プラットフォームを毎日利用するようになっている。デジタルに繋がる世代の一員である学生たちは、さまざまな目的で SNS プラットフォームを積極的に利用する傾向があり、主な目的はコミュニケーション手段である。SNS の使い方は時代とともに変化してきたが、SNS の使い方が最も大きく変わったのはコロナウイルスの大流行時である。以前はコミュニケーションの手段としてのみ使われていた SNS プラットフォームが、今では学習や情報収集のためのプラットフォームとしても使われている。

インドネシアは世界で最も多くの SNS ユーザーがいる国の一つである。インドネシアの学生は、友達とのコミュニケーション、情報の検索、デジタル・アイデンティティの構築など、様々な目的で様々な SNS プラットフォームを積極的に利用している。一方、日本には SNS の利用においてユニークな特徴がある。日本は技術が発達しているものの、より閉鎖的な社会文化であるため、日本の学生の SNS 利用はインドネシアの学生とは異なっている。最も頻繁に使われている SNS プラットフォームのひとつがInstagramだ。

We Are Social によると、2024 年初頭の時点で、世界のInstagramユーザー数は 20 億人に増加。インドネシアだけでも、Instagramのユーザー数は 2024 年初頭に 1 億 900 万人に達すると言われていた。一方、日本のユーザー数は 2024 年初頭に 5545 万人と言われていた。

インドネシアと日本の学生は異なる生活環境、社会環境で育っている。しかし、インドネシアの学生と日本の学生のInstagramの利用には類似点もあることは否定できない。インドネシアと日本の大学生の SNS 利用における共通点と相違点を理解することで、本研究は日常生活で SNS を利用する両国の若者が受けるであろう影響を明らかにする。

2. 先行研究

Yi-Ting Huang と Sheng-Fang Su の研究論文「Motives for Instagram Use and Topics of Interest among Young Adults」(2018) では、大学や大学院で学ぶInstagramユーザーの利用動機と関心のある話題について調査されている。全体として、Instagramの利用動機は、主に社会的交流や娯楽のためだと言われている。

一方、Instagramの投稿作成レベルは低く、Instagramが視覚的コミュニケーションを重視していることが、若者の社会的コミュニケーションにおけるサイバー心理学的ニーズに広く受け入れられていることを示している。

その研究では、研究者は専攻に基づいて被験者を 2 つに分けた。研究対象者を専攻別に分けた結果、Instagramを利用する 9 つの動機に有意差が見られ、そのうち 8 つは誰かの投稿を閲覧する動機であった。また、ほとんどの動機が社会的交流や創造性に関わる

ものであった。各質問項目の平均点は、専攻に関係なく3点以上であった。工学専攻の学生はデザイン専攻の学生よりも社会的交流の動機が多く、デザイン専攻の学生は工学専攻の学生よりも創造性の動機が強かった。

3. 研究方法

研究方法については、アンケート調査を行った。アンケートはビナ・ヌサンタラ大学のインドネシア人学生と和歌山大学の日本人学生にアンケートに協力していただいた。アンケートは3つのセクションに分かれている。セクション1は、Instagramのアカウント利用に関する基本的な質問である。セクション2は、大学生活におけるInstagramの利用に関する質問である。最後のセクション3は、Instagramを利用しているときに感じることについての質問である。

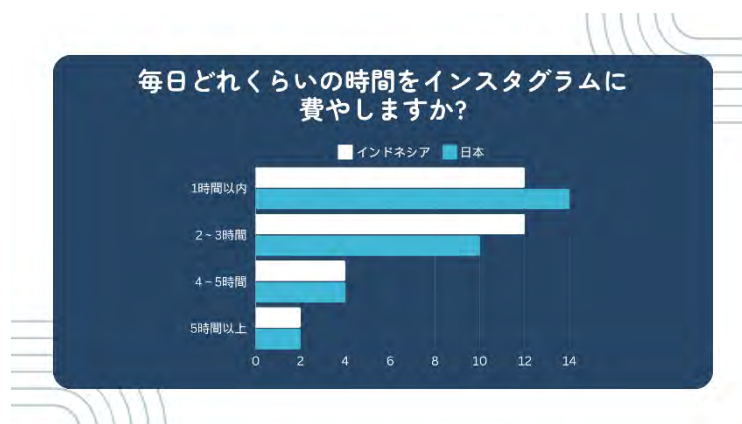
4. アンケート調査分析と結果

アンケートに回答する期間は2024年8月5日から8月17日までとした。回答者がアンケートを終えるのに要した時間は平均7分であった。回答者は、ビナ・ヌサンタラ大学と和歌山大学の10代から20代の学生であった。最終的に、ビナ・ヌサンタラ大学と和歌山大学のInstagramアカウントを持つインドネシア人学生と日本人学生から合計60件の有効な回答を得た。

4.1. セクション1

回答者のInstagram利用状況を調査したところ、出身国によって2つのグループに分けられた。さらに大学別に分けた。セクション1では、Instagramの利用に関する8つの基本的な質問をした。

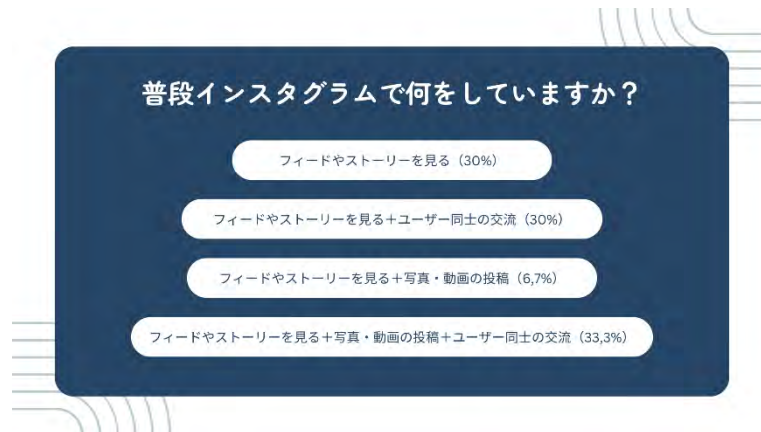
グラフ 1.1.



グラフ 1.1. では、Instagramの利用時間を調べた。グラフから、日本人学生のInstagram利用時間は1日1時間以内が多いことがわかる。一方、インドネシア人学生

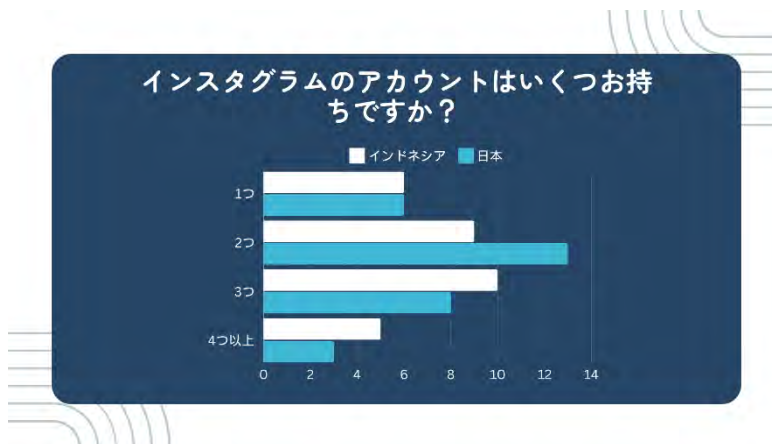
のInstagram利用時間は、1 時間以内と 2～3 時間の 2 つに分かれる。次にグラフ 2 を見ると、両国の学生のほとんどが、フィードやストーリーを見ること、写真や動画の投稿、ユーザー同士の交流など、さまざまなことを行うためにInstagramを利用していることがわかる。

グラフ 1. 2.

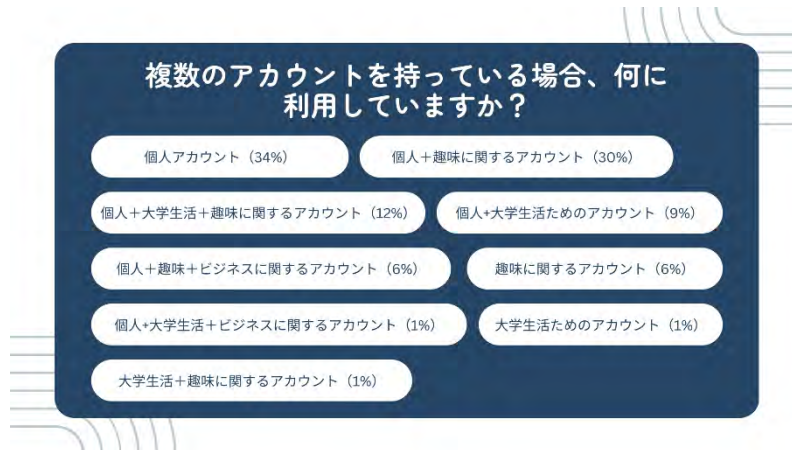


下のグラフ 1. 3. では、日本人学生とインドネシア人学生の多くが 1 つ以上のアカウントを持っていることがわかる。日本人学生は 2 つのアカウントを持っている人が多く、インドネシア人学生は 3 つのアカウントを持っている人が多い。

グラフ 1. 3.

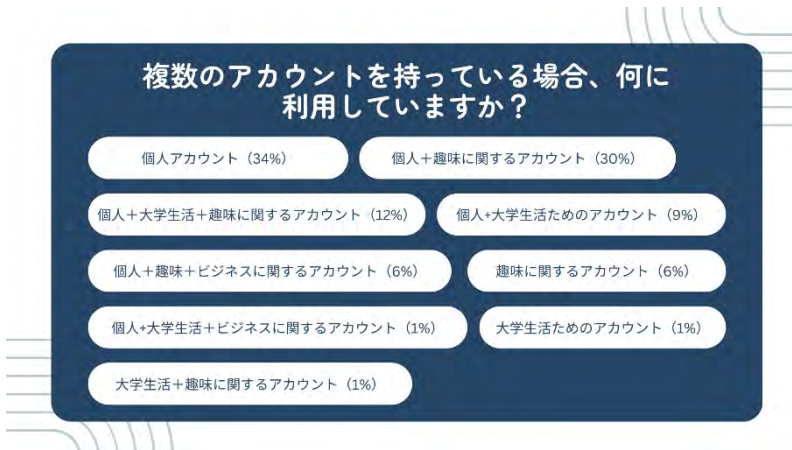


グラフ 1.4.

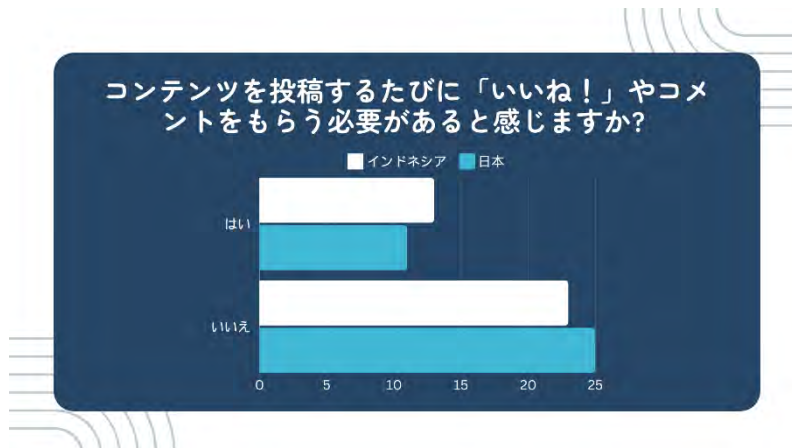


グラフ 1.4. では、両国の学生の多くがインスタグラムを「個人的なアカウント」として利用していると回答している。

グラフ 1.4.

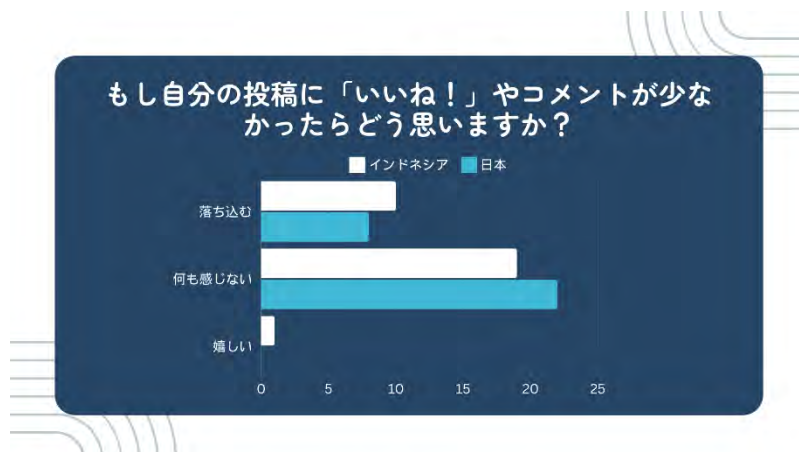


グラフ 1.5.

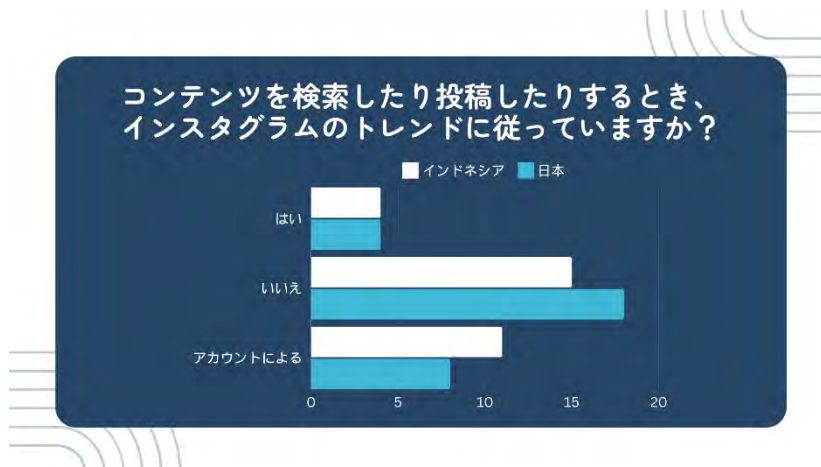


また、グラフ 1.5. では、両国の学生の 3 分の 2 が、インスタグラムにコンテンツを投稿するたびに「いいね！」やコメントをもらうことの重要性を感じていないと見られる。グラフ 1.5 と関連して、グラフ 1.6 では、両国の学生の約 68% が、インスタグラムの投稿に「いいね！」やコメントが少なくても何も感じないと回答している。

グラフ 1.6.

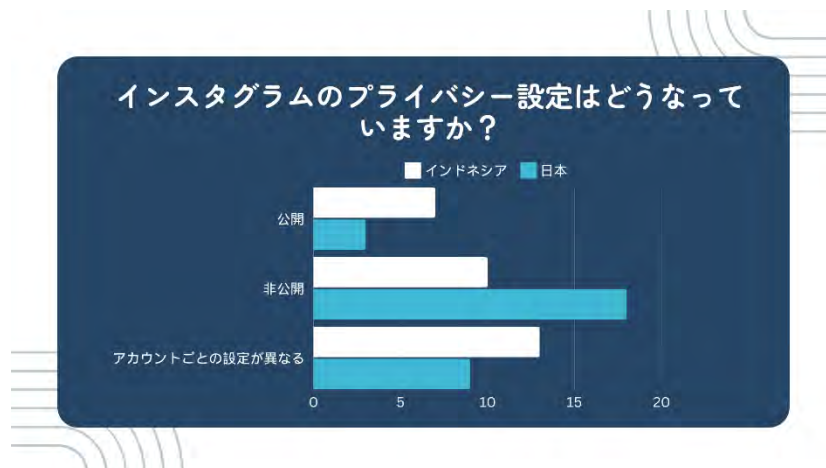


グラフ 1.7.



グラフ 1.7 を見ると、インドネシア人学生と日本人学生の半数以上が、インスタグラムにコンテンツを投稿する際、トレンドに従っていないことがわかる。さらに、セクション 1 の最後のグラフ 1.8. では、多くの日本人学生がインスタグラムのアカウントを非公開にしていることがわかる。インドネシア人学生に関しては、インスタグラムのアカウントを非公開しているか、アカウントごとに異なる設定をしているかという答えは、実質的にわずかな差である。

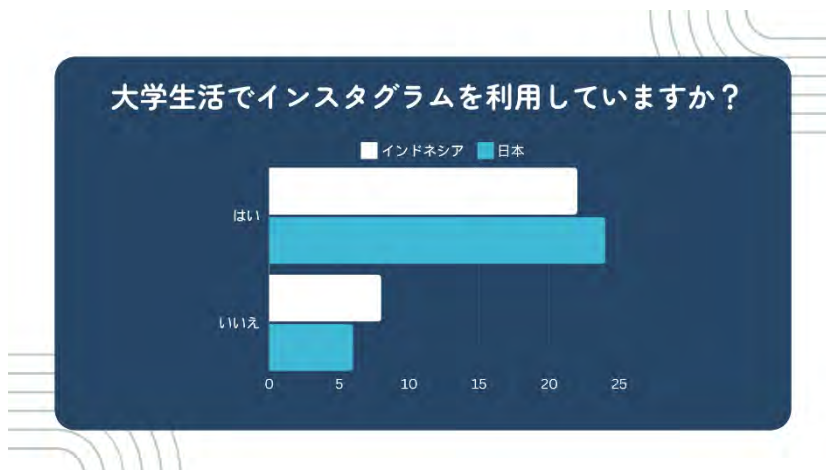
グラフ 1.8



4.2. セクション2

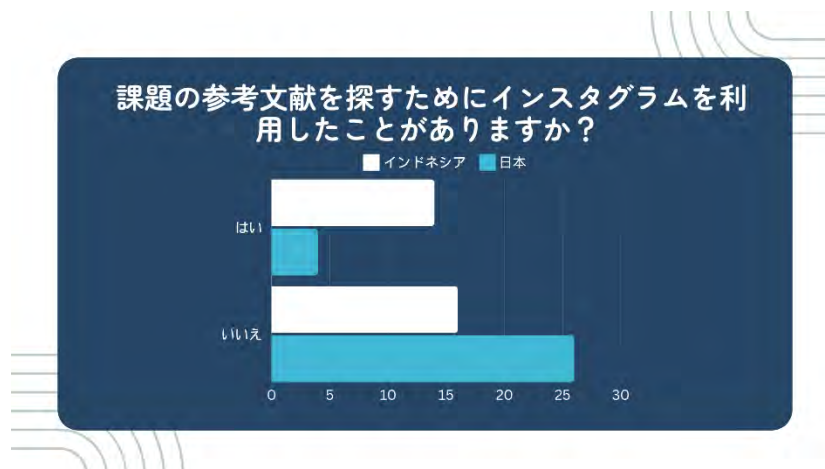
前セクションで述べたように、本研究はインドネシアと日本の大学生を対象としている。そこで、このセクション2では、インドネシア人学生と日本人学生の大学生活におけるInstagramの利用に関する質問を中心に調査を行った。このセクション2の中の質問は全部で6つある。

グラフ 2.1



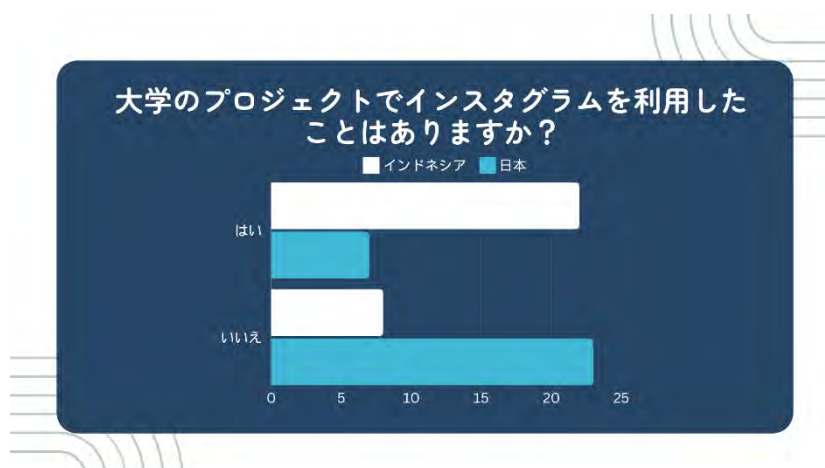
グラフ 2.1 を見ると、両国の学生の約7割が大学生活でInstagramを利用していることがわかる。次にグラフ 2.2 を見ると、このアンケートに回答した日本の学生のほとんどが、授業で参考文献を探すためにInstagramを利用していないことがわかる。一方、インドネシアの学生については、ほぼ半々に回答が分かれていることがわかる。

グラフ 2.2

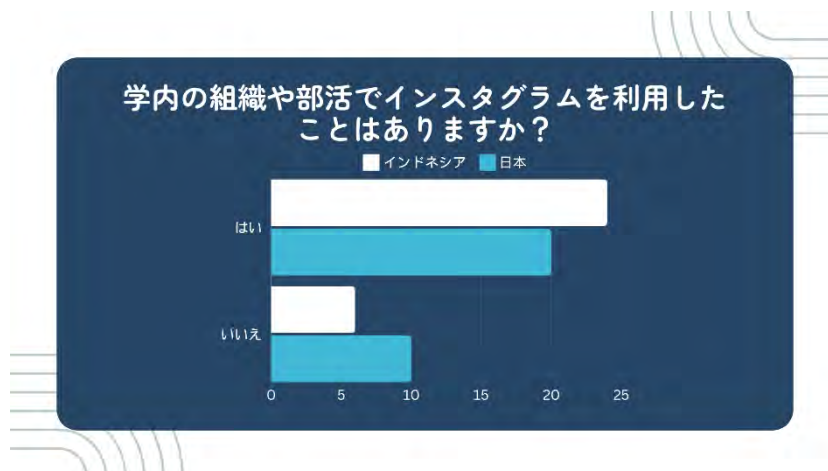


大学のプロジェクトにおけるInstagramの利用について述べたグラフ 2.3 では、グラフ 2.2 と同様に、ほとんどの日本人学生が「いいえ」と回答している。一方、インドネシア人学生の約 9 割が、大学のプロジェクトにInstagramを利用していると回答している。また、前の 2 つのグラフと関連してはいるが、グラフ 2.4 では異なる結果が出ており、インドネシア人と日本人の学生の多くが、学内の組織や活動でInstagramを利用していると回答している。

グラフ 2.3

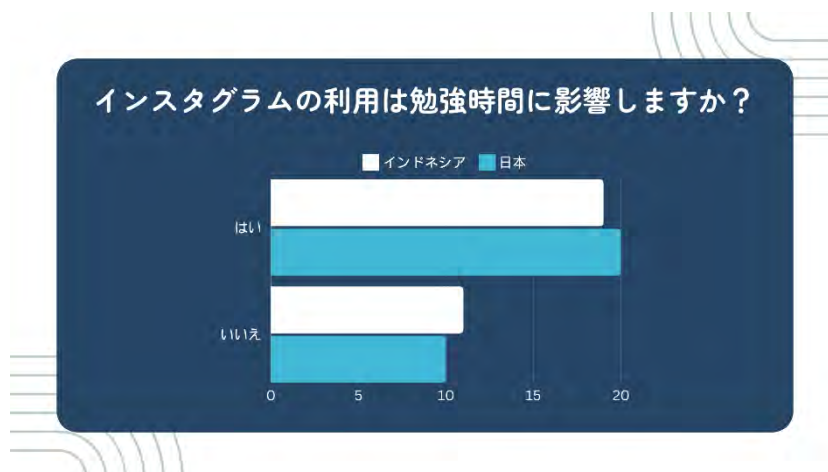


グラフ 2.4

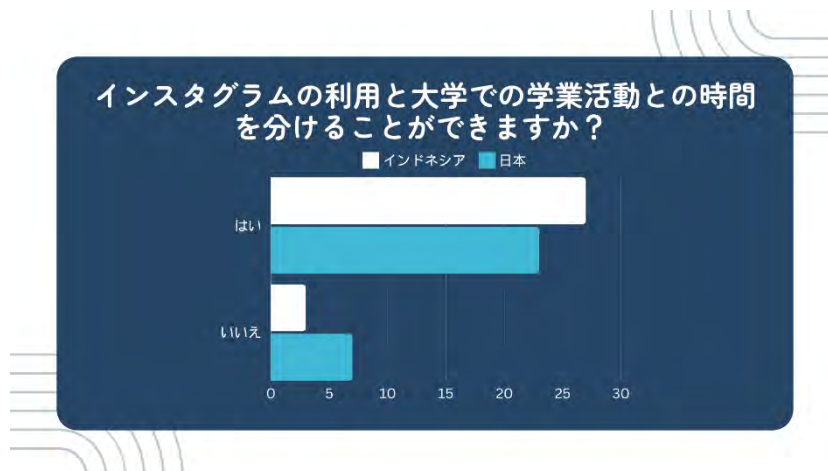


グラフ 2.5 を見ると、両国の学生の多くが同じ意見であることから、Instagramの利用が勉強時間に影響を与えていることがわかる。しかし、そうでないとする学生たちもいる。最後にグラフ 2.6 を見ると、両国の学生の約 8 割が、Instagramの利用と学業活動との時間を分けることができると回答している。

グラフ 2.5



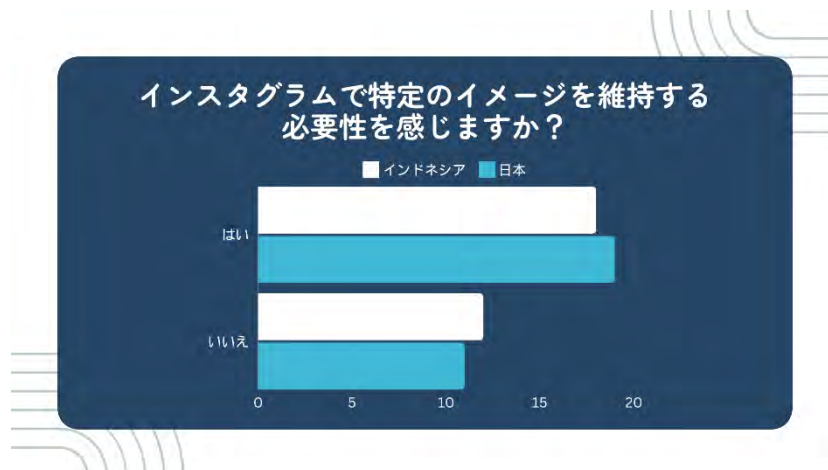
グラフ 2.6



4.3. セクション3

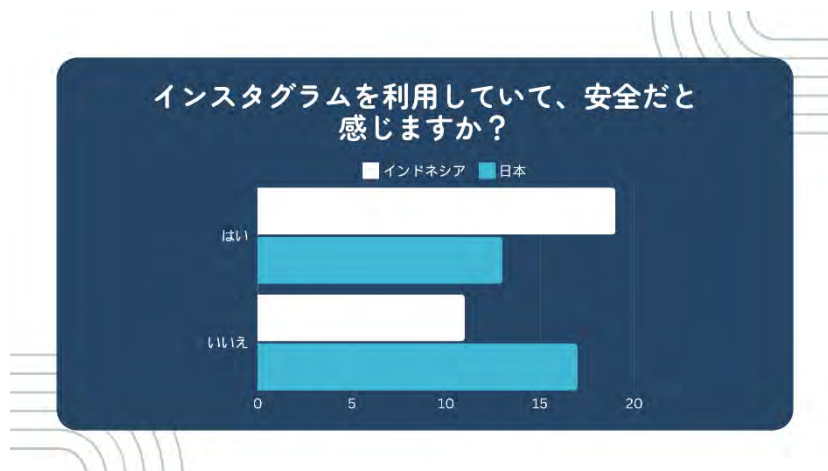
最後のセクション3では、ビナ・ヌサンタラ大学と和歌山大学の学生が回答したInstagram利用の影響に関する回答について述べる。このセクション3の質問は全部で5つある。

グラフ 3.1.



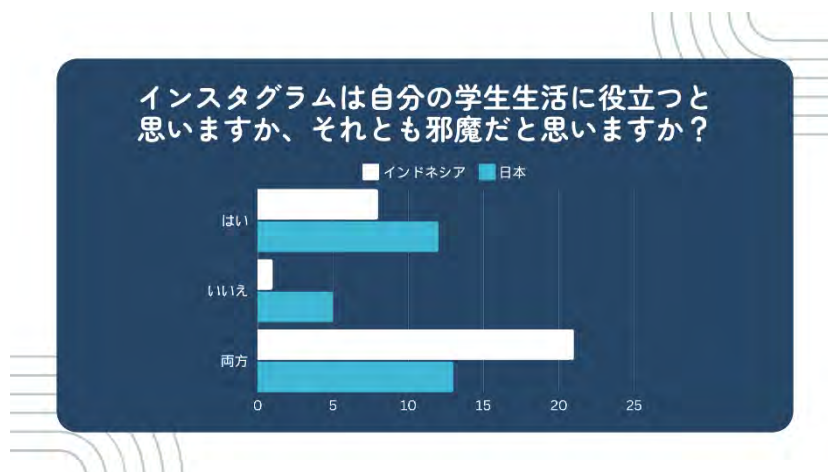
グラフ 3.1 を見ると、インドネシア人学生と日本人学生の約 3 分の 2 が、Instagram を利用する際にイメージ維持の必要性を感じていることがわかる。

グラフ 3.2

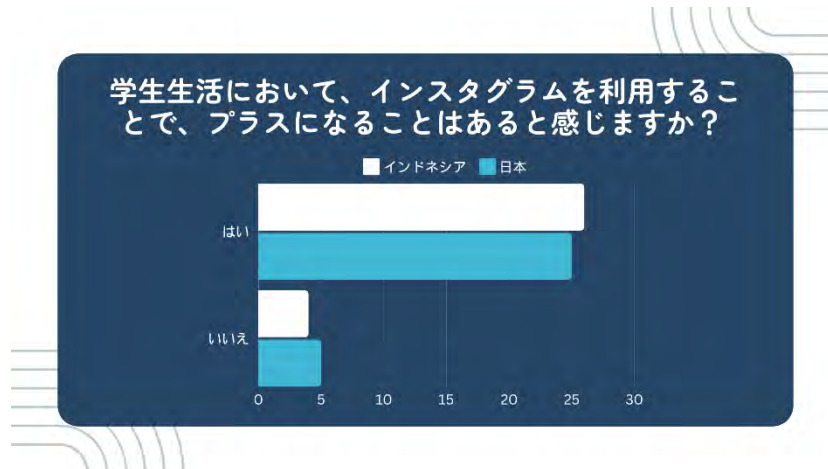


グラフ 3.2 では、Instagramを利用する際の安全感について質問したところ、インドネシア人学生のほとんどが「はい」と回答していることがわかる。一方、日本人学生のほとんどは、Instagramを利用しているときに安全でないと感じている。また、グラフ 3.3 では、インドネシア人学生のほとんどが「両方」と回答しており、Instagramの利用が学生生活に役立つこともあれば、邪魔になることもあると感じていることがわかる。日本人学生に関しては、「はい」と「両方」と答えた学生たちがほぼ同じライン上にいることがわかる。

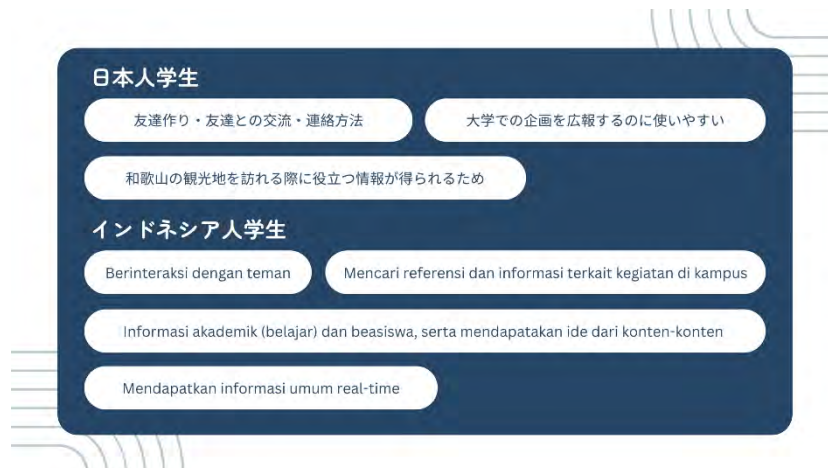
グラフ 3.3



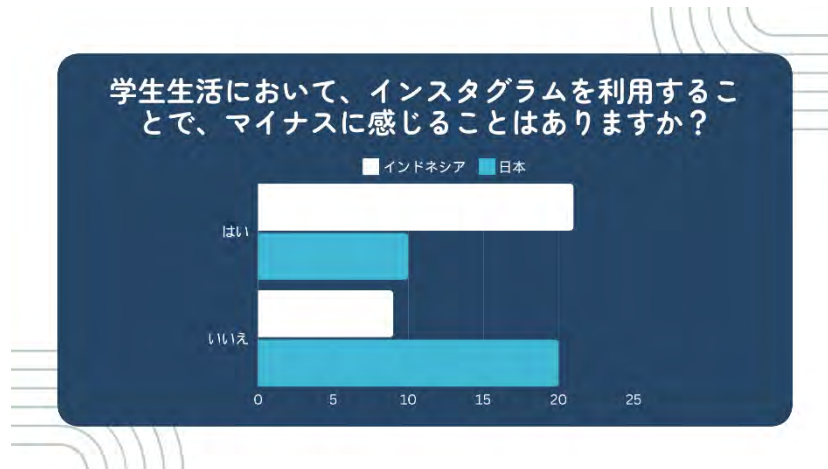
グラフ 3.4



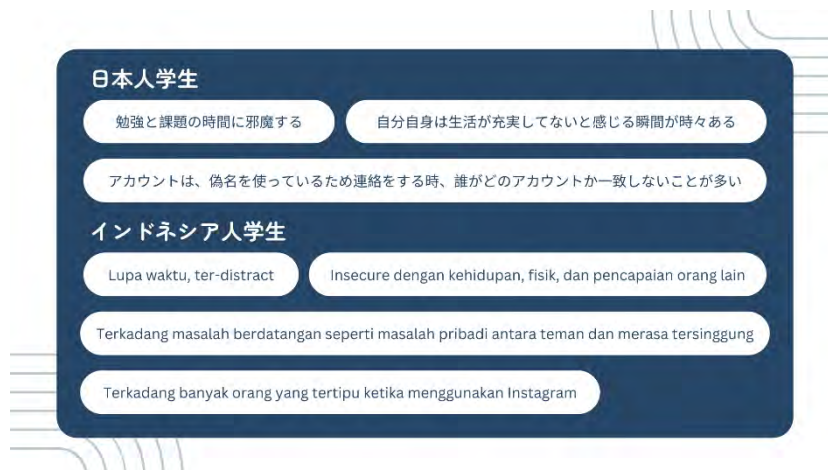
グラフ 3.4 では、学生としてInstagramを利用することにプラスがあるかどうかを説明している。このグラフから両国の学生の約 85%が、Instagramの利用には学生が感じるプラスになることがあることに同意していることがわかる。また、インドネシアと日本の学生ともに、Instagramを利用することでプラスになることとして最も多く挙げられているのが「友達との交流」である。インドネシア人学生にとっては、友達との交流に加え、学内イベントや奨学金などの情報を見つけることも多く挙げられている。



グラフ 3.5



最後のグラフ 3.5 を見ると、Instagramを利用することにマイナスなことはないと答えた日本人学生に比べ、インドネシア人学生の方が、Instagramを利用することにマイナスなことがあると考えていることがわかる。また、「はい」と答えた学生の主な理由は、「勉強と課題の時間の邪魔をする」であった。これは両国の学生に共通している。その他の理由としては、Instagramを見て、自分よりも他の人の生活がよく思えるので、他の人よりも自分の私生活が充実していないと感ずることなどがあげられる。



5. おわりに

本研究は、インドネシア人学生と日本人学生のInstagramの利用における類似点と相違点を調べるのが目的であった。その結果、類似点の方が多いことがわかった。その主な類似点は、まず時間の使い方、アカウントの数、友人との交流のためである。相違点は、1 つはアカウントプライバシーである。日本人学生は非公開にしているが、インドネ

シア人学生はアカウントごとに設定が異なる。もう 1 つは、インドネシア人学生は学術や奨学金の情報を検索するために利用しているが、日本人学生はそのような目的でインスタグラムを利用しておらず、ただ交流のためだということがわかる。両国の学生は、インスタグラム利用についてマイナスの影響を感じているにもかかわらず、プラスになっている部分が多いので、インスタグラムの利用を続けている。

この研究から、両国の学生は今後も SNS を利用し続けると考えられ、SNS の利用が学生生活において他の多くのプラス面につながることを期待される。

(以上、4464 字)

参考文献

- 1) “Global Social Media Statistic” . DATAREPORTAL. 2024.
<https://datareportal.com/social-media-users>, (2024-07-10)
- 2) Simon Kemp. “Digital 2024: Indonesia” . DATAREPORTAL. 2024-02-21.
<https://datareportal.com/reports/digital-2024-indonesia>, (2024-06-28)
- 3) Simon Kemp. “Digital 2024: Japan” . DATAREPORTAL. 2024-02-21.
<https://datareportal.com/reports/digital-2024-japan>, (2024-06-28)
- 4) Yi-Ting Huang. Sheng-Fang Su. “Future Internet: Motives for Instagram Use and Topics of Interest among Young Adults” . MDPI. 2018-08-09. <https://doi.org/10.3390/fi10080077>, (2024-05-30)

2024 年 8 月 7 日提出
日本語日本文化研究 A (2024 年前期木曜 4 限)
長友文子先生

日本語の「心」について
—『不安の書』に見られる「心」は
英訳の “The book of Disquiet” では
どのように表現されているか—

出身大学の大学名：サンパウロ大学
学籍番号：C2310019
氏名：FERREIRA PAULO GUILHERME

目次

1. はじめに.....	3
2. 「心」の持つ意味.....	4
3. 『不安の書』：日本語と英語の作品.....	5
4. 英語版と日本語版の例文.....	6
5. まとめ.....	9
参考文献.....	9

1. はじめに

本留学プログラムを終了するにあたり、選んだテーマに沿って終了レポートを書くことが求められている。私は、日本とブラジルの異文化や日伯関係、あるいは日本語とポルトガル語の対照的なアプローチを用いて、両言語の違いと類似点を分析することを考えた。最終的には後者のテーマを選んだ。

テーマを選定した後、和訳されたポルトガル語の小説を探しました。過去に読んだことのある『Livro do Desassossego』の和訳を見つけた。この本は、1910年代から1930年代にかけてフェルナンド・ペソアによって書かれた複数の文書を基に、1982年に初めて発刊された近代文学の作品である。ペソアは人間の深い感情を描く作家だった。彼の作品は、個々の心の内面に触れる深い洞察力と独自の視点を提供してくれる。

本レポートで扱う『Livro do Desassossego』は、日本では「不穩の書」と「不安の書」という二つの翻訳タイトルで販売されている。どちらのタイトルにも「不」の漢字が使われていることに気付いた。ポルトガル語の“desassossego”という言葉は、“des+sossego”から成り立っている。“sossego”は「安定、安心」を意味し、“des”は日本語の「不、無、非」と同じような働きをする接頭辞である。このように、日本語とポルトガル語の言葉の構造や意味の対応を分析することは、両言語の理解を深める上で非常に有益である。

当初、タイトルの選択について調査しようと思ったが、そのテーマは幅が狭すぎ、主観的な分析になる恐れがあったため、作品の内容を分析することにした。そして、「不安の書」の翻訳を選んだ。作品の内容を分析する中で、特に注目したのは「心」という単語の使い方だった。本作品は感情と気持ちを中心に描かれているため、「心」といった言葉が頻繁に登場するのは当然である。しかし、ポルトガル語と日本語のバージョンを比較すると、「心」という単語は、ポルトガル語のオリジナルでは複数の異なる言葉で表現されていることが分かった。

「心」という漢字だけを見ると、“heart”の意味しかないかもしれないが、英和辞典を参照すると、「心」は「heart, mind, spirit, vitality」など様々な意味を持っている。ポルトガル語では「coração, mente, alma, vitalidade」に相当する。つまり、日本語の「心」という言葉は多様な意味を持つ言葉であり、その文脈によって異なるニュアンスを持つことが分かる。このように、言葉の多義性や文脈による意味の変化を理解することは、異文化間のコミュニケーションにおいて非常に重要である。

さらに、ペソアの作品を通じて「心」の概念を深く掘り下げることで、日本語とポルトガル語の間に存在する微妙な文化的差異や感情の表現方法の違いをより明確に理解す

ることができた。ペソアの文章は、時には複雑で抽象的だが、その中に隠された意味を解き明かす過程で、言語の奥深さとそれぞれの文化の独自性を再認識することができた。

総じて、このレポートを通じて得られた洞察は、単なる言語の違いを超え、異なる文化や思考の枠組みを理解する上で非常に価値のあるものである。

2. 「心」の持つ意味

「心」（こころ）は、日本語において多義的な概念であり、文脈によってさまざまな意味を持つことである。以下に、「goo 辞書」により日本語における「心」の主要な定義や用法を紹介する。

1. 精神・意識

- 例：心の中で考える、心に決める

2. 考え

- 例：心が変わる

3. 心情

- 例：心から母を愛していた

4. 思いやり

- 例：心無い

5. 真心

- 例：心から母を愛していた

6. 愛情

- 例：彼の心がつかみたい

7. 注意

- 例：個人成長に心を用いている

8. 意味

- 例：茶の心がわかる人は少ない

9. 好み

- 例：心のままにしてください

3. 『不安の書』：日本語と英語の作品

フェルナンド・ペソア (Fernando Pessoa, 1888-1935) は、ポルトガルの詩人、小説家、批評家、翻訳家であり、20 世紀の文学において極めて重要な存在。ペソアはその複雑で多面的な作品と、多数の異なる筆名（ヘテロニム）を用いたことで知られている。彼の主要な作品と特徴についてまとめる。

ペソアは自分の異なる側面を表現するために多数のヘテロニムを使い分けた。各ヘテロニムは独自の人格、背景、詩風を持っている。以下は主要なヘテロニムである。

1. アルベルト・カエイロ (Alberto Caeiro)

シンプルで自然に対する深い愛を表現する詩を作った。ペソア自身はカエイロを「師」と考えた。

2. リカルド・レイス (Ricardo Reis)

古典主義的で、エピクロス主義やストア主義に影響を受けた詩を書いた。

3. アルヴァロ・デ・カンポス (Álvaro de Campos)

技術進歩と現代文明に対する複雑な感情を持ち、多様なスタイルの詩を書いた。初期の作品は未来派的な影響が強い。

4. ベルナルド・ソアレス (Bernardo Soares)

ベルナルド・ソアレスの特徴

1. 半ヘテロニム: ペソアはソアレスを「半ヘテロニム」と位置づけた。これは、ソアレスがペソア自身の性格や経験に非常に近いためである。ペソア自身が言うよ

うに、ソアレスは「ただ少し狂っているだけの私自身」であり、「私自身を単純化し、強化し、対外的な仮面を剥がしたもの」と表現される。

2. 職業と生活: ソアレスはリスボンの会計事務所で働く独身男性として描かれている。彼の日常は単調で、職場と住居の間を行き来するだけの平凡な生活を送っている。
3. 内省的で哲学的な視点: ソアレスは深い内省と哲学的思索を特徴とし、彼の著作には孤独、不安、存在の意味についての探求が反映されている。

『不安の書』はソアレス名義で書かれたペソアの代表作であり、断片的な散文詩と日記の形式を取っている。この作品は、ソアレスの内面的な独白や夢想、哲学的な反省を中心に展開する。

1. 内容とテーマ: 孤独感、存在の不確かさ、自己のアイデンティティ、日常生活の単調さ、夢と現実の境界などが主要なテーマである。ソアレスは自らの内面世界に没入し、外界の出来事に対する無関心さと共に、自己の内なる思索に焦点を当てる。
2. 形式とスタイル: 散文詩の形式で書かれており、その構造は非常に断片的である。特定の順序や連続性がなく、ソアレスの思考の流れに従って自由に展開される。このスタイルは、読者にとっては時に混乱を招くかもしれないが、それがソアレスの内面世界の複雑さと矛盾を象徴している。
3. 影響と評価: 『不安の書』は、20世紀のポルトガル文学だけでなく、世界文学においても重要な位置を占めている。その深遠な哲学的洞察と独特のスタイルは、多くの読者や批評家に影響を与えた。

4. 英語版と日本語版の例文

以下の例文では、日本語版の場合、高橋都彦氏の「不安の書」で、英語版の場合はリチャードゼニスの “The book of disquiet” である。

例文1 – Tedium… Perhaps, deep down, it is the soul’ s dissatisfaction because we didn’ t give it a belief, the disappointment of the sad child (who we are on the inside) because we didn’ t buy it the divine toy.

倦怠とは… : おそらく根本的には、信仰を与えてやらないための内なる精神*の不満であり、われわれが心の底でそうである悲しい子供が、神々しい玩具を買ってやらなかったために感じる悲嘆だ。

例文1における「心」は、深層の感情や内面的な本質を指しています。「心の底でそうである悲しい子供」という表現は、人間の内なる感情や魂の一部が満たされていない状態を示している。具体的には、「心」は、表面的な行動や感情ではなく、もっと深いレベルでの存在や感覚を象徴しており、個人の内面的な葛藤や欲求を反映している。この文全体は、信仰や満足感の欠如が内面的な不満や悲嘆を生み出すことを示唆していると言える。この文章では、「inside」と「心」はどちらも人間の内面、深層の側面を指している。これらの不満や悲しみが内面、つまり私たちの真の自己や深い感情から発生していることを伝えていると考えられている。

例文2—In my heart there' s a peaceful anguish, and my calm is made of resignation.

わたしの心のなかには、苦悩からなる平穏があり、わたしの落ち着きは諦めにほかならない。

例文2における「心」は、個人の内面的な状態や感情の中心を指している。「心のなか」という表現は、単なる表面的な感情や考えではなく、もっと深いところでの精神的な状態や心の奥底にある感情を示している。具体的には、ここでの「心」は、内面的な平穏や落ち着きが、実は苦悩や諦めから来ているという複雑な感情の状態を表現している。つまり、表面的には平穏や落ち着きを感じているように見えても、その背後には深い苦悩や諦めの感情が存在しているということである。このように「心」は、個人の内面的な真実や本質的な感情を象徴している。この文章では“Heart”と「心」はどちらも感情や精神の内面を指しており、内なる苦悩や静けさといった感情の複雑さを表現していると言える。

例文3—It' s on my internal shadow, on the outside of my inner soul, that papers are pasted or needles are poked.

側の影に、わたしの心の内部の外側に、紙が張ら九るか、ピンが刺される。

この文における「心」は、個人の内面的な領域や精神的な空間を指している。「心の内部の外側に」という表現は、心の奥深くにあるけれども、完全に内部ではない、何か中間的な位置を示しているように感じられる。これは、内面の感情や思考の中でも比較的表層に近い部分を指している可能性がある。具体的には、この文では「心」が内面の複雑な領域を表現しており、その領域には外的な要素（紙やピン）が影響を及ぼしているという状況が描かれている。この「心」は、単に感情や思考の中心だけでなく、その周囲や影響を受ける部分をも含む広い意味での精神的な空間を示していると言える。

「Soul」（魂）と「心」は人間の内面や精神的な存在を示す言葉であり、深い存在や本

質を象徴しているが、英語の「soul」は人間の永遠なる霊的な本質を示す象徴として使用され、比喩的な表現が一般的である。一方で日本語の「心」は感情や精神的な存在を具体的に表現し、物理的な象徴を用いてイメージを描写すると考えられる。

例文4—One of my constant preoccupations is to understand how other people can exist, how there can be souls that aren't mine, consciousnesses that have nothing to do with my own, which because it's a consciousness - seems to me like the only one.

いつも気がかりなことのひとつは、他人がどのように生きているのか、わたしの心ではない心がどのように存在するのか、自分の意識なので、わたしにはただひとつのものと思われるわたしの意識とは無縁な意識がどのように存在するのかを理解することだ。

例文4における「心」は、個人の意識や精神、感情の中心を指している。「わたしの心ではない心」という表現は、自分自身の心（意識）とは異なる他人の心（意識）を意味している。「わたしの心」や「他人の心」という言葉は、それぞれの個人の内面的な世界、つまり思考、感情、意識のことを示している。自分の心（意識）は自分にとって唯一のものであり、それに対して他人の心（意識）は理解し難いものであるというテーマが表現されている。この文では、自分の心と他人の心の違いや、他人の内面的な存在を理解する難しさを強調している。それで、「心」はここでは人間の内面的な意識や精神世界を指し、それが自分と他人でどのように異なるのかを探求する文脈で使われている。

例文5—And so, contemplators of statues and mountains alike, enjoying both books and the passing days, and dreaming all things so as to transform them into our own substance

したがって、山も彫像も一様に観想し、書物と同様に日々を楽しみ、とりわけ心のなかの実体に変えるために、すべてを夢見て、記述も分析もする。

例文5における「心」は、個人の内面的な世界や精神的な空間を指している。「心のなかの実体に変えるために」という表現は、外界の経験や観察を内面的な実体、つまり心の中で深く理解し、自分自身の一部として取り込むことを示している。この文では「心」が外界のものを内面的な意味や価値に変換する場所や手段として使われている。山や彫像、書物などの外的な対象を観想し楽しむことで、それらを「心のなかの実体」に変える、つまり自分の内面的な経験や理解の一部として吸収するという行為が描かれている。したがって、この文における「心」は、個人が外界の経験を内面化し、自分自

身の精神的な財産として蓄える場所やプロセスを指していると言える。「Substance」と「心」はどちらも、個人の内面的な存在や実在を示す言葉として使用されており、外部のものを内部の実体や実存として取り入れようとする意図を表しているが、英語の「substance」は比喩的に使用され、物質的な存在や実在を強調する。一方で日本語の「心のなかの実体」は、感情や思考、精神的な実存を具体的に示し、それらを内的な現実として扱う。

例文 6—Art lies because it is social. And there are two great forms of art: one that speaks to our deepest soul, the other to our attentive soul. The first is poetry, the second is the novel.

芸術は社会的なので嘘をつく。そして、芸術にはたったふたつの偉大な形式しかないひとつは われわれの深遠な心に向かうもので、もうひとつはわれわれの注意深い心に向かうものだ。

この文における「心」は、人間の内面的な意識や精神を指しているが、それぞれ異なる側面を強調している。

深遠な心:

「われわれの深遠な心に向かうもの」という表現では、「深遠な心」は人間の内面的な深層、すなわち感情や無意識の領域を指している。これは、芸術が人間の深い感情や本質的な部分に訴えかける力を持っていることを示している。

注意深い心:

「われわれの注意深い心に向かうもの」という表現では、「注意深い心」は人間の理性的で分析的な側面、すなわち意識的で思考的な領域を指している。これは、芸術が人間の知性や理性に働きかける力を持っていることを示している。この文では芸術が人間の異なる「心」に向かう二つの主要な形式を持っていると述べている。芸術は一方で人間の深層にある感情や無意識に触れ、他方で意識的で分析的な思考に働きかけるという二重の役割を果たす。「心」はここでは人間の内面的な意識全般を指しており、それが感情的な深層部分（深遠な心）と理性的な表層部分（注意深い心）の両方に分けられていると考えられている。

5. まとめ

『不安の書』の日本語翻訳では、「心」という言葉が非常に多様な意味を持ちながら、ソアレスの内面的な独白や哲学的な探求を豊かに表現している。英語の「mind」「heart」「spirit」「soul」「substance」「inside」といった言葉は、日本語の「心」によって統一的に表現される。ペソアの原文の複雑な内面的世界を伝えるために、英語の多義性と違って、日本語の「心」がその一つの言葉で複数の意味と気持ちが表せる言葉だと確認できた。

参考文献

- 1) フェルナンド・ペソア. 高橋都彦. ”不安の書”. 2007. 初版第1刷刊行. 小泉孝一. 株式会社新思索社
- 2) PESSOA, Fernando. Livro do Desassossego. 2a Edição, 2019, São Paulo. Ciranda Cultural.
- 3) PESSOA, Fernando. The book of disquiet. 2002. Richard Zenith, Great Britain. Penguin Books
- 4) NAKAYA, Tereza. The Japanese concept KOKORO and its axiological aspects in the discourse of moral education. 2019. Adeptus.
<https://doi.org/10.11649/a.1651> (参照：2024-04-02)
- 5) <https://dictionary.goo.ne.jp/word/en/%E5%BF%83/> (参照：2024-05-12)

2024 年 8 月 7 日提出
日本語・日本文化研究 A (2024 年前期木曜 4 限)
長友文子先生

在日ベトナム人技能実習が 直面している問題

日本語日本文化研修留学生
大学名：ドンア大学
学籍番号：c2310016
氏名：グエン・チュオン・ズイ



次

1. はじめに	- 1 -
1-1. 研究の目的 :	- 1 -
2. 技能実習生制度について	- 1 -
3. ベトナム人技能実習生が抱える問題.....	- 2 -
3-1. ベトナム人技能実習生の経済負担.....	- 2 -
3-2. 教育に関する問題.....	- 3 -
3-3. 医療に関する問題.....	- 3 -
3-4. 労働災害	- 4 -
3-5. 労働組合	- 5 -
4. 対策	- 5 -
4-1. 経済的負担の軽減.....	- 5 -
4-2. 教育プログラムの強化	- 6 -
4-3. 医療支援の改善.....	- 6 -
4-4. 労働環境の改善.....	- 6 -
4-5. 組合の質の向上.....	- 6 -
5. まとめ	- 7 -
参考文献.....	- 8 -

1. はじめに

Chapple (2004) の研究によると、日本では少子高齢化が進行する中で、特に介護、建設業、製造業、農業などの主要産業における人材不足が顕著になっている(Chapple, J. 2004)。これにより、これらの産業は深刻な経済的および社会的影響を受けており、政府や企業は対策を講じる必要に迫られている。また、これらの分野における労働力不足は、日本の持続可能な経済成長や国際競争力にも大きな課題をもたらしていることが指摘されている。

その為、近年、日本の技能実習制度はこれまで以上に拡充されており、この制度に参加する外国人の数も年々増加している。特にベトナムはこのプログラムへの参加者数が最も多い国である。この制度は日本の労働力不足の部分的な解決策となると同時に、日本で学び、働く機会を提供し、ベトナムなどの開発途上国の外国人に高い収入源やその他の恩恵をもたらしている。しかし、すべての問題には二つの側面がある。技能実習制度が拡大する一方で、多くのベトナム人技能実習生が直面する経済的負担や労働環境の問題も顕在化している。

これらの問題は、ベトナム人が不法就労する問題など、より深刻な問題を引き起こす可能性がある。例えば、ベトナム人は不法就労、窃盗、法違反などを目的として日本に来ることがあると言われている。また、最近では技能実習生が建設現場で搾取されたり、侮辱されたりすることが報告されており、実習生が法規を破ったりするなど、双方にとってネガティブなニュースが増えている。これらの否定的な事柄は、両国の人々の間でお互いに悪い印象を与える可能性があり、徐々にベトナム人と日本人の関係にも影響を及ぼしている。

この研究は、ベトナム人技能実習生が抱える問題をより深く把握し、ベトナム人技能実習生の生活や労働環境の一部を改善する解決策を提案することを目的としている。また、その研究結果から、ベトナムと日本人の関係改善に少しでも貢献できれば幸いである。

1-1. 研究の目的：

この調査は、日本に滞在するベトナム人技能実習生が直面している経済的負担、医療問題、教育問題、キャリアアップなどの課題と、日本で不法就労しているベトナム人の現状を明らかにするために行われたものである。経済的負担については、来日費用の高さ、平均所得の低さ、借金、生活費の高さなど、技能実習生が直面する具体的な経済的困難を詳細に掘り下げる。医療問題に関しては、言葉の壁、治療費の高さ、薬の不適合などがあり、これらが実習生の健康と生活に与える影響を調査する。教育上の問題としては、渡日前の研修プログラム、来日時の研修、帰国後の就職支援などがあり、これらの教育支援の現状と課題を分析する。また、キャリアアップに関する問題として、技能実習終了後のキャリアパスや職業選択の機会についても考察する。さらに、日本に不法滞在し、不法就労しているベトナム人の現状についても調査し、彼らが直面する問題を明らかにする。本調査を通じて、技能実習生および不法滞在者が直面している課題を総合的に把握し、これらの問題点の改善に資する具体的な提案を行うことを目的としている。

2. 技能実習生制度について

● 技能実習生の定義

技能実習生とは、外国人が日本の企業や団体で一定期間働きながら技術や知識を習得するための制度に基づく労働者である。この制度は、発展途上国の経済発展を支援し、技術移転を促進することを目的としている。技能実習生は、技能実習計画に基づき、一定の期間（最大で5年間）日本に滞在し、実習を行う。主な実習内容は、農業、建設業、製造業など多岐にわたっている。

ベトナム人の技能実習生は、日本の技能実習制度において特に多くの割合を占めている。2023年時点で、日本におけるベトナム人技能実習生の数は、他の国々からの実習生と比較しても非常に高い。彼らは主に製造業や建設業、農業などの分野で働いており、その貢献度は大きい。技能実習生

としての経験を積むことで、ベトナムに帰国後も高い技術力と知識を活かして活躍することが期待されている。

- 技能実習生制度創設の経緯と歴史

国際研修協力機構（JITCO）によると、技能実習生制度の歴史は以下の4段階に分かれている：

A. 技能実習生制度以前（1960年代～1992年）

1960年代から70年代にかけて、日本企業は国際貢献として発展途上国から研修生を受け入れ、大企業を中心に技術移転を行っていた。1976年の日中国交正常化後、中小企業も「日中友好」を掲げて研修生を受け入れ始め、これが後の技能実習制度の基盤となった。1990年には労働需給の逼迫を背景に、法務省が正式に技能実習制度を開始した。

B. 研修生期（1993年～2009年）

1993年に技能実習制度（TITP）が正式に導入され、1年間の技術研修と、続く2年間の「特定活動」期間での技能向上が可能となった。国際研修協力機構（JITCO）が制度運営を支援したが、研修生は労働者とみなされず、最低賃金以下の手当で働くケースが多く、労働条件の問題が指摘された。

C. 技能実習生期（2010年～）

2010年の入管法改正により、技能実習生は労働者としての活動が認められ、最低賃金や社会保険などの労働法規の対象となった。また、入国後の2カ月間の講習が義務化され、監理団体の責任も強化された。不正行為への対策も強化され、技能実習生の地位や権利がより明確に保護されるようになった。

3. ベトナム人技能実習生が抱える問題

3-1. ベトナム人技能実習生の経済負担

- 借金

Nikkei Asiaの記事によると、日本で働くベトナム人とカンボジア人の技能実習生の約80%が借金を抱えている。これらの借金は主に母国のブローカーや仲介業者による高額な手数料が原因である。借金を背負った状態で日本にきた実習生たちは、低賃金や過酷な労働条件に苦しむことが多い。この経済的負担は、技能実習制度の目的である技術習得やキャリア開発を妨げる要因となっている。

例えば、農業や建設業などの現場で働く実習生は、最新の機械や技術に触れる機会が限られており、帰国後に日本での経験を活かすことが難しい。The Asia-Pacific Journalによると、このような現状は、日本と実習生の母国との技術レベルの差が原因であり、結果として技能実習制度が本来の目的を達成していないことが指摘されている。

また、East Asia Forumの報告によると、技能実習制度は実際には、日本国内の多くの職種での人手不足を補うために外国人労働者を雇用する手段として利用されていると批判されている。2020年の調査では、技能実習生の多くが低賃金で過酷な労働環境に置かれていることが明らかになっており、技能実習制度が外国人労働者の労働力を搾取する形になっていると問題視されている。

関連する研究として、アジア太平洋ジャーナルの調査結果によれば、多くの技能実習生が日本での経験を「有益」と感じている一方で、帰国後のキャリアに結びつけることが難しいと感じていることが示されている（Tran, B. Q., 2020）。

- 賃金の現実

厚生労働省（2017年）によると、近年、技能実習生の給与は日本の高卒初任給と同等の月額15～16万円程度となり、手取りは12～14万円程度となっている。しかし、前述したように、技能実習生は多額の借金を抱えているほか、家族を養うために毎月約10万円を仕送りしなければならない。その結果、手元に残るのはわずか2～3万円程度であり、ベトナム人技能実習生の生活や生活費の支出は非常に困難な状況となっている（WORK JAPAN）（エヌ・ビー・シー協同組合）（Coop Harmony Aichi Gifu Mie）。

- 円安の影響

近年、円の価値は徐々に下落しており、2023年には2019年以来の安値を記録しています。2023年の平均為替レートによると、1円は約165ベトナムドン（VND）に相当する。これは、コロナ禍以前の1円=180～220ドンというレートや、2012年のピーク時の1円=260ドンと比べると、著しく低い値である。

円安は、技能実習生が日本で得た収入の実質的な価値を減少させ、本国への送金額も減少させる。多くのベトナム人技能実習生は、日本で得た給与の一部を毎月本国の家族に送金しているが、円安によりその金額は以前よりも減少している。これにより、彼らの家族が受け取るドンの金額が減少し、家族の生活費や借金の返済に影響を及ぼす。

- 経済的圧迫とその影響

低賃金と円安という二重の影響により、ベトナム人技能実習生は大きな経済的圧迫に直面している。彼らの多くは、高額な仲介手数料や渡航費用を支払うために借金を抱えて日本に来ている。そのため、給与の大部分をこれらの費用の返済に充てざるを得ない。また、日本での生活費（家賃、食費、交通費など）も無視できない負担である。

円安によって本国への送金額が減少することで、彼らの家族の生活はさらに厳しくなる。例えば、以前であれば1ヶ月の仕送りで家族の生活費をカバーできていたものが、円安の影響でその金額では不十分となるケースもある。これにより、技能実習生自身が追加の労働時間を確保しようとするなど、さらなる負担を強いられることがある。

3-2. 教育に関する問題

- 渡日前

田中（2019）「ベトナム人技能実習生の研修の課題」は、ベトナムの研修センターでは特定の成果基準を設けていないため、日本に行く前の研修プログラムは実践的というよりは形式的なものになりがちだと指摘している。技能実習生が日本語で基本的なコミュニケーションを取れる程度の知識を習得するには1年未満では短すぎ、さらに専門用語の訓練も受けていない。さらに、技能実習生が日本の多くの地域で働くことになるため、方言も日本語のコミュニケーションや学習において大きな障害となる。

- 日本での研修中

技能実習生を受け入れている企業や事業所の多くは、専門的な研修を行っているが、技能実習生の日本語能力が高くないため、双方にとって実習上の障害が多く、これは作業効率の低下につながる。

- 労働契約終了後の帰国時

技能実習制度は発展途上国からの技能実習生が日本での労働を通じて現代の日本の技術や労働方法を学び、帰国後に応用し、キャリアを開発し、国の近代化を図ることを目的としていると説明している。しかし実際には、インターン生が請け負う仕事は深い技術や知識を必要としない低レベルな仕事が多く、日本で使われている技術と途上国で使われている技術は異なるため、たとえ日本で学んでも帰国後にその知識や技術を活用するのは難しい。日本語から専門スキルまでの教育プログラムは非常に中間的かつ一時的な性質のものであり、技能実習生にとって長期的な利益をもたらさないことが多いのが現状である。

3-3. 医療に関する問題

- 薬の投与量と医療慣習の違い

Horimoto and Uesugi（2022）による研究によれば、ベトナムでは大量の薬を処方することが一般的であり、日本の少量投薬方針との違いがベトナム人技能実習生の不満の原因となっている。例えば、ベトナムでは軽度の病気でも多量の薬を使用する習慣があるため、日本での治療に効果を感じない場合が多いとされている（JSTAGE）。

Asia-Pacific Journal（2023）による報告では、ベトナムでは病気に対して積極的に薬を使う一方、日本では自然治癒力を重視し、必要最低限の薬だけを使用する傾向がある。この違いが、ベト

ナム人技能実習生が日本の医療システムに不満を抱く一因となっているとされる (The Asia-Pacific Journal: Japan Focus)。例えば、ある実習生が風邪をひいた際、日本の医師は解熱剤と休養を勧めただけであったが、ベトナムでは同じ症状に対して複数の薬を処方することが一般的であるため、実習生は不安を感じたという事例がある。

- 言葉の壁

medRxiv (2024) の調査によると、技能実習生の多くは日常会話程度の日本語しか話せず、医療用語を理解するのが困難であることが示されている。これが医師とのコミュニケーションを阻害し、正確な診断を難しくしている。技能実習生は自分の症状を適切に説明できず、医師も特定の処方を避け、一般的な処方に頼る傾向がある (MedRxiv)。

Horimoto and Uesugi (2022)によれば、ある実習生は腹痛を訴えたが、医師に自分の症状を詳細に説明できなかったため、医師は一般的な胃腸薬を処方するしかなく、結局問題が解決されなかったという事例が報告されている。このようなコミュニケーションの問題が、診療や治療の効果を阻害していることがわかる (JSTAGE)。

- 医師の経験と情報不足

Bao Quyen Tran (2020) による報告では、熱帯地方特有の病気や外国人特有の症状について、日本の医師は十分な経験や情報を持っていないことが明らかにされている。例えば、ある実習生がダニ媒介性の病気にかかった際、日本の医師はその病気について十分な知識を持っておらず、診断が遅れたために治療が遅れてしまったというケースがある (The Asia-Pacific Journal: Japan Focus)。medRxiv (2024)の研究でも、医師が外国人患者に対する知識や経験が不足しているため、適切な診断や治療が難しくなるのが報告されている。このため、特に熱帯地方から来た技能実習生に対しては、特異な病気に関する情報や経験が不足していることが課題となっている (MedRxiv)。

- 治療の継続と費用

堀本と上杉(2022)の研究では、治療を繰り返しても効果が出ない場合が多く、これが患者の不満を招いていることが報告されている。1回あたりの検査費用は低いものの、繰り返しの検査で高額な費用が発生し、技能実習生にとって大きな経済的負担となっている(堀本知春 & 上杉裕子, 2022)。

例えば、ある実習生は慢性的な頭痛に悩まされ、何度も検査を受けたが原因が特定されず、結果的に高額な医療費を負担することになった。このような経済的負担が、実習生の生活を圧迫している (The Asia-Pacific Journal: Japan Focus)。

- 休暇の取得と帰国

多くの技能実習生が治療のために日本を離れ、帰国する必要がある。これは労働の中断や経済的損失を伴い、実習生にとって大きな問題となっている。例えば、ある実習生は重大な健康問題を抱え、日本での治療に満足できず、最終的に治療のために帰国することを余儀なくされた。このようなケースでは、労働契約が中断され、経済的にも大きな負担がかかる (The Asia-Pacific Journal: Japan Focus)。

3-4. 労働災害

- 割り当てられた業務が契約書に記載された業務と異なる

The Diplomat (2020 年) によると、技能実習生が契約書に記載された業務以外の業務を強いられることが多く、これが事故の一因となっている。業務に必要な知識や経験が不足しているため、実習生が業務中に事故に遭遇するリスクが高まる。

例えば、建設業界で働く実習生が本来の契約とは異なる重機操作を任され、操作ミスによる事故が発生したケースが報告されている (The Diplomat)。

- 日本語が苦手で、同僚や先輩、指導者とのコミュニケーションが不足

South China Morning Post (2022 年) によると、技能実習生の多くは日本語が不得手であり、コミュニケーションの不足が業務上の問題を引き起こしている。指導者や同僚が丁寧に指導しても、実習生が理解できなかったり、理解しているふりをしてしまうことがあり、誤解やミスを招くことがある。従って、仕事の内容と働き方と安全性が上手く理解できていないため、実習生は働く際に

ミスや事故を発生させることが多い。例えば、2018年に群馬県で起きた事例では、ベトナム人技能実習生が金属加工工場で働いている際、旋盤機の操作中に指を切断する事故が発生した。この実習生は日本語の指示を十分に理解しておらず、機械の安全操作手順を誤ったために事故が起きた(South China Morning Post)。

- 仕事の性質と法的問題

Tomoko Yazawa (2021年)のレポートによると、技能実習生が従事する職種には、機械操作や建設作業など労働災害のリスクが高い業務が含まれる。これらの業務は日本語での正確なコミュニケーションと高度な技術が要求されるが、実習生がこれらに十分対応できず、不幸な事故が多発している。特に、グループワークが苦手な場合、協力が欠如し事故が発生するリスクが高まる(Dir.co.jp)。技能実習生が労働災害に遭った場合、日本の労災保険制度によって補償が行われるべきであるが、実際には多くの問題が存在する。技能実習生は労働基準法の適用対象であり、労災保険法によって保護されているが、実習生自身が法律や従業員の権利についての理解が不足しているため、適切な補償を受けられないケースが少なくない(Dir.co.jp)(The Diplomat)。

- 具体的なケース

例えば、ある実習生が建設現場での作業中に足場から転落して重傷を負ったケースでは、会社側が労災保険の手続きを怠り、実習生は自ら治療費を負担しなければならなかったという事例がある。また、言語の壁が原因で、労災手続きに必要な書類を理解できず、適切な補償を受けられなかったという事例も存在する(Dir.co.jp)。

3-5. 労働組合

- 技能実習生の管理と保護

厚生労働省によると、日本に住み、働く技能実習生は組合によって管理・保護され、その収入の一部が組合への支払いとして差し引かれる。これにより、技能実習生は日本での生活や労働条件に関するサポートを受けることができる。組合は技能実習生の健康管理、賃金、生活、労働条件などの権利に関する問題を解決する責任を負う(技能実習制度に関する調査, 外国人技能実習機構, 2020年)(厚生労働省, 外国人技能実習制度について, 2020年)。

- 組合の管理質のばらつきと労働組合の変更の困難さ

組合の数が多いため、その管理の質には大きなばらつきがある。例えば、技能実習制度に関する調査(2020年)によると、優良な組合が管理する技能実習生は、健康診断の実施や生活環境の改善、適正な賃金の支払いなど、手厚い支援を受けることができる。一方、劣悪な組合に管理されている技能実習生は、これらの支援が不十分であることが多い。その結果、技能実習生の健康や生活が脅かされることもある(技能実習制度に関する調査, 外国人技能実習機構, 2020年)(厚生労働省, 外国人技能実習制度について, 2020年。外国人技能実習機構(2017年)調査によると労働組合は技能実習生を受け入れる事業所と提携していることが一般的である。このため、一度選んだ労働組合を変更するのは非常に困難である。技能実習生が問題を感じても、組合の変更が難しいため、適切な支援を受けられないことが続く場合がある。このような状況により、技能実習生の権利保護において重要な課題が残されている。

4. 対策

4-1. 経済的負担の軽減

- 仲介手数料の規制

ベトナムなどの仲介業者による高額な手数料を防ぐため、国際協力を強化することが重要である。具体的には、各国政府間での協議や協定を通じて、仲介手数料の上限を設定し、違反に対する罰則を設けることが考えられる。また、技能実習生が仲介業者を通さずに直接雇用主と契約できる

仕組みの整備も有効である。これにより、仲介手数料を削減し、実習生の経済的負担を軽減することができる。

- 技能実習生の最低労働時間の確保

技能実習生が適正な労働時間を確保できるような政策が必要である。これは労働基準法の適用範囲を拡大し、実習生も他の労働者と同様の保護を受けるようにすることを含む。具体的には、実習生が過労や労働時間の過少問題に直面しないよう、労働時間の上限や最低限の労働時間を法的に規定することが重要である。また、労働時間に関する監視体制を強化し、違反が発覚した場合の罰則を厳しくすることも必要である。

4-2. 教育プログラムの強化

- 日本語教育の充実

渡日前および渡日後の日本語教育プログラムを強化し、技能実習生が業務に必要な日本語能力を習得できるようにする。例えば、オンライン教育プラットフォームの活用や現地での集中的な語学研修が考えられる。

- 専門技術教育の拡充

技能実習生が日本で学ぶ専門技術を帰国後に活かせるよう、実践的な技術教育プログラムを提供する。これには、最新の技術や設備に関するトレーニングが含まれる。

4-3. 医療支援の改善

- 医療通訳の配置

病院や診療所における医療通訳の配置を義務化し、技能実習生が適切な医療サービスを受けられるようにする。これにより、言葉の壁が原因で発生する診療ミスや誤診を減少させることができる。

- 外国人医療ガイドラインの策定

外国人特有の健康問題に対応するためのガイドラインを策定し、医師に対する教育を強化する。例えば、熱帯病や文化的背景に基づく医療慣習の違いについての理解を深める。

4-4. 労働環境の改善

- 労働災害防止対策の強化

労働災害の発生を防ぐために、安全教育の徹底や労働環境の改善を推進する。例えば、定期的な安全教育や労働環境の監査を実施する。

- 労働条件の遵守

労働条件が契約書に記載された内容に従うよう、厳格な監査と違反者への罰則を導入する。これには、労働基準監督署の監査を強化し、違反が発覚した場合の即時是正措置を含む。

4-5. 組合の質の向上

- 監理団体の評価制度の導入

監理団体の質を評価する制度を導入し、優良な組合には報奨を、不適切な組合には罰則を与える。これにより、組合間の競争を促し、全体の管理質を向上させる。

- 技能実習生の意見収集

定期的に技能実習生からのフィードバックを収集し、その結果を監理団体の評価に反映させる。これにより、技能実習生の声を直接反映した組合運営が可能となる。

- 組合変更のサポート

組合変更が必要な場合、技能実習生が簡単に変更できるようなサポートシステムを整備する。これには、法的手続きの簡略化や新たな組合へのスムーズな移行のための支援が含まれる。

5. まとめ

本研究は、ベトナム人技能実習生が直面する経済的負担、教育問題、医療問題、労働環境の問題、管理組合の問題を明らかにし、これらの課題を解決するための具体的な対策を提案した。上記の問題のほとんどは、ベトナムの派遣会社と日本の管理組合という2つの大きな問題に起因している。まず、ベトナムの派遣会社は高額な仲介手数料を徴収している一方で、日本語研修の時間が短く、教育上の問題や経済的負担を引き起こしている。このため、ベトナム人技能実習生は十分な準備ができずに日本に来ることが多い。一方、日本の管理組合については、組合の質や能力が異なるため、実習生の生活や権利にも影響を及ぼすことがある。質の低い管理組合は、実習生に対するサポートが不足している場合があり、生活環境や労働条件の悪化を招くことがある。この2つの問題は、技能実習制度の質を向上させるために解決すべき重要な課題である。適切な研修と公正な費用設定、そして質の高い管理体制の確立が求められる。

参考文献

1. Tran, B. Q. (2020). Vietnamese technical trainees in Japan voice concerns amidst COVID-19. *The Asia-Pacific Journal*, 18(18), 11.
2. Chapple, J. (2004). The dilemma posed by Japan's population decline. *Electronic journal of contemporary Japanese studies*.
3. 外国人技能実習機構, 「技能実習制度に関する調査, 2020 年」.
「<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11801000-Shokugyounouryokukaihatsukyoku-Soumuka/0000065147.pdf>」
4. 厚生労働省, 「外国人技能実習制度について, 2020 年」. 「ホーム | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)」
5. 厚生労働省、令和 3 年賃金構造基本統計調査の概況「13.pdf (mhlw.go.jp)」
6. PHAN XUAN DUONG (2020) 在日外国人労働者に対する日本語指導研修の改善 ―ベトナム人技能実習生の日本語習得の現状を事例として― 「00056000010.pdf (vnu.edu.vn)」
7. 外国人技能実習生の給与の平均は？賃金について詳しく解説(2023) 「外国人技能実習生の給与の平均は？賃金について詳しく解説 (jc-harmony.com)」
8. Japan investigates ‘unforgivable’ workplace abuse of Vietnamese intern(2022) 「Japan investigates ‘unforgivable’ workplace abuse of Vietnamese intern | South China Morning Post (scmp.com)」
9. 技能実習生の給与とは？相場や最低賃金についてなど詳しく紹介します(2024) 「技能実習生の給与とは？相場や最低賃金についてなど詳しく紹介します | 外国人採用 NAVI | WORK JAPAN」
10. 堀本知春, & 上杉裕子. (2022). 在留ベトナム人技能実習生の医療受診における困難. *国際保健医療*, 37(1), 1-9.
11. Serena Ford(2020) How Japan's Labor Trainee Program Hurts Relations With Vietnam 「How Japan's Labor Trainee Program Hurts Relations With Vietnam - The Diplomat」
12. Tomoko Yazawa (2021) Human Rights Risks in Technical Intern Training Program
Need to eliminate violations of standards and strengthen regulations 「Human Rights Risks in Technical Intern Training Program | December 28, 2021 | The Daiwa Institute of Research | Tomoko Yazawa (dir.co.jp)」

2024 年 8 月 7 日提出
日本語・日本文化研究 A (2024 年前期木曜 4 限)
長友文子先生

『みんなの日本語』における漢語 サ変動詞が中国人日本語学習者に 与える影響について

日本語日本文化研修留学生
大学名：浙江師範大学
学籍番号：c2310013
氏名：陳安娜

目 次

1	はじめに	3
1-1.	研究背景	3
1-2.	先行研究	3
1-3.	研究の目的	3
2	研究方法	3
2-1.	漢語サ変動詞データ収集	3
2-2.	インタビューの内容	8
2-2-1.	インタビューについての説明とインタビューの背景情報	8
2-2-2.	漢語サ変動詞の理解、使用	8
2-2-3.	『みんなの日本語』の影響	10
3	結果と考察	10
3-1.	背景情報	10
3-2.	漢語サ変動詞の理解、使用について	10
3-3-1.	意味理解の難易度	10
3-3-2.	助詞	10
3-3-3.	使いやすさ	11
3-3-4.	フォーマリティの影響	11
3-3-5.	活用の困難さ	11
3-3.	『みんなの日本語』について	11
3-3-1.	役に立つ部分	12
3-3-2.	改善点	12
3-3-3.	初心者への推薦	12
4	おわりに	12
	参考文献	

1. はじめに

1-1. 研究背景

近年、中国では日本のポップ文化の影響により、外国語として日本語を選択する傾向が広がっている。そして、日本語教育が世界中に広がる中、日本語の語彙指導への関心も高まっている。日本語の語彙には和語、漢語、外来語などさまざまな種類があるが、中でも漢語が多い。李楓（2013）の調査によると、国立国語研究所（1962；1973；1983）では、雑誌、新聞、教科書などの語彙調査が行われており、漢語を含む日本語語彙の使用状況が一定の範囲で明らかにされている。また、その多くが漢語のサ変動詞の形を取っていると言われている。

日本語と中国語はどちらも漢字を使用するため、共通点が多い。大和・玉岡（2009）の先行研究によると、中国語でよく使われる漢字と日本語の常用漢字の多くが重複している。中国の約 4,000 字の常用漢字のうち、日本語の常用漢字（1,945 字）の 98.1%にあたる 1,908 字が中国語の漢字と一致している。このため、中国語を母語とする人が他の母語話者よりも日本語を学びやすいと考えられがちである。

1-2. 先行研究

多くの先行研究によると、中国語の母語話者が日本語を学ぶ際には、母語の負の転移、目標言語の過剰一般化、自国文化の干渉、不適切な学習戦略などの要因により、さまざまな誤用が生じると言われている。大和・玉岡（2009）によれば、中国人日本語学習者の場合、日本語を学習する際に目にする漢字語は「知っている」ものとして認知することが多いと考えられるが、日本語の漢字の正確な処理は、日本語の語彙力が高い学習者にとっても、必ずしも簡単ではない。これは、日本語の漢字の意味や使い方と、中国語の漢字の知識が異なることによる干渉が影響しているためである。

例えば、「緊張」という語彙について、石堅・王建康（1983）は次のように述べている。中国語母語話者が「緊張」の使用に関して誤用する例として、「その時、私は非常に緊張でした」という表現が挙げられる。この誤用は、元の中国語の「当時、我非常緊張」を直訳したものである。このような単語は、日本語では状態を表すと同時に瞬間動詞でもあるが、中国語ではその動詞性が明確でないことが多い。「緊張」という語は、日本語では名詞の性質として扱われ、「する」をつけるとサ変動詞になるが、中国語では形容詞、自動詞、あるいはその両方として解釈される可能性がある。

以上のように、中国語母語話者が日本語を学ぶ際に、特定の動詞や名詞の使用に関して誤用が生じる原因として、言語間の動詞性や文法構造の違いが影響していることがわかる。李楓（2013）は、漢語サ変動詞を構成する文字には動詞、名詞、形容詞などが含まれるが、実際には、これらが一般の学習者の想像するように自由に組み合わせられて漢語サ変動詞が作られるわけではないと述べている。

1-3. 研究の目的

これまで、日本語と中国語における漢語動詞のズレやその原因を解明する対照研究は多く行われてきたが、日本語教科書の観点から現場の影響や実践的な指導案を提示する研究は少ない。そこで、本研究では、国内外で広く使われている教科書『みんなの日本語』の漢語サ変動詞に焦点を当て、インタビューを行い、中国人初・中・上級学習者への影響を分析する。考察ポイントは以下の通りである。

(1) 文法の習得：教材における漢語サ変動詞の詳細な解説と練習問題を通して、学習者はこれらの動詞を正しく文法的に使用方法を学べるか。

(2) 中国語の負の転移の減少：教材における解説と練習問題が、学習者が中国語から日本語への誤った影響を認識し、修正するのを助けられるか。

(3) 学習趣味：この教科書が日本語初心者モチベーションを促進させるか。

2. 研究方法

本研究では、半構造化インタビューを行う。半構造化インタビューとは、定性調査の手法の一つで、事前に大まかな質問を用意しておき、インタビュー（参加者）の回答に応じて掘り下げて質問をするインタビュー形式である。インタビューは、『みんなの日本語』初級Ⅰ・初級Ⅱを終えた9人の学習者（日本語能力試験N2レベル以下3人、N2レベル3人、N1レベル3人）で、漢語サ変動詞表現が中国人学習者にどのような影響を与えているかを検証する。

2-1. 漢語サ変動詞データ収集

インタビューの内容を作成する前に、まず『みんなの日本語』の中の漢語サ変動詞のデータを収集しておく。以下のグラフのようにデータを収集した。収集の結果、合計64個の漢語サ変動詞があることが分かった。なお、中国語の有無の欄には、以下のような意味を持たせている。「○」：中国語にもこの単語が存在し、日本語とほぼ同じ意味である。「△」：中国語にもこの単語が存在しているが、日本語とは異なる意味である。「×」：中国語にはこの単語が存在していない。

漢語動詞	能力試験出題級	中国語の有無	使用頻度	文
勉強	N5	△	24	1. わたしはきのう勉強しました。 2. きんのう勉強しましたか。 3. …いいえ、勉強しませんでした。 4. わたしは、まいにち/あした勉強します。 5. わたしは、きのう/おととい勉強しました。 6. ミラーさんは今日本語を勉強しています。 7. ミラーさんは日本語学校で日本語を勉強しています。 8. 日本にくるまえに、日本語を勉強しました。 9. 毎晩日本語を勉強したり、パソコンを遊んだりします。 10. わたしはきのう日本語を1じかん勉強しませんでした。 11. わたしの学校では、フランス語を勉強しなければなりません。 12. 弟の学校でも、フランス語を勉強しなければなりません。 13. 太郎、テレビを見ながら勉強してはいけませんよ。 14. 彼は働きながら大学で勉強しています。 15. 日本ではたらきながら日本語を勉強しています。 16. 外国で仕事を勉強しようと思っています。

				17. 大学に入るために、一生懸命勉強します。 18. 私は娘に外国語を勉強させます。 19. (土曜日は) 日本語を勉強しました。 20. テレビで日本語を勉強しましたか。 21. いいえ、ラジオで勉強しました。 22. 田中さんはどれくらいスペイン語を勉強しましたか。 23. 3 か月勉強しました。 24. 私は国で五週間日本語を勉強しました。
連絡	N4	○	10	1. すみませんが、連絡していただけますか。 2. じゃ、すぐ連絡しますから、ちょっと待っていてください。 3. ホワイトさんにはもう連絡してありますか。 4. 会社を休むときは、必ず連絡するようにしてください。 5. カードをなくした場合は、すぐカード会社に連絡してください。 6. 調子が悪い場合は、この番号に連絡してください。 7. 会社に遅れる場合は、連絡してください。 8. 係員に連絡しますから。 9. ガス会社に連絡したら、すぐ来てくれますよ。 10. 山田さんに連絡するのを忘れました。
出張	N2N3	×	8	1. あしたから東京へ出張しなければなりません。 2. ミラーさんは出張していましたから。 3. 福岡へ出張するんです。 4. あしたからニューヨークへ出張します。 5. ミラーさんは来週大阪へ出張すると言っていました。 6. 会議に出るために、大阪へ出張します。 7. 部長はミラーさんをアメリカへ出張させました。 8. 部長はアメリカへ出張なさいます。
結婚	N5	○	7	1. ワンさんは独身ですか。…いいえ、結婚しています。 2. わたしは結婚しています。 3. いつ結婚しましたか。 4. …3 年まえに、結婚しました。 5. 実は来月アメリカにいる友達が結婚するんです。 6. 友達が結婚するんですが、何をあげたらいいですか。 7. 26 才のとき、結婚しました。
説明	N4	○	7	1. わたしはカリナさんに言葉の意味を説明してあげました。 2. 山田さんはわたしにおふろの入り方を説明してくれました。 3. 写真をみせながら説明します。 4. わたしが今から説明するとおりに、パソコンのキーを押してください。 5. 日本語で説明してみます。

				6. ビデオの使い方を説明してくださいませんか。 7. 操作のし方を詳しく説明します。
練習	N5	○	6	1. 皆さん、盆踊りを練習しましょう。 2. 速く泳げるように、毎日練習しています。 3. 日本語がはなせるように、毎日練習します。 4. この夏盆踊りに参加するために、毎日練習しています。 5. 一生懸命練習して覚えたのに、途中で忘れてしまいました。 6. いいえ、一生懸命練習したのに、優勝できなくて、残念です。
食事	N4	×	5	1. 日曜日 10 時ごろ起きて、散歩して、食事します。 2. 音楽を聞きながら食事します。 3. ちょっと電話を食事してきます。 4. ちょうど今からみんなで食事するところです。 5. コンサートが終わってから、レストランで食事しました。
貯金	N2N3	×	5	1. 将来自分の店を持つために、貯金しています。 2. 貯金はしないんですか。 3. わたしはロンドンへ旅行に行ったら、あとは貯金します。 4. 結婚のために、貯金するんですか。 5. 私はうちのローンを払って、子どもの教育のために、貯金したらほとんど残りませんよ。
失礼	N4	△	5	1. 失礼します。 2. そろそろ失礼します。 3. 用事があるので、お先に失礼します。 4. お先に失礼します。 5. 失礼いたします。
参加	N2N3	○	4	1. わたしは運動会に参加しません。 2. 山田さんは運動会に参加しないと言っていました。 3. ボランティアに参加したいのですが、2 週間ほど休みを取ってもいいですか。 4. ボランティアに参加するのもおもしろいです。
散歩	N5	○	4	1. 日曜日 10 時ごろ起きて、散歩して、食事します。 2. いいてんきだったら、散歩します。 3. 公園を散歩しよう。 4. 朝早く散歩するのは気持ちがいいです。
発明	N2N3	○	3	1. 先生、飛行機はだれが発明したんですか。 2. …飛行機はライト兄弟によって発明されました。 3. でんわはグラハム・ベルによって発明されました。
電話	N5	○	3	1. じゃ、いろいろ調べて、また電話するよ。 2. 駅から電話したかったんですが、人がたくさん並んでいて… 3. 帰ったら、こちらから電話します。

出席	N4	○	3	1. 結婚式に出席できなくなりました。 2. 部長は課長を会議に出席させました。 3. 忘年会に出席できるかどうか、20 日までに返事をください。
案内	N4	×	3	1. お寺を見学したいんですが、案内していただけますか。 2. わたしは先生に大学を案内していただきました。 3. 江戸東京博物館へご案内します。
優勝	N2N3	○	2	1. いいえ、一生懸命練習したのに、優勝できなくて、残念です。 2. ミラーさんはスピーチコンテストで優勝したのをご存知ですか。
整理	N2N3	○	2	1. 本もきちんと並べてあるし、物も整理して置いてあるし… 2. このファイルは書類を整理するのに使います。
相談	N4	×	2	1. 部長に相談しておきます。 2. 部長に相談しなければ、決められません。
緊張	N2N3	○	2	1. はい、とても緊張いたしました。 2. 緊張なさいましたか。
拝見	N4	×	2	1. ちょっと切符を拝見します。 2.きのう結婚式の写真を拝見しました。
予約	N4	○	2	1. チケットを予約しておきましょうか。 2. ホテルもう予約してあります。
合格	N2N3	○	2	1. タワポンさんは試験に合格しなかったようです。 2. 小川さんの息子がさくら大学に合格したのをご存知ですか。
研究	N4	○	2	1. 大学でおしえながら研究しています。 2. わたしは将来大学で研究するつもりです。
故障	N4	○	2	1. このエレベータは故障しています。 2. それは（ファクス）故障していますから、あちらを使ってください。
見学	N2N3	×	2	1. お寺を見学したいんですが、案内していただけますか。 2. NHK を見学したいんですが、どうしたらいいですか。
留学	N2N3	○	2	1. いつかイギリスへ留学しようと思っているんです。 2. 息子をイギリスへ留学させます。
旅行	N5	○	2	1. いいえ、1 年ぐらいいろいろな国を旅行したいです。 2. 2、3 日間旅行しようと思っているんですが、どこかいい所ありませんか。
心配	N4	×	2	1. 3 日ほど高い熱が続くかもしれませんが、心配しないでください。 2. 連絡がないので、みんな心配していたんですよ。
発見	N2N3	×	1	1. また新しい星が発見されましたよ。
遅刻	N2N3	×	1	1. バスがおくれたので、学校に遅刻しました。

運転	N4	×	1	1. 眠いとき、ガムをかみながら運転します。
輸出	N4	△	1	1. 日本のくるまは、いろいろな国へ輸出されています。
安心	N4	○	1	1. 電話をもらって、安心しました。 2. そうですか。安心しました。
放送	N4	○	1	1. テレビで放送されることはご存知でしたか。
利用	N4	○	1	1. それで 24 時間利用できるんですね。
準備	N4	○	1	1. ずいぶんまえから準備していますから。
注意	N4	○	1	1. 出張のレポートの書き方について注意されました。
残業	級外	×	1	1. 仕事が忙しくても、残業しないようにしています。
感謝	N2N3	○	1	1. このスピーチ大会に出るために、いろいろご協力くださった皆様に心から感謝いたします。
修理	N2N3	○	1	1. このコピー機はきのう修理したばかりです。
婚約	N2N3	○	1	1. この間婚約したそうですよ。
卒業	N4	×	1	1. 彼は 3 月に大学を卒業したばかりです。
成功	N2N3	○	1	1. オリンピックは成功するでしょうか。
設計	N2N3	○	1	1. イタリア人の建築家によって設計されたんです。
紹介	N4	×	1	1. 生け花を習いたいですが、いい先生を紹介していただけませんか。
退院	N4	○	1	1. あした田中さんが退院するのを知っていますか。
到着	N2N3	×	1	1. JL101 便は何時に到着するか、調べてください。

2-2. インタビューの内容

以上のデータにより、まず、2-2-1. でインタビューについての説明を行い、その後、インタビューの情報を作成する。インタビューの内容を作成する。インタビューにかかる時間は、25 分から 35 分と想定される。まず、2-1-1 で、インタビューについての説明をし、その後、インタビューの背景情報を聞く。

2-2-1. インタビューについての説明とインタビューの背景情報

- (1) 事前説明（録音、個人情報について）
- (2) 日本語学習歴（年数、学習方法）、現在の日本語レベル

2-2-2. 漢語サ変動詞の理解、使用

- (1) 以下の動詞の意味をそれぞれ説明してください。

それぞれの動詞は中国語でも同じ意味で使いますか。

それぞれの動詞を使って例文を作ってください。

初級のインタビューへのリスト：

単語	能力試験出題級	教科書での使用頻度	中国語の有無
勉強する	N5	24	△
連絡する	N4	10	○
食事する	N4	5	×
電話する	N5	3	○
心配する	N4	2	×
輸出する	N4	1	△

中級のインタビューへのリスト：

単語	能力試験出題級	教科書での使用頻度	中国語の有無
勉強する	N5	24	△
連絡する	N4	10	○
食事する	N4	5	×
参加する	N2N3	4	○
心配する	N4	2	×
輸出する	N4	1	△

上級のインタビューへのリスト：

単語	能力試験出題級	教科書での使用頻度	中国語の有無
連絡する	N4	10	○
出張する	N2N3	8	×
貯金する	N2N3	5	×
電話する	N5	3	○
輸出する	N4	1	△
設計する	N2N3	1	○

(2) 以下の漢語サ変動詞、意味類似和語動詞のどちらをよく使いますか。またはどちらが使いやすいですか。理由を教えてください。

初級のインタビューへのリスト：

漢語動詞	能力試験出題級	意味類似の動詞	能力試験出題級
勉強する	N5	習う	N5
食事する	N4	食べる	N5
散歩する	N5	歩く	N5
相談する	N4	話す	N5
連絡する	N4	伝える	N4

中級のインタビューへのリスト：

漢語動詞	能力試験出題級	意味類似の動詞	能力試験出題級
旅行する	N5	旅に出る	旅 N2N3/出る N5
食事する	N4	食べる	N5

発見する	N2N3	見つける	N4
相談する	N4	話し合う	N2N3
優勝する	N2N3	勝つ	N4

上級のインタビューーへのリスト：

漢語動詞	能力試験出題級	意味類似の動詞	能力試験出題級
旅行する	N5	旅に出る	旅 N2N3/出る N5
食事する	N4	食べる	N5
貯金する	N2N3	お金を貯める	お金 N5/ 貯める N2N3
相談する	N4	話し合う	N2N3
発見する	N2N3	見つける	N4

(3) あなたがこれまでに漢語サ変動詞を使って間違った経験や困っている経験があれば、具体的に教えてください。

2-2-3. 『みんなの日本語』の影響

(1) この教科書は特にどの部分が特に役に立ちましたか？漢語サ変動詞の説明は分かりやすかったですか？

(2) 他の印象深い教科書はありますか。

(3) あなたは初心者へこの教科書を推薦しますか。

3. 結果と考察

3-1. 背景情報

初級者：S1さんは独学で日本語を学んでおり、2024年7月に日本語能力試験N2を受けた。S2さんは大学入学試験の外国語科目で日本語を選び、中国の大学で日本語4級を取得した。S3さんは日本語専門で、現在は日本に留学しており、留学生のクラスの中で初級クラスに所属しており、2024年7月に日本語能力試験N2を受けた。

中級者：C1さんは日本語専門で、日本語能力試験N2を取得しており、2024年7月に日本語能力試験N1を受けた。C2さんは日本語専門で、同じく日本語能力試験N2を取得しており、2024年7月に日本語能力試験N1を受けた。C3さんは日本語専門で、現在は日本に留学しており、留学生のクラスの中で中級クラスに所属している。

上級者：J1さんは日本語専門で、日本語能力試験N1を取得している。J2さんは日本語専門で、日本語能力試験N1を取得している。J3さんは日本語専門で、日本語能力試験N1を取得しており、日本に一年間留学したことがある。

3-2. 漢語サ変動詞の理解、使用について

3-2-1. 意味理解の難易度：日本語学習者にとって、漢語サ変動詞の意味理解はそれほど難しくなく、中国語と日本語の意味の区別は明確にできている。9人のうち8人は中国語と日本語の意味の区別がはっきりできていたが、J1さんは「貯金する」と「輸出する」の中国語の意味を日本語と混同していた。具体的には、「貯金する」は実際には中国語には存在していないが、J1さんはこの単語が中国語にも存在していると思っていた。また、「輸出する」の中国語の意味は日本語と違うが、同じような意味で混同してしまった。

3-2-2. 助詞：全てのレベルの学習者に助詞の間違いや脱落が見られる。以下のような例が挙げられている。

上級者：「それ輸出すると値段 2 倍上がるよね」→ 正しくは「それを輸出すると値段が 2 倍に上がるよね」

中級者：「大阪でイベントに参加しますか」→ 正しくは「大阪のイベントに参加しますか」

初級者：「来週の試験が心配している」→ 正しくは「来週の試験を心配している」

助詞は中国語には存在しないため、使い分けが難しいことが分かった。助詞の使い分けを改善するための方法は以下の通りだと考えられている。

(1) 助詞の使い方を学ぶ際に、例文とその文脈と一緒に学ぶことで、助詞の役割と使い方をより理解しやすくする。例えば、「学校に行く」と「友達を待つ」の例文を使い、「に」と「を」の違いを示す。また、助詞の機能（目的地、動作対象、場所など）に分けて学ぶと、使い分けが明確になる。

(2) 助詞の使い分けに特化した練習問題を解くことも重要である。例えば、文の空欄に適切な助詞を入れる問題や、間違った助詞を訂正する問題を解くと効果的である。また、日本語教師やネイティブスピーカーからのフィードバックを受けることで、間違いを修正しやすくなる。

(3) 日本語の助詞とそれに対応する中国語の表現を比較することで、違いを理解しやすくなる。例えば、「に」と「で」の使い分けを、中国語の“在”と“到”と比較して学ぶ方法である。

3-2-3. 使いやすさ：漢語サ変動詞は中国語と同じ意味を持つときは使いやすいが、中国語に存在しない場合、学習者は簡単な和語動詞を好む。例えば、「食事する」と「食べる」のグループでは、「食事する」という単語は中国語には存在していないので、すべてのインタビュー어가初心者のとき学んだ「食べる」のほうが使いやすいたことが分かった。「旅行する」と「旅に出る」のグループでは、「旅行する」という単語は中国語にも存在しており、構成も「旅に出る」と比較して簡単なので、すべてのインタビュー어가「旅行する」のほうが使いやすいたことが分かった。

3-2-4. フォーマリティの影響：フォーマルな場面では漢語サ変動詞が使われる傾向があり、カジュアルな場面では和語動詞が使われる傾向がある。例えば、「相談する」と「話す」の使い分けでは、ビジネスや公式な会議などのフォーマルな場面では「相談する」を使用し、友人や家族との日常的な会話などのカジュアルな場面では「話す」を使用することが一般的である。具体的には、先生に「研究レポートについて相談する」と言う一方で、友人には「日常生活のできことについて話す」と表現する。

3-2-5. 活用の困難さ：サ変動詞の受け身や使役の活用に困難を感じる学習者が多い。特に、辞書形や使役形、受身形の使い分けに困っている学習者は過半数を占めている。例えば、「完成する」とその使役形「完成させる」との使い分けに苦労している学習者もあり、「感動する」とその受身形「感動される」との使い分けに苦労している学習者もいる。また、これらの活用形が文中でどのように機能するかを理解するのも難しいと感じている。

改善するための方法として、次の方法が考えられる。各活用形が実際にどのような文脈で使用されるかを学ぶことで、活用形の使い分けを理解しやすくする。例えば、「完成させる」を使う場面（例：プロジェクトを完成させる）と「完成する」を使う場面（例：建物が完成する）を具体的に示す。そのほか、活用形を含む文章を作成する練習問題を解く

ことが重要である。例えば、文脈が読める状況を設置し、「彼に（感動する/感動させる）」のような選択問題を通じて、適切な活用形を選ぶ練習を行う。また、日本語教師やネイティブスピーカーからのフィードバックを受けることで、間違いを修正しやすくなる。

3-3. 『みんなの日本語』について

3-3-1. 役に立つ部分：多くの練習問題があり、日常生活で使える会話が含まれている点が特に役立つ。例えば、買い物や病院での会話、道案内などの実用的なシチュエーションが豊富に取り上げられており、学習者が日常生活で直面する場面を想定して練習できる点が好評であった。

3-3-2. 改善点：まとまった長い文章が少ない点は改善の余地がある。特に、中級以上の学習者にとっては、より高度な読解力を養うための長文読解が必要であると感じる。また、教科書でよく出てくる基本的な丁寧語（です・ます）の表現が中心なので、学習者にとって活用できる表現が限られていると感じる。

3-3-3. 初心者への推薦：初心者には『みんなの日本語』を推薦するが、教師が教えることでより効果的になると考えられる。特に、独学では理解しにくい文法のポイント（特に助詞と活用）や文化的な背景について、教師が補足説明を加えることで、学習効果が高まる。また、教師がクラス内でディスカッションやロールプレイを導入することで、学習者が実際のコミュニケーションを通して学んだ知識を応用できる機会を増やすことが重要である。

4. おわりに

本研究から、『みんなの日本語』における漢語サ変動詞の意味理解は、中国人学習者にとって比較的容易であることがわかった。特に、中国語と同じ意味を持つ漢語サ変動詞は学習者にとって使いやすいつ感じられている。しかし、助詞の誤用や脱落が頻繁に見られるため、これらの点についてはより教師による丁寧な指導が必要であると考えられる。また、『みんなの日本語』における漢語サ変動詞の学習と使用場面については、フォーマルな場面では漢語サ変動詞が好まれ、カジュアルな場面では和語動詞が多く使われる傾向が見られた。この点から、学習者が適切な場面で適切な動詞を選択できるように指導することの重要性が示唆された。

『みんなの日本語』に関する評価では、わかりやすい点と多くの練習問題や日常生活で使える会話が含まれている点が評価された。これは学習者にとって非常に有用であるが、一方で、長文が少ない点やレッスンの意図が分かりにくい点には改善の余地があると指摘された。特に、漢語サ変動詞に関する練習問題や例文に関して言うと、学習者が実際の使用場面で適切な選択を行うためには、より具体的なコンテキストを提供することが必要である。

本研究から、『みんなの日本語』は中国人の日本語初心者にとって有用であり、漢語サ変動詞の理解と使用に関して学習者に良い影響を与えていることがわかった。しかし、助詞の使用や読解に関する詳細な指導が加わることで、学習効果がさらに向上することが期待される。

(以上、9513 字)

参考文献

- 1) 国立国語研究所(1962).『現代雑誌九十種の用語用字』秀英出版
- 2) 国立国語研究所(1973).『電子計算機による新聞の語彙調査』秀英出版
- 3) 国立国語研究所(1983).『高校教科書の語彙調査』秀英出版
- 4) 石堅/王建康(1983).「日中同形語における文法的ズレ」
『日本語・中国語対応表現用例集Ⅴ』日本語と中国語対照研究会編
- 5) 大和祐子 玉岡賀津雄(2009) . 中国人日本語学習者の日本語漢字語の処理における母語の影響. ことばの科学, 22 117-135
- 6) 李楓(2013). 現代日本語における汎用的漢語サ変動詞の抽出 とその内部構成の検討
第4回コーパス日本語学ワークショップ予稿集

2024 年 8 月 7 日提出

日本語日本文化研究 A (2024 年前期木曜 4 限)

長友文子先生

コミュニケーションにおけるアイコンタクトの
取り方の研究
—スリランカ人と日本人の若者を中心に—

日本語・日本文化研修留学生

大学名：ケラニア大学

学籍番号：C2310018

氏名：ABEYKOON MUDIYANSELAGE PIYUMI NADEESHA
ABEYKOON

目次

1. はじめに.....	1
2. 背景.....	1 - 2
2-1. アイコンタクトとは.....	1 - 2
2-2. スリランカと日本のアイコンタクトの違い.....	2
3. 研究方法.....	2 - 3
4. アンケートの結果と考察.....	3 - 12
5. 終わりに.....	12 - 13
参考文献.....	13

1. はじめに

本研究のテーマは、スリランカと日本の若者がコミュニケーションをする際に、どのようにアイコンタクトを取るのかについてである。

本研究の目的は、様々な場面でコミュニケーションを取る際、スリランカ人と日本人の若者のアイコンタクトの取り方の違いを明らかにすることだ。本研究は、コミュニケーションする時、両国の人々のアイコンタクトをより良く理解することに焦点を当てている。アイコンタクトが様々な環境で人々にどのような影響を与えるかを確認するための新しい実験も実施する。アイコンタクトを研究することで、人々がどのようにしてお互いにつながるのかを学び、人間のコミュニケーションについての理解を深めたいと考えている。この知識は、心理学、教育、日常の社会的交流など様々な分野でも役立つ。

アイコンタクトは、人間の行動の社会的、心理的、コミュニケーション的側面についての貴重な洞察を提供する。つまり、アイコンタクトに関する研究は幅広い分野と応用に及び、人間の行動、社会動態、様々な状況における非言語コミュニケーションの役割の理解に貢献している。アイコンタクトは、言葉を使わずにコミュニケーションをする上で重要な部分だ。それは、我々が他の人とつながるのに役立ち、我々が注意をしていることを示し、我々の交流をより本物に感じさせることができる。または、様々な状況で我々がどのように感じ、どのように行動するのかに影響を与える可能性がある。我々はアイコンタクトを毎日使用しているが、それがどのように機能するのか、そして、なぜそれがそれほど重要なのかについては、まだ学ぶべきことがたくさんある。

2. 背景

2-1. アイコンタクトとは

アイコンタクトとは、視線や目と目を合わせることを指す。これは、他者とのコミュニケーションや対話の一環として広く使用される。アイコンタクトは、相手との関係を築くために重要な要素であり、様々な状況で異なる意味を持つことがある。一般的に、良好なアイコンタクトは信頼感や自己自信を表し、相手に対する注意や興味を示すことができる。アイコンタクトというのは重要な非言語コミュニケーションの一つなのだ。これは、人間が様々な形の感情を伝えるために使用する非言語的コミュニケーションの形式だ。アイコンタクトがきちんと取れなかったら異文化間コミュニケーションもうまくできない。アイコンタクトは文化によって意味が違ってくる場合がたくさんある。アイコンタクトは 会話をする二人の間の信頼を維持するために必要であると考え文化もあれば、それは失礼になると考える文化もある。その考えは、人間がアイコンタクトを保つ時間に依存するからであろう。長いアイコンタクトと短いアイコンタクトはその二つだ。異文化コミュニケーション・ワークブックには(2001)は、「ある文化で適切だと思われるアイコンタクトが他の文化では長すぎて、あるいは強すぎて失礼になっ

てしまったりすることもあるのだ」と述べられている。アイコンタクトのおかげで他者との関係がもっと強くなったり、正直さを示せたり、説得への抵抗力を高めたり、人々の間の理解を深めたり、尊敬を築いたりできる。また、自己認識、魅力を生み出すことにも役立つ。さらにアイコンタクトは、人間関係を改善するのにも役立ち、職場での尊敬と信頼を高めるのにも役立つ。

2-2. スリランカと日本のアイコンタクトの違い

スリランカでは直接にアイコンタクトを取ることができない人は嘘をついている、または自分の中を何かを隠していると考えられている。そして、アイコンタクトなしではコミュニケーションが大変になる。「人は目を見ることで心の中にあるものを知ることができる」ということわざもあるようにアイコンタクトは、両者の間の快適さと信頼を維持するのに非常に役立つ。例えば、子供が両親や先生に叱られているとき、アイコンタクトをしないと、うそをついていると思われる。それだけでなく、アイコンタクトは恋人の間の愛と信頼をさらに強化する。

日本文化ではアイコンタクトは比較的少ないと言われている。そして、相手に尊敬する意味でアイコンタクトをあまり取らない人もいる。リッチモンド・マクロスキー（2006）は「**日本でアイコンタクトを取ると人々を不安や不愉快にさせてしまう。**」と述べている。しかし、最近、直接にアイコンタクトをとる日本人の若者が多く、また、会話の場面によってはアイコンタクトが必要なので、「日本でアイコンタクトを取ると人々を不安や不愉快にさせてしまう。」とは言い切れないのではないだろうか。または、日本文化では、コミュニケーション中のアイコンタクトは、多くの西洋文化で一般的であるものとはかなり異なる場合があると言われているが、最近の若者はそうではなく、直接にアイコンタクトする若者が多い。

アイコンタクトを研究することで、人々が言葉を使わずにどのようにコミュニケーションするのかについて学べる。人々は自分の感情は目で表現する。そして、アイコンタクトを通じて、正直さ、理解、親しみやすさなどの感情がどのように示されるかを確認することができる。自分が口で言うことを目で伝えることができるのである。

3. 研究方法

日本語を学習していない40人のスリランカ人と40人の日本人の若者に英語と日本語で書いたアンケート調査を行った。このアンケートは主に3つのセクションに分かれている。

まずは、アイコンタクトがどの程度重要なのかについて、みんなの意見を聞く質問である。次は順番に、セクション1では、「目上の人」「同僚」「目下の人」「親しい人」のように人の立場によって4つに分かれており、質問はそれぞれ4つである。セクション2では、「怒る時」「怒られる時」「恥ずかしい時」「悲しい時」「嬉しい時」のように気持ちによって5つに分かれており、質問はそれぞれ5つである。セクション3では、「面接 - インタビュー対象者」「指示（何かを指示する時）」「会議 - 会議出席者として」「会議 - 話し手として」「ビジ

ネス」のように場面によって 5 つに分かれており、質問はそれぞれ 5 つである。各セクションは、質問に応じた選択肢が 5 つ以上ある。最後に、対象者の意見を自由に記述するようになっている。

4. アンケートの結果と考察

以下のすべてのグラフは、青色が日本人、緑色がスリランカ人の人数を示している。対象者は両国から 40 人ずつだった。

図 1 は、アンケートに回答したスリランカ人と日本人の対象者の出身地を示している。

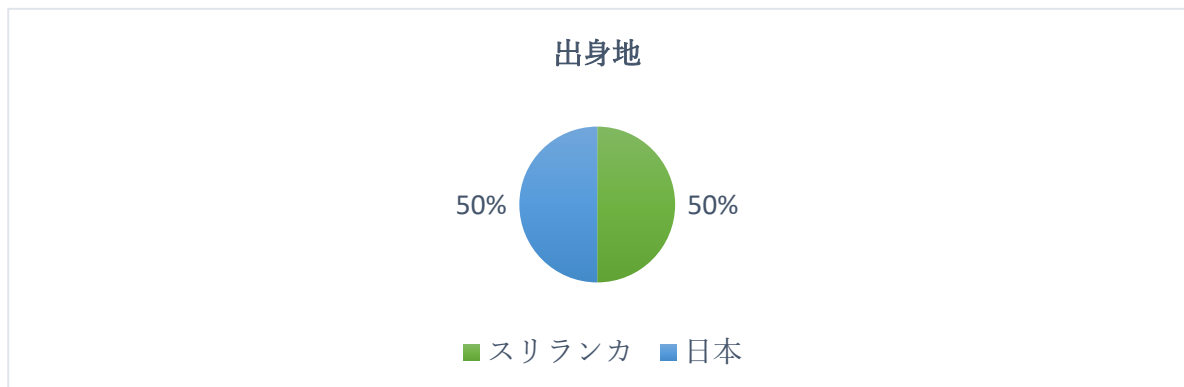


図 1 出身地

まずは、対象者は日常生活でコミュニケーションを取る時、アイコンタクトはどの程度重要だと思うのかという質問だった。スリランカ人の 80%はとても重要だと思う。残りの 20%は重要だと思う。日本人もほとんどはとても重要と重要だと思うが、特に気にしない人とあまり重要じゃないと思う人も 5%ずついる。

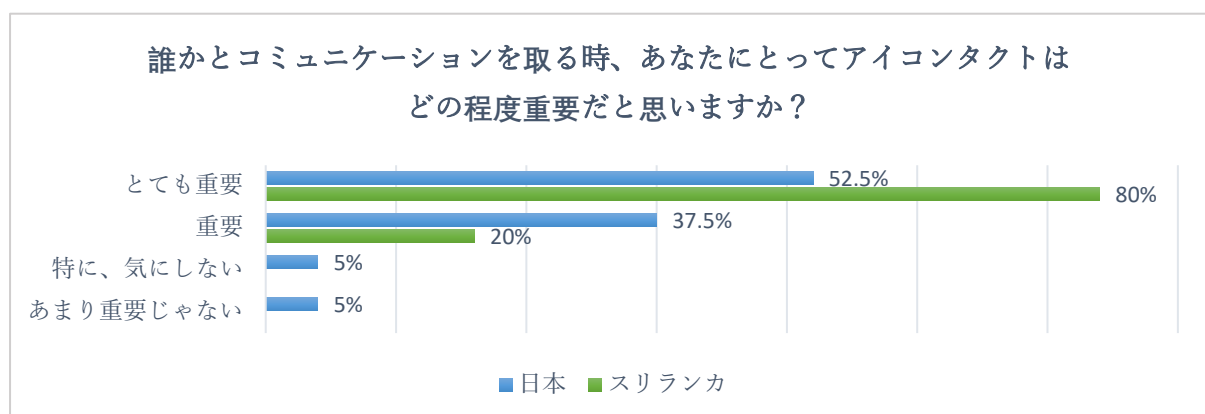


図 2 アイコンタクトの重要さ

セクション1 — 人によって

目上の人

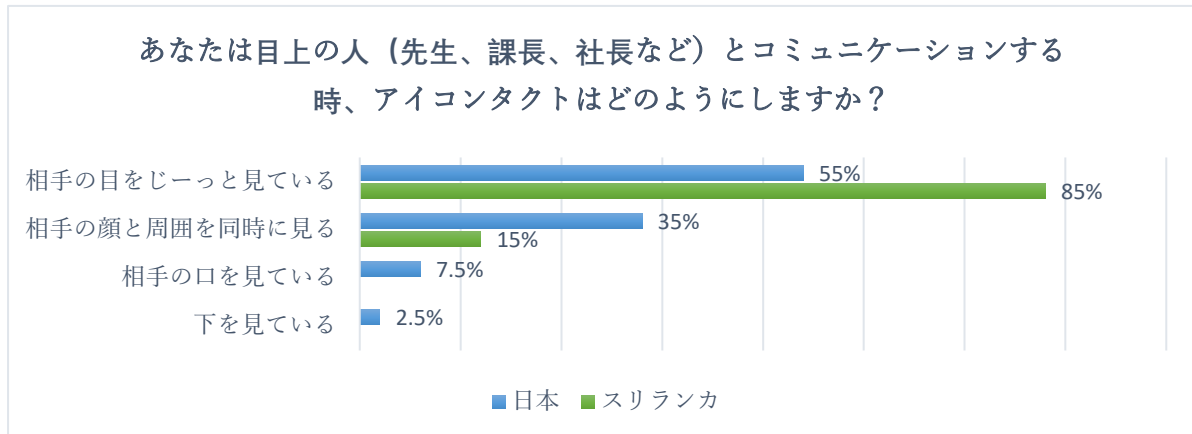


図3 目上の人とアイコンタクトの取り方

図3は、先生や課長や社長などの目上の人と一緒にどうやってアイコンタクトを取るのかを示している。スリランカ人の85%は相手の目をじっと見ている。残りの15%は相手の顔と周囲を同時に見る。日本人の中でも相手の目をじっと見ている人が多い。そして、相手の顔と周囲を同時に見る人も35%いる。または、人数が少ないが、相手の口を見ている人や下を見ている日本人もいる。

同僚

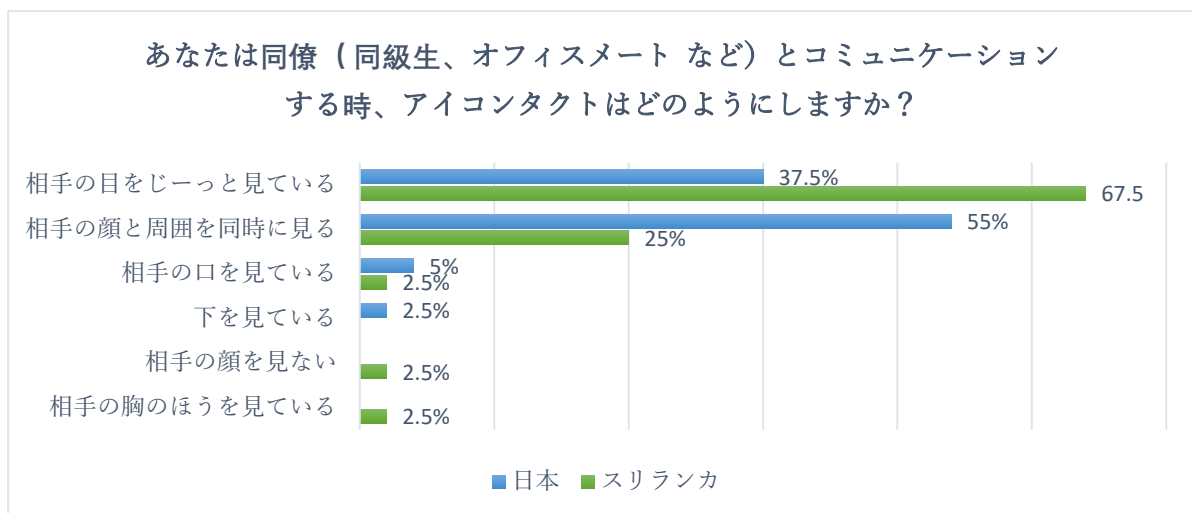


図4 同僚とアイコンタクトの取り方

図4は、同級生やオフィスメイトと一緒にどうやってアイコンタクトを取るのかを示している。スリランカ人のほとんどは相手の目をじっと見るが、日本人のほとんどは相手の顔と周囲を同時に見る。そして、相手の口を見ているスリランカ人は5%で、日本人は2.5%だ。下を見ているスリランカ人がいないが、日本人は2.5%いる。さらに、スリランカ人の中で、相手の顔見ない人と相手の胸のほうを見ている人は2.5%ずついる。

目下の人

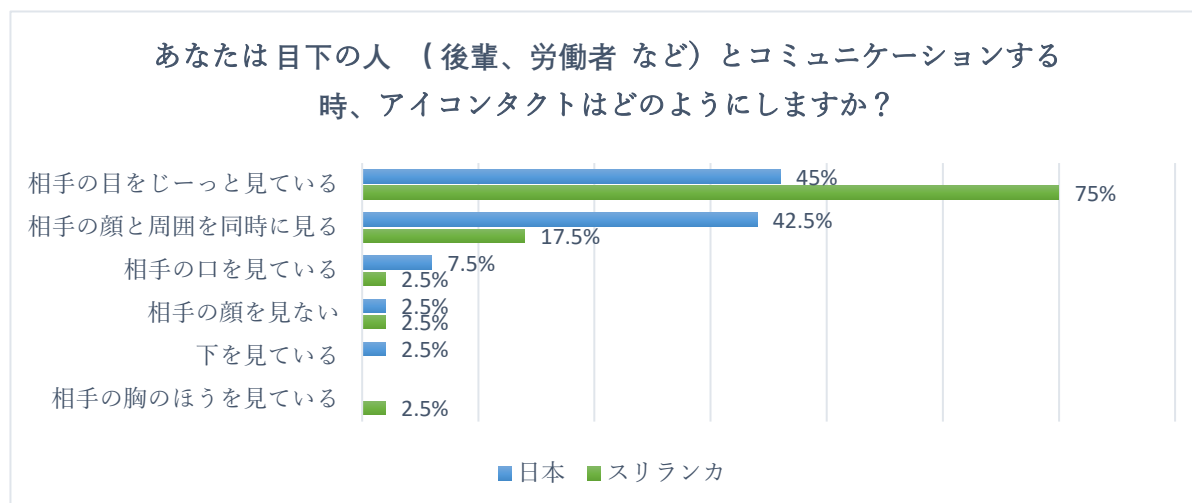


図5 目下の人とアイコンタクトの取り方

図5は、後輩や労働者など、目下の人と一緒にどうやってアイコンタクトを取るのかを示している。スリランカ人の75%は目下の人と一緒にコミュニケーションを取る時、相手の目をじっと見ている。日本人の中で、相手の目をじっと見ている人や相手の顔と周囲を見ている人数はだいたい同じだ。相手の口を見ている日本人は7.5%で、スリランカ人は2.5%だ。そして、相手の顔を見ない人は両国では2.5%だ。さらに、下を見ているスリランカ人はいないが、日本人が2.5%いる。また、相手の胸のほうを見ている日本人はいないが、スリランカ人は2.5%いる。

親しい人

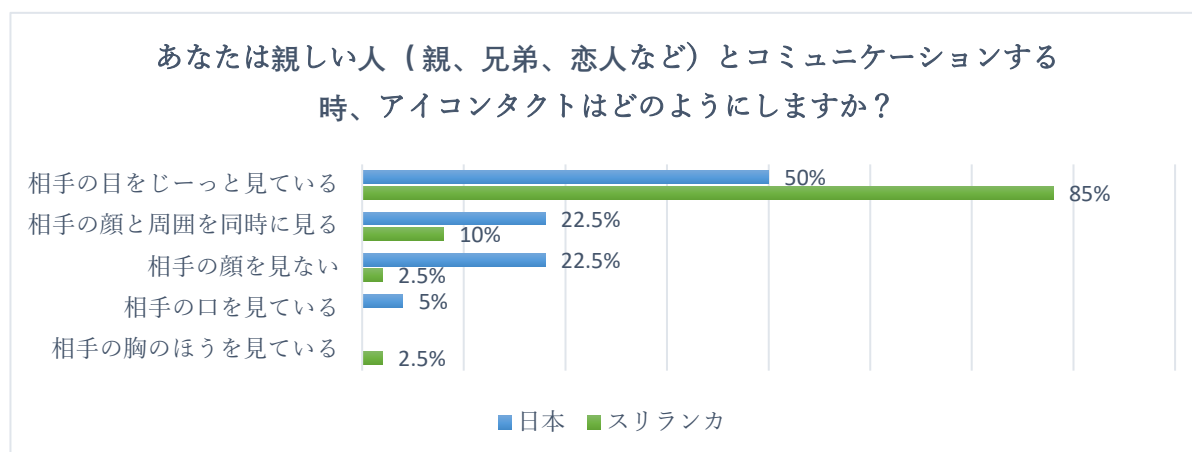


図6 親しい人とアイコンタクトの取り方

図6は、親や兄弟や恋人などの親しい人とどうやってアイコンタクトを取るのかを示している。スリランカ人の85%は、相手の目をじっと見ている。そして、日本人の半分は相手の目をじっと見ている。日本人の中で、相手の顔と周囲を同時に見る人と相手の顔を見ない人の人数は同じで、それは、22.5%だ。スリランカ人の中で、相手の顔と周囲を同時に見る人は10%で、相手の顔を見ない人は2.5%だ。相手の口を見ているスリランカ人はいないが、日本人は5%いる。相手の胸のほうを見ている日本人はいないが、スリランカ人は2.5%いる。

セクション2 — 気持ちによって

怒る時

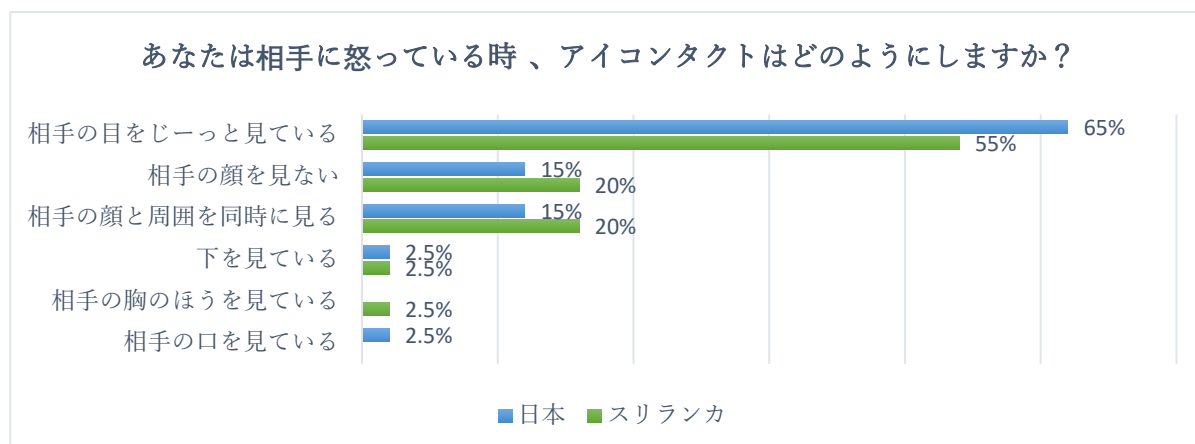


図7 怒る時のアイコンタクトの取り方

図7は、怒っている時の相手とのアイコンタクトの取り方を示している。両国のほとんどは怒っている時、相手の目をじーっと見ている。特に、スリランカ人より日本人のほうが相手の目をじーっと見ている人が多い。そして、スリランカ人と日本人の中で怒っている時、相手の顔を見ない人と相手の顔と周囲を同時に見る人の人数が同じだ。それは、日本人は15%で、スリランカ人は20%だ。両国で下を見ている人数が同じで、2.5%だ。怒っている時、相手の胸のほうを見ているスリランカ人があるが、日本はいない。怒っている時、相手の口を見ている日本人があるが、スリランカ人はいない。

怒られる時

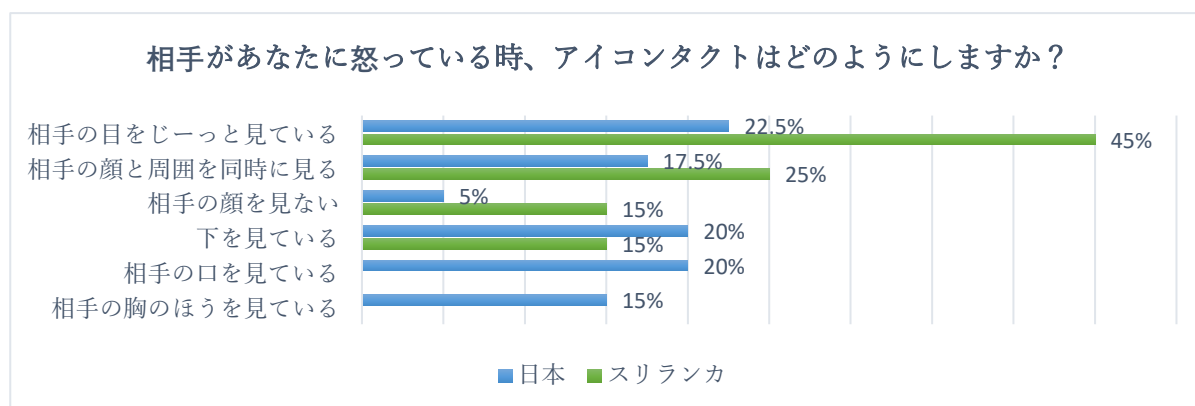


図8 怒られる時のアイコンタクトの取り方

図8は、怒られた時のアイコンタクトの取り方を示している。怒られる時、相手の目をじーっと見るスリランカ人は45%で、日本人は22.5%だ。相手の顔と周囲を同時に見るスリランカ人は25%で、日本人は17.5%だ。スリランカ人の中で相手の顔を見ない人と下を見ている人の人数が同じだ。相手の顔を見ない日本人は5%で、スリランカ人は15%だ。日本人の中で、下を見ている人と相手の口を見ている人の人数が同じで、それは、20%だ。相手の胸のほうを見ている日

本人も 15%いる。スリランカ人の中で、相手の口を見ている人と相手の胸のほうを見ている人がいない。

恥ずかしい時

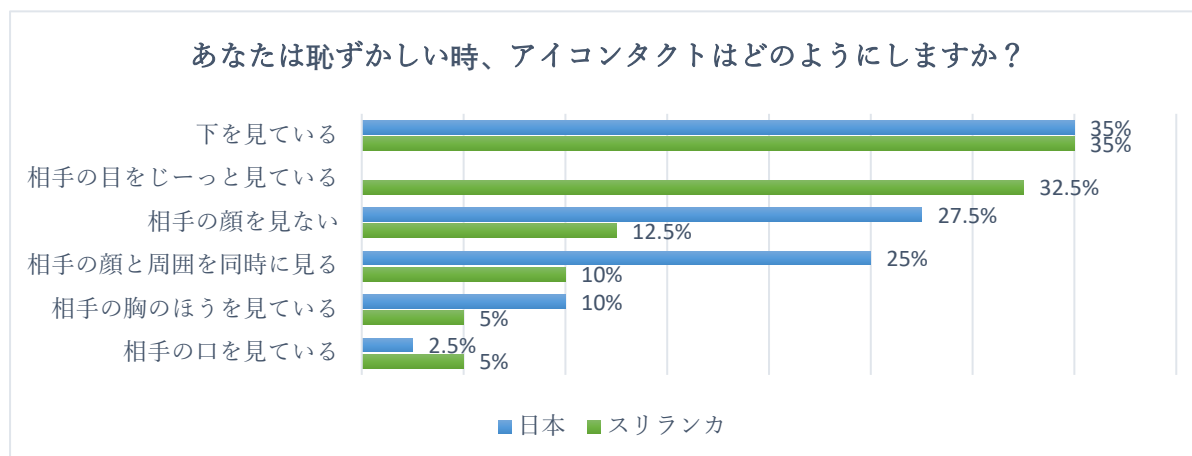


図 9 恥ずかしい時のアイコンタクトの取り方

図 9 は、恥ずかしい時、相手とどうやってアイコンタクトを取るのかを示している。両国では、恥ずかしい時、下を見ている人のほうが多く、人数も同じだ。しかし、それは半分以下だ。または、恥ずかしい時、相手の目をじーっと見ているスリランカ人は 32.5%いるが、日本人はいない。恥ずかしい時、相手の顔を見ない人もいる。日本人の中では、相手の顔を見ない人と相手の顔と周囲を同時に見る人もほぼいる。相手の顔と周囲を同時に見るスリランカ人は 10%だ。相手の胸のほうを見ている日本人は 10%で、口を見ている日本人は 2.5%だ。さらに、スリランカ人の中では、相手の胸のほうを見ている人と口を見ている人の人数は同じだ。

悲しい時

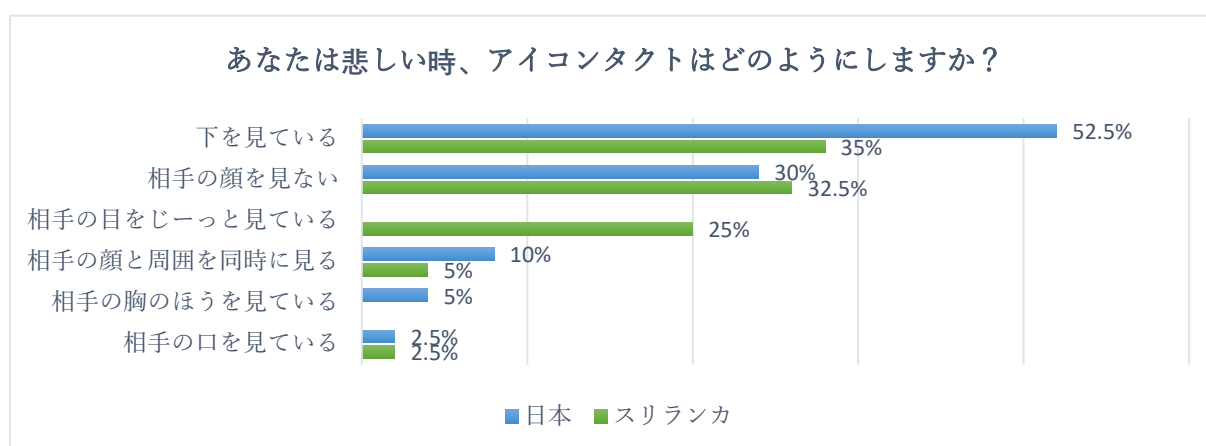


図 10 悲しい時のアイコンタクトの取り方

図 10 は、悲しい時のアイコンタクトの取り方を示している。悲しい時、下を見ている日本人の人数は半分以上だ。相手の顔を見ない日本人は 30%いる。そして、スリランカ人の中では、下を見ている人と相手の顔を見ない人の人数はだいたい同じだ。それは、順に、35%と 32.5%だ。

一方、相手の目をじーっと見ている日本人はいないが、25%のスリランカ人は相手の目をじーっと見ている。相手の顔と周囲を同時に見る日本人は 10%で、スリランカ人は 5%だ。そして、相手の胸のほうを見ているスリランカ人はいないが、日本人は 5%いる。さらに、両国では、相手の口を見ている人数が同じで、それは、2.5%だ。

嬉しい時

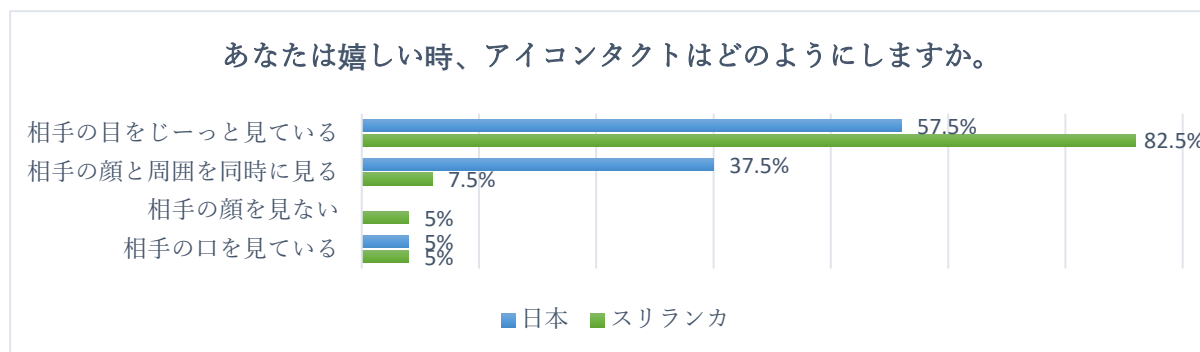


図 11 嬉しい時のアイコンタクトの取り方

図 11 は、嬉しい時、相手とどうやってアイコンタクトを取るのかを示している。82.5%のスリランカ人は嬉しい時、相手の目をじーっと見ている。日本人の中では、相手の目をじーっと見ている人は 57.5%で、相手の顔と周囲を同時に見る人は 37.5%だ。相手の顔と周囲を同時に見るスリランカ人は 7.5%だ。嬉しい時、相手の顔を見ないのはスリランカ人だけでそれは、5%だ。嬉しい時、相手の口を見ている日本人とスリランカ人は5%ずついる。

セクション 3 — 場面によって

面接で（インタビュー対象者として）

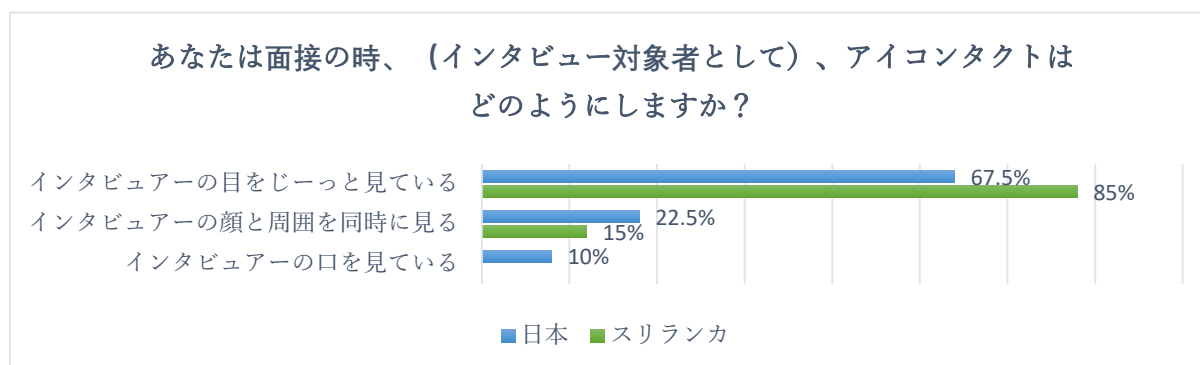


図 12 面接でのアイコンタクトの取り方

図 12 は、面接でインタビュー対象者として、相手とどうやってアイコンタクトを取るのかを示している。スリランカ人の 85%はインタビュアーの目をじーっと見ている。残りの 15%はインタビュアーの顔と周囲を同時に見る。日本人もほぼ面接の時、インタビュアーの目をじーっと見ている。それは、67.5%だ。インタビュアーの顔と周囲を同時に見る日本人は 22.5%だ。インタビュアーの口を見ている日本人は 10%いるが、スリランカ人はいない。

指示する時

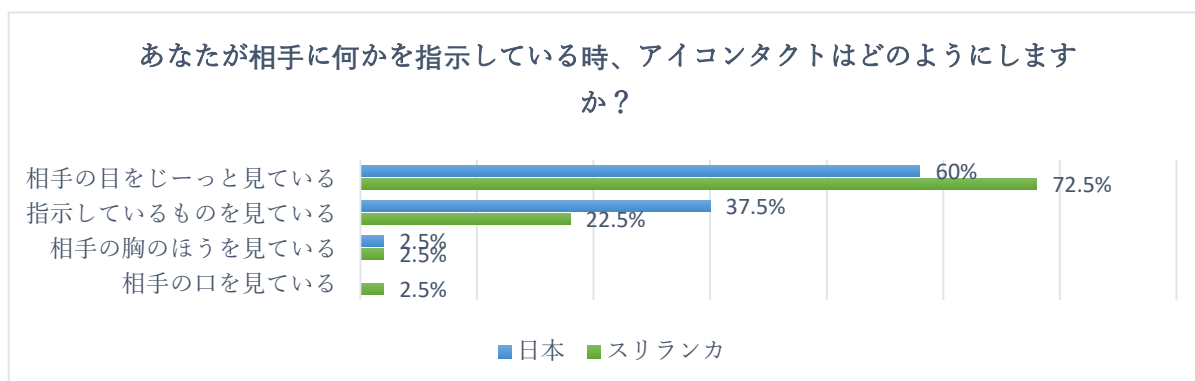


図 13 指示している時のアイコンタクトの取り方

図 13 は、何かを示している時、相手とどうやってアイコンタクトを取るのかを示している。何かを指示している時、両国のほとんどは相手の目をじっと見ている。それは、スリランカ人は 72.5%で、日本人は 60%だ。指示している物を見ている日本人は 37.5%で、スリランカ人は 22.5%だ。相手の胸のほうを見ている人もいるし、それが両国は同じで、2.5%だ。相手の口を見ている日本人はいないが、2.5%のスリランカ人は何かを指示している時、相手の口を見ている。

会議中（会議出席者として）

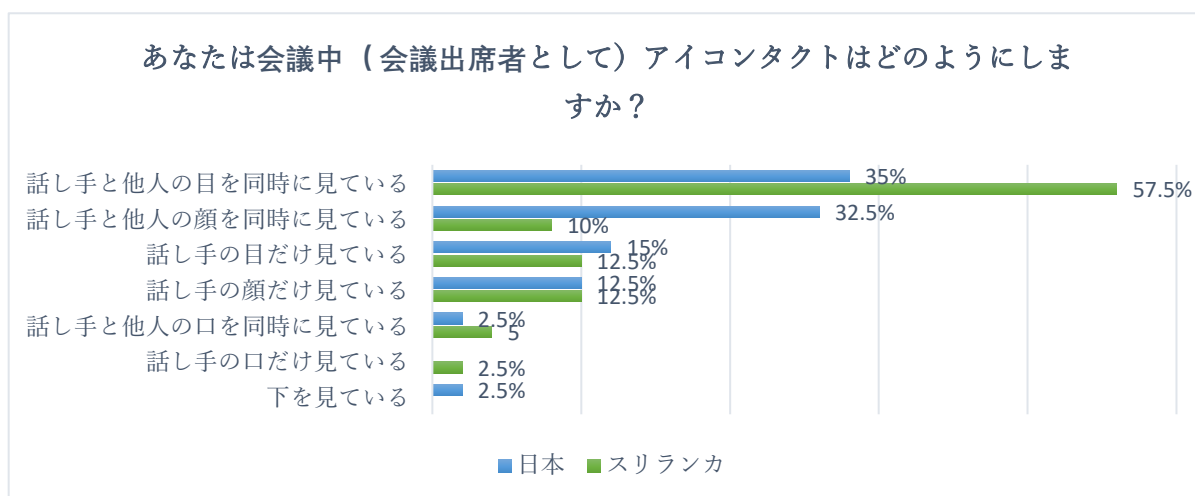


図 14 会議中会議出席者としてのアイコンタクトの取り方

図 14 は、会議中、会議出席者として相手とどうやってアイコンタクトを取るのかを示している。両国では、話し手と他人の目を同時に見ている人が多いが、日本人の中で、それは 50%以下だ。話し手と他人の目を同時に見ている人と話し手と他人の顔を同時に見ている日本人の人数がほぼ同じで、順に、35%と 32.5%だ。スリランカ人の中で、半分以上は話し手と他人の目を同時に見ている。話し手と他人の顔を同時に見ているスリランカ人は 10%で、それは、日本人と比べると、非常に少ない。日本人の中で、話し手の目だけ見ている人は、15%で、話し手の顔だけ見ている人は、12.5%だ。スリランカ人の中で、話し手の目だけ見ている人と話し手の顔

だけ見ている人の人数は 12.5%だ。会議出席者として、話し手と他人の口を同時に見ているスリランカ人は日本人より多い。話し手の口だけ見ているスリランカ人はいるが、日本人はいない。そして、下を見ている日本人いるが、スリランカ人はいない。

会議中（話し手として）

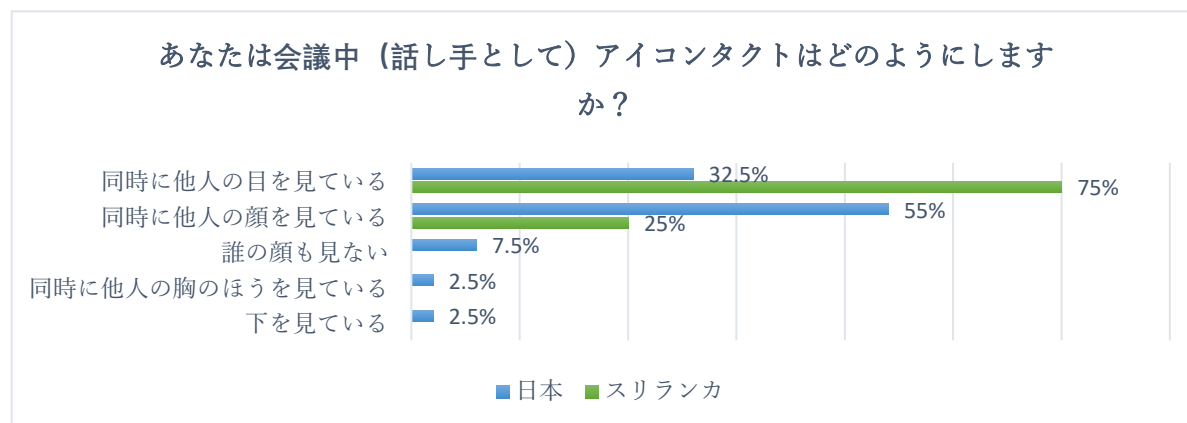


図 15 会議中話し手としてのアイコンタクトの取り方

図 15 は、会議中、会議の話し手として相手とどうやってアイコンタクトを取るのかを示している。スリランカ人の 4 分の 3 つまり、75%は、同時に他人の目を見ている。そして、残りの 4 分の 1 は、同時に他人の顔を見ている。日本人の中で、同時に他人の目を見ている人より同時に他人の顔を見ているほうが多い。同時に他人の目を見ている日本人は 32.5%で、同時に他人の顔を見ている日本人は 55%だ。会議中、話し手として誰の顔を見ない日本人も 7.5%いる。日本人の中で、同時に他人の胸のほうを見ている人と下を見ている人は、2.5%ずついるがスリランカ人はいない。

ビジネス（ビジネスマンとして）

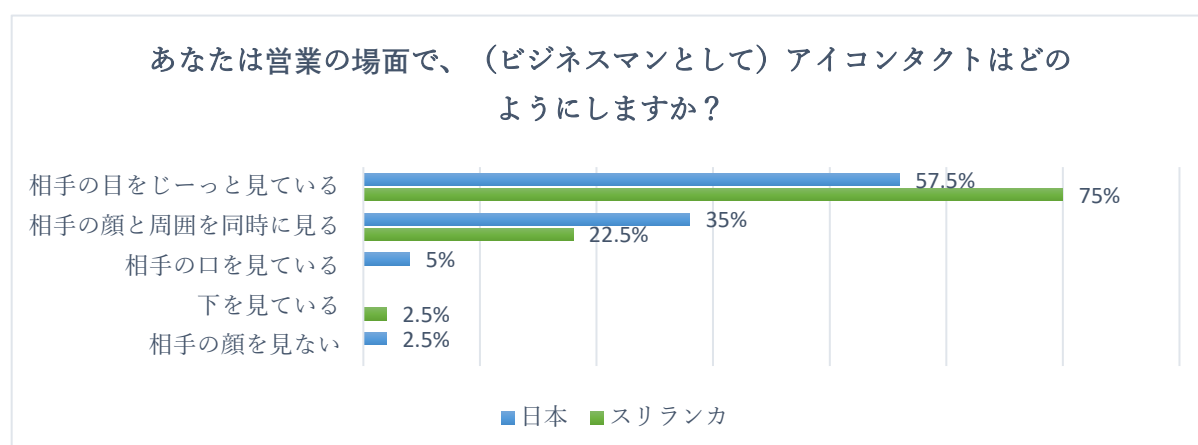


図 16 ビジネスマンとしてのアイコンタクトの取り方

図 16 は、ビジネスマンとして相手とどうやってアイコンタクトを取るのかを示している。ビジネスマンとして、スリランカ人の 4 分の 3 つまり、75%は、相手の目をじーっと見ている。そ

して、22.5%は、相手の顔と周囲を同時に見る。日本人の中で、57.5%は相手の目をじーっと見ている。35%は、相手の顔と周囲を同時に見る。下を見ているスリランカ人は 2.5%で、日本人はいない。さらに、相手の口を見ている日本人は5 %で、相手の顔を見ない日本人は 2.5%いるが、スリランカ人はいない。

記述式の回答

最後は、対象者の意見を自由に記述するようになっており、それに回答した人数は以下のようだ。スリランカ人の回答は51%で、日本人の回答は49%だ。

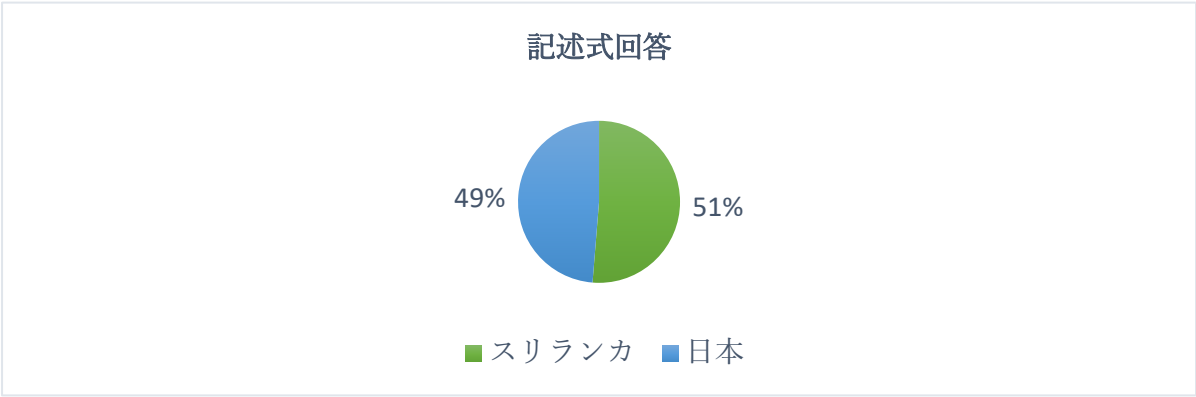


図 17 記述式回答人数

記述式回答によって、両国のほとんどはコミュニケーションを取る時、アイコンタクトは非常に役に立つと思っていることが分かった。また、アイコンタクトは、相手の信頼や関係値を高める上でとても重要なコミュニケーションであり、他人とのコミュニケーションを円滑に進めるために重要であり、気持ちがよく伝える大事な手段であるということも分かった。

特に、日本人の中には、基本的に相手の顔を見て話す人が多いが、人見知りをするので相手の目をずっと見るのが苦手であると回答した人もいる。さらに、「アイコンタクトはその人と思疎通するためにとっても重要なコミュニケーション方法である。しかし、相手と目を合わせて会話することが苦手な私はなかなか目を合わせて話すことが出来ない為相手に不快な思いをさせていないか少し心配である。」と答えた一人の日本人がいた。

以下は、筆者が期待していなかった記述式回答だ。

日本人	スリランカ人
面接を受ける際のアドバイスで、面接官の目をずっと見続けるのが気まずい時や慣れない時は、眉間の辺りを見ると良いと言われた。だから、他人とコミュニケーションをとる時も、たまに眉間の辺りを見る。	Eye contact helps to maintain concentration, focus and confidence while we are saying or presenting something to others.

目をじっと見る・胸を見るなどと言うより、相手の鼻の辺りを見るようにしている。そうすることで、相手からは目を見て話しているようにとらえられ、自分自身は相手の目を見ていないので緊張しにくくなる。	Eye contact is important as it reveals the personality and attitude level of a person.
目を見すぎると相手を緊張させてしまうから鼻の辺りを基本的に見るようにしている。	Eye contact is very important to managing the school classroom while teaching.
アイコンタクトをするだけで初めて会った時に良い印象を与えられると思う。	With eye contact, we can directly express and get ideas when communicating with others.
相手から見た自身の印象が変わるもの、それがアイコンタクトだと思う。	It focuses more on understanding communication between people.
人の感情を読み取るために重要なポイントだと考えている。	

図 18 記述式回答

5. 終わりに

本研究の調査結果で特に分かったのは、両国の若者はアイコンタクトを直接取っていることだ。

リッチモンド・マクロスキー（2006）によると、「日本でアイコンタクトを取ると人々を不安や不愉快（ふゆかい）にさせてしまう。」という報告があるが、最近、直接アイコンタクトをとる日本人の若者が多くなっている。さらに、対象者の記述式によると、相手の目を見ることはコミュニケーションにおいて非常に大切なことだと言っている日本人の若者が多かった。先行研究やレポートや記事などによるとスリランカ人はもともとから直接アイコンタクトをしていたということが分かった。アイコンタクトは、人々が言葉を使わずにどのようにコミュニケーションを行うかを理解するための重要な研究対象である。人々はしばしば目を通じて感情を表現し、アイコンタクトを通じて多くの情報を伝えることができる。具体的には、正直さ、理解、親しみやすさといった感情が目を通して示される。これは、言葉に頼らずに自分の意思や感情を他者に伝える手段として、目が果たす役割の大きさを示している。

アイコンタクトは、会話や対話において極めて重要な非言語コミュニケーションの一つである。例えば、ある人が話をしている際に相手の目を見つめることで、その話に対する関心や理解を示すことができる。また、目を合わせることによって、話し手と聞き手の間に信頼感や親しみが生まれやすくなる。これにより、より円滑なコミュニケーションが可能となる。さらに、アイコンタクトは感情の伝達にも大きな役割を果たす。例えば、喜び、悲しみ、怒りといった感情

は、目の動きや表情によって相手に伝えられることが多い。特に、目の輝きや涙は、感情の深さや強さを示す重要な指標となる。こうした目を通じた感情表現は、言葉だけでは伝えきれない微妙なニュアンスを相手に伝える手段として非常に効果的である。

このように、アイコンタクトは単なる視線の交換にとどまらず、コミュニケーションの質を高めるための重要な手段である。信頼関係の構築や感情の伝達において、アイコンタクトが果たす役割は計り知れない。本研究が、より深くコミュニケーションをするための理解が深まり、コミュニケーションの技術を磨くことができることの一助になることができれば幸いである。

参考文献

1. Jason Pestano (2020) 「Strategies for Improving Eye Contact During EFL Presentations by Japanese University Students」 pp.1-11 <<https://www.chubu.ac.jp/academics/wp-content/uploads/sites/9/2023/02/1humanities-english-rets-issues-rets3-01.pdf>> (参照 2024. 2. 2)
2. ディルルクシ・ラトナーヤカ／宗像みなみ (2023) 「異文化交流から学ぶ非言語的コミュニケーション」 JAPAN FOUNDATION
3. Better Up 「Eye contact is important (crucial really) in communication」 (2021. 9. 9) <<https://www.betterup.com/blog/why-is-eye-contact-important#:~:text=Eye%20contact%20is%20what%20happens,of%20white%20surrounding%20our%20irises>> (参照 2024. 2. 3)
4. WIKIPEDIA 「Eye contact」 (2023. 12. 9) <https://en.wikipedia.org/wiki/Eye_contact> (参照 2024. 2. 3)
5. 八代京子／荒木晶子／樋口容視子／山本志都／コミサロフ喜美 (2001) 『異文化コミュニケーション・ワークブック』 三修社
6. Cultural Atlas 「Sri Lankan Culture - Communication」 (2016) <<https://culturalatlas.sbs.com.au/sri-lankan-culture/sri-lankan-culture-communication#:~:text=Eye%20Contact%3A%20Sri%20Lankans%20often,may%20avoid%20eye%20contact%20altogether.>> (参照 2024. 6. 27)
7. Cultural Atlas 「Japanese Culture - Communication」 (2021) <<https://culturalatlas.sbs.com.au/japanese-culture/japanese-culture-communication>> (参照 2024. 6. 27)
8. japan-guide.com 「Direct eye contact offensive? 」 (2005) <<https://www.japan-guide.com/forum/quereadisplay.html?0+16030>> (参照 2024. 6. 27)
9. Nozomi Michiki Morgan (2016) 「How to Make Eye Contact with Japanese」 <<https://www.linkedin.com/pulse/how-make-eye-contact-japanese-nozomi-morgan>> (参照 2024. 6. 27)
10. Japanese man Santi' s Radio 「This is how to understand Japanese culture perfectly: Eye contact」 (2020. 11. 10) <<https://www.youtube.com/watch?v=fuehdQ2VIEg>> (参照 2024. 8. 5)

2024 年 8 月 7 日提出
日本語・日本文化研究 A（2024 年前期木曜 4 限）
長友文子先生

日本語とウズベク語の会話に見られる あいづち表現の比較対照研究

出身大学の大学名：ウズベキスタン国立世界言語大学
学籍番号：C2310014
氏名：トジマトフ・ドストムハツマド・シヨムハツマド・ウグリ

目次

1. はじめに	1
1.1 研究の背景	1
1.2 研究の目的	1
2. 先行研究	1
2.1 従来の研究	1
2.2 あいづち表現の由来について	1
3. 日本語とウズベク語のあいづち表現の比較対照	1
3.1 あいづち表現の定義	1
3.2 あいづち表現が使われた例文	2
3.3 あいづち表現の使用頻度の比較	4
3.4 類似点と相違点	6
4. アンケート調査	6
4.1 アンケート調査の目的	6
4.2 アンケート調査の観察	6
4.3 アンケート調査のまとめ	9
5. おわりに	9
参考文献	

1. はじめに

1.1 研究の背景

まず本研究のテーマを選んだ理由を述べたい。来日後、日本語であいづちをよく打つことに気づいた。そして、ウズベク語では、日本語と同じく、頻繁にあいづちを打つかが気になって、このテーマを選んだ。会話をするとき、相手に調子を合わせて、上手にあいづちを打つことは大事であろう。日本に来るウズベク人の数が年々増加している。ウズベク人が日本語で会話をすれば、相手の話と気持ちをよく理解し、上手に聞くことは大きなプラスになると思う。上手に聞くのにあいづち表現が欠かせないものだと思う。

1.2 研究の目的

日本滞在中のウズベク人が日本語で円滑なコミュニケーションをするために、本研究が役に立つことを期待している。相手により良い印象を与えるために、相手の話と気持ちをきちんと理解すること、「理解しているよ」「聞いているよう」というリアクションが重要であろう。この点で、あいづちを打つことは聞き上手になるのに、役立つと思っている。

本研究では、まずは、「Youtube」にアップロードされた日本語のポッドキャストとウズベク語のポッドキャストを比較し、両言語のあいづち表現の使用頻度が違うかどうかを調べる。そして、あいづちの定義とあいづち表現が使われた例文を挙げ、あいづち表現の使用頻度と文化的な点で類似点と相違点を探す。また、あいづちを打つことについて両言語の話者の考え方が違うかどうかと、聞き手があいづちを打たないと、話し手がどのように感じるかについてアンケート調査を通じて、調べてみる。

2. 先行研究

2.1 従来の研究

今まで日本語のあいづち表現について多くの研究者が研究してきた。だが、ウズベク語のあいづち表現についての研究の数が少ない。

森山卓郎 (2018) によれば、聞く人がどのように話に参加するかのもっとも単純な方法は「聞き取り表示」である、つまり、あいづち表現である。

森田六郎 (2011) は、「日本人は一般に、会話はできるだけ相手に合わせるように気を配る。だから、話す人が気持ちよく話せるように、聞いている人は、「ちゃんと聞いていますよ」ということを言葉や表情、態度などで表す」と指摘した。

2.2 あいづちの由来について

日本語のあいづち表現の要因について

王艶はあいづち表現の要因が三つあると指摘している。それらは地理環境、価値観と民族の特徴である。この三つの要因は文化の基礎であろう。ある民族の文化を知りたいなら、その民族の言語を勉強すれば、十分知れると思う。つまり、あいづち表現は日本文化の一つではないだろうか。

森田六郎 (2011) は、「「あいづちを打つ」という言葉は、昔、鉄を鍛えるときに、二人ペアで、相手に調子を合わせてトンテン、カンテンと槌で熱い鉄を打ったことから、生まれた言葉だ」と指摘した。

3. 日本語とウズベク語のあいづち表現の比較対照

3.1 あいづち表現の定義

日本語のあいづち表現の定義は、堀口純子 (1997) によれば、以下の通りである。

機能によるものとしては	表現形式によるものとしては
1. 聞いているということを伝える機能	1. 繰り返し
2. 理解しているという機能	2. あいづち詞
3. 同意の機能	3. 言い換え
4. 否定の機能	
5. 感情を強く出す機能	

ウズベク語のあいづち表現の定義は、「Arxiv.uz」というウェブサイトによると、以下の通りで

ある。ウズベク語であいづち表現は「Undov so`z」と言う。

1. どんな意味を表すかによって	>命令や支持をする意味 >感情を強く表す意味
2. 表現形式によって	>「Undov So`z」日本語で感情表現
3. 文法的な特徴	>文末に感嘆符「！」が来ることが多い

3.2 あいづち表現が使われた例文

これから上記のあいづち表現の定義にしたがって、日本語とウズベク語のあいづち表現が使われた例文を比較しながら観察していく。

例文 1

日本語	ウズベク語
リ:はい、それから、高校を卒業して、私はクアラルンプールにある有名な日本語学校に入学しました。そして、日本語と、数学と物理と化学を勉強しました。 中田:えっ、日本語学校で数学と物理?	Ri:Ha, undan so`z, yuqori maktabni bitirib, Kualalumpurdagi mashhur yapon tili maktabiga o`qishga kirdim. Undan so`z, yapon tili, matematika, fizika va kimyoni o`qidim. Nakata:A!?! Yapon tili maktabida matematika va fizika?
あいづち表現の機能:感情を強く出す機能	Undov so`zning yuqoridagi gapdagi funksiyasi: his-tuyg`ularni kuchli ifodalash
表現形式:あいづち詞、繰り返し	Undov so`zning shakliga ko`ra turi: Takrorlash, undov so`z
会話で見られるメリット:情報の追加、訂正、要求をすること	Undov so`zning yuqoridagi gapdagi ijobiy tomonlari: ma`lumotni to`g`riligini tekshirish

例文 2

日本語	ウズベク語
リ:その日は天気がよかったので、いつもと違う道で学校に来ました。そして、道を歩いていると、急に犬にほえられました。びっくりしました。 中田:ああ、犬はね...	Ri: O`sha kuni ob-havo yaxshiligi sababli, har doimgi yo`ldan emas, boshqa yo`ldan maktabga keldim. O`sha payt, ko`chada ketayotsam, birdaniga it hurib chiqdi. Qo`rqib ketdim. Nakata: Haa, itmi...?
あいづち表現の機能:聞いているということを伝える機能	Undov so`zning yuqoridagi gapdagi funksiyasi: Eshitayotganligini suhbatdoshga bildirish
表現形式:あいづち詞、繰り返し	Undov so`zning shakliga ko`ra turi: undov so`z
会話で見られるメリット:話し手の気持ちを支持すること	Undov so`zning yuqoridagi gapdagi ijobiy tomonlari: suhbatdoshning tuyg`ulariga hamdard bo`lish

例文 3

日本語	ウズベク語
リ：金曜日の夜は、たいてい、寮の友達と一緒に晩ご飯を食べます。みんな、色々な料理を作るので、色々な物が食べられます。 中田：へえ、楽しそうですね。	Ri: Juma kunlari kechasi, deyarli har doim, yotoqxonadagi do' stlarim bilan birga kechki ovqat yeymiz. Hamma har xil ovqat tayyorlaydi, shuning uchun har xil ovqatlardan tatib ko'rsa bo' ladi. Nakata: 0' o' o' !Qiziqarli bo'lsa kerak a?
あいづち表現の機能：感情を強く出す	Undov so' zning yuqoridagi gapdagi funksiyasi: his-tuyg' ularni kuchli ifodalash
表現形式：あいづち詞	Undov so' zning shakliga ko' ra turi: undov so' z
会話で見られるメリット：感情を強く出す	Undov so' zning yuqoridagi gapdagi ijobiy tomonlari: his-tuyg' ularni kuchli ifodalash

例文 4

日本語	ウズベク語
中田：2年生になって、授業は楽になりました。そして、今の自分を振り返りました。「僕はなぜマレーシア語を勉強しているんだろう」とか、「大学を卒業したら、僕はどうなるんだろう」とか。 リ：ふーん。	Nakata: Ikkinchi kurs bo'lganimda, darslar osonlashdi. Shu payt, o' zimni so' roqga tutdim. 「Men o' zi nega malay tilini o' rganyapman」 deb, 「universitetni bitirsam, nima qilaman」 shu kabi savollar bilan. Ri: Hmmm.
あいづち表現の機能：聞いているということを伝えること	Undov so' zning yuqoridagi gapdagi funksiyasi: Tinglovchi suhbatdoshning gapini eshitayotganini bildirish
表現形式：あいづち詞	Undov so' zning shakliga ko' ra turi: undov so' z
会話で見られるメリット：「話を続けてください」ということを伝える	Undov so' zning yuqoridagi gapdagi ijobiy tomonlari: suhbatni davom ettiring degan ma' noni gapiruvchiga yetkazish

上記のあいづち表現が使われた文を考察し、あいづち表現の意味や機能がほぼ同じであることが分かった。だが、ウズベク語のあいづち表現のバリエーションが日本語のあいづち表現ほど多くないと考えられる。

3.3 両言語のあいづち表現の使用頻度

まずは、ウズベク語のあいづち使用頻度を見ていきたい。そのため、「Youtube」から二人ペアのウズベク語のポッドキャストを取り、あいづちを何回打ったかを数えた。雑談が盛り上がっていたところだと思い、10分経ったところから始めて、2分間の雑談を観察した。

ウズベク語雑談のポッドキャスト
A: Ma'naviyat marifat kanalida bo'ldi. B: (1)He he he... A: Eng qizig'i: Sezardeka bo'ldida, Shekspir darajasida bo'ldida, u.

B: (2)Hm.

A: Ma'naviyatni o'rtaga ovolib, polniy pichoq tiqib tashashdi, oxiri ma'naviyatni o'ziyam Baxtiyor Alamjonovga qarab, atyubru devordide... He he he... Tushunvosizmi? Xattoki senmi? Deb tashadide.

B: (3)Haa.

A: Aytmoqchi bo'lganim, eee, hozir o'zlariyam aytadilar. Ha xo'sh xo'sh...

B: O'zi siz masalan mana bizning auditoriyaga yoki men tupoy insonga ma'naviyatni bir so'z bilan yoki bir gap bilan, bir jumla bilan...

A: (4)A, ha, ma'naviyat bu qadriyatlar yig'indisi.

B: (5)Aha. A yo'q, vikipediyaning o'qib bering demadim.

A: (6)Yo'q, yo'q, yo'q. Qadriyatlar yig'indisi. (7)Ahhhh. Va uni. Bu ma'naviyat so'zi o'zi shu, bo'lsa kerak. Mening tushunishim bo'yicha. Va uni o'zbek, o'zbek desa ham bo'ladi yoki o'zbekistonlik (B: (8)Aha) bu ham qiziq so'zda (B: (9)Aha) e, ya'ni o'zbek boshqa, o'zbekistonlik boshqa (B: (10)shu) va bu vapshi boshqa soha unga o'tmaymiz. O'zbek yoki o'zbekistonlik uchun mana shuni ifodasi ya'ni aniqlangani, (B: (11)hmm) yig'indisi bor. (B: (12)aha) Ana o'sha ma'naviyat. Biz uchun shu ma'naviyatda. (B: (13)aha) Lekin Sarvar akam ham, Karimov, yaxshi gap aytdilar. Ee, qadriyat yoki eeee, lyuboy narsa qadriyat bo'lishi mumkin. Eeee, yomon g'oyalar ham qadriyat bo'lishi mumkindee. (B: (14)hmm) Eee, o'shaning uchun ma'naviyatli odam... yo'q men adashdim. Hozir bilasizmi men aniq iqtibos qiberolmayman. O'shaning uchun hozir aytmaganim ham ma'qul. Eslomadim.

B: Men masalan oddiy so'z bilan ham tushintirib bera olmaymida, ma'naviyat nimaligini.

A: Shunisi bor. Endi ma'naviyat va ma'rifat xonalari bo'lgan, bizda, baribir har bitta maktabda va nimaga o'tta kofe damlab, choy damlab o'tirishgan?. Ovqatlanadigan joy bo'lganda o't. (B: (15)hmm) Nimaga? Chunki, shunchalik o'qituvchilarni o'zi ham nimagaligini (B: (16)haa ha) yoki bilmaydi va u ortiqcha bo'sh xona. (B: (17)haa ha ha) Ortiqcha xonada u (B: (18)hmm) Endi. Lekin, nimaga ma'naviyat kiritilganligini, lekin, o'zim uchun.

上記の太い字で記述されていた言葉はいいづち表現である。2分間の雑談の中で、言葉で表現されたあいづち表現の数は18である。これは(120/18=6.6)毎6.6秒で一回あいづちを打つことである。

次には、日本語のポッドキャストを観察し、あいづちの使用頻度を見ていきたい。これも、上記と同じ方法で、「Youtube」から二人ペアの日本語のポッドキャストを取り、あいづちを何回打ったかを数えた。雑談が盛り上がっていたところだと思い、10分経ったところから始めて、2分間の雑談を観察した。

日本語雑談のポッドキャスト	
A: あ、上手に聞ける…(B: (1)うん) そうですね、やっぱり相手の話を最後まで聞くこと(B: (2)うんうんうん)ですかね。(3)うん、あとはですね。まあ同じようなタイプのほうがいると思うんですよ。あの私と同じようにあんまり喋るのが上手じゃない方がいたら、まあ自分からどんどん質問できるようになんか、そうですね。まあ、考えておくのも大切だと思います。	
B: (4)あああ、そうですね。確かに盾同士になってしまうと会話盛り上がらないですね。(A: (5)笑そうですね、はい)うん。そのなんか質問ができるようになったのって(A: (6)うん) やっぱ努力して質問できるようになったんですか?	
A: いや、結構私は好奇心が旺盛なので、こういういろんなことに興味があるんですね。その人のこととか、考えとか、なので本当に思ったまま聞きますね。(7)うん、そう。	
B: 相手に興味があるってめっちゃくちゃ大事ですね。	
A: (8)そうですね。みんな面白いと思うのね。それぞれ違って。だから聞きます。	
B: (9)うん、なるほどね。あの、海外生活が大分長いんですけども、(A: (10)うんうんうん) で、しかも学習者ね(A: (11)うん) 学生の方とも色々話してて気づくのが(A: (12)うん) 多くの方は自分	

の考えとかアイデアを伝えたい伝えたい伝えたいっていう (A: (13) うん) 風に考えてしまって (A: (14) うんうん) なんか相手に興味が湧かなかつたりする人多いですよね。
A: (15) うんうん、そうですね。そういう方もいますね。
B: (16) ふーん、でも、やっぱ相手に興味を持つ。 (A: (17) うん) 多分ここからが多分最初の一步でしょうね。
A: (18) うん、そうですね。
B: (19) ふーん、いやありがとうございます。
A: (20) 笑笑笑。
B: いや、なんかあれですね。 (A: (21) うんうん) 間を怖がらないってことですね。
A: (22) そうですね。結構あのやっぱ私達は今 YouTube で (B: (23) うん) あの収録している、まあ Podcast で収録しているので結構間があったらどうでしょうとか、まあ、考えちゃうんですけど、あの日常生活だと間があるのは本当に普通のことなので、怖がなくていいです。

上記では、あいづち表現が太い字で記述されている。2分間の雑談で、23回あいづちを打っていることがわかる。これは $(120/23=5.2)$ 毎5.2秒で一回あいづちを打つことになる。

上の例を観察し、日本語とウズベク語の雑談のあいづち表現の使用頻度を比べ、日本語ほうが使用頻度が高いことがわかった。

3.4 類似点と相違点

上記を観察し、類似点として2つのことがわかった。類似点の1つ目は両言語であいづち表現表す意味は同じで、多くの場面で聞き手の話に対する反応を示す。類似点の2つ目はあいづち表現使用頻度が高いことだ。

また、相違点として2つのことがわかった。一つ目は、日本では、あいづちは話のリズムを保つために重要であり、相手に対する礼儀として頻繁に用いられる。また、ウズベク語でもあいづちは存在するが、日本語ほど頻繁に使われるわけではなく、文化的な違いが見られることである。2つ目は日本語のあいづちは非常に多様であり、細かなニュアンスを伝えることができる。ウズベク語も相手の話に対する反応が様々であるが、日本語ほどのバリエーションはないかもしれない。

4. アンケート調査

ここまで、両言語のあいづち表現の定義や使用頻度について論じてきた。だが、あいづちを打つことは両言語の話し手の立場からみたら、話し手にどのような影響を与えるかがまだ不明だ。それを調べるために、アンケート調査を実施した。

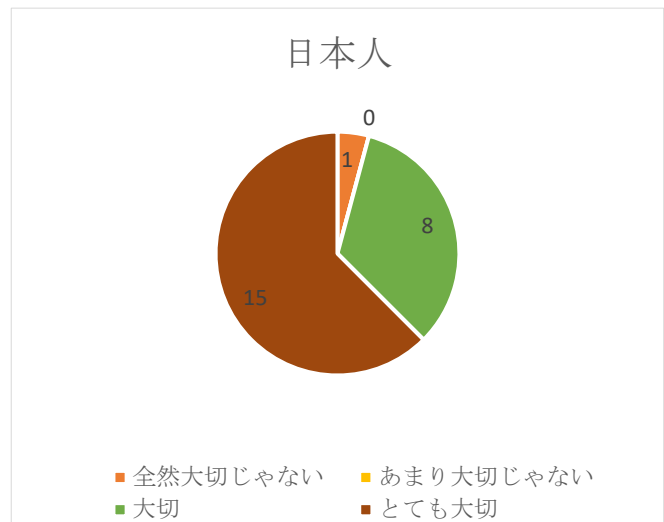
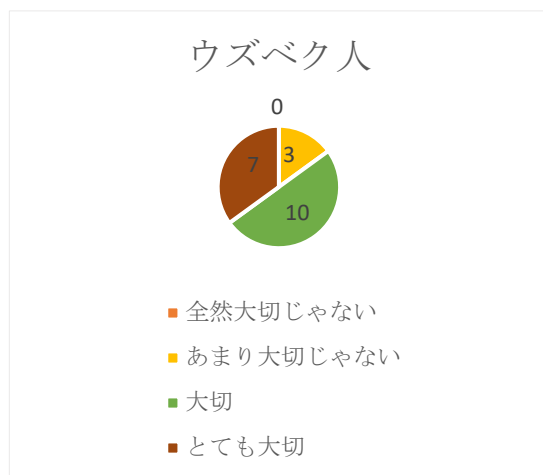
4.1 アンケート調査の目的

これはウズベク人と日本人を対象としたアンケート調査である。1つ目の目的はコミュニケーションにおけるあいづち表現の重要性について両言語の話者の個人的な考え方に違いがあるかどうかを調べることである。2つ目の目的はあいづちが適切でないと感じたときにどのような感情が生じるか、これが相手との関係にどう影響するかを調べることである。3つ目の目的は会話中に相手が本当に理解しているか、ただ形だけの反応をしているのかという点を評価することで、あいづちが共感や理解の表現としてどれほど有効であるかを調べることである。

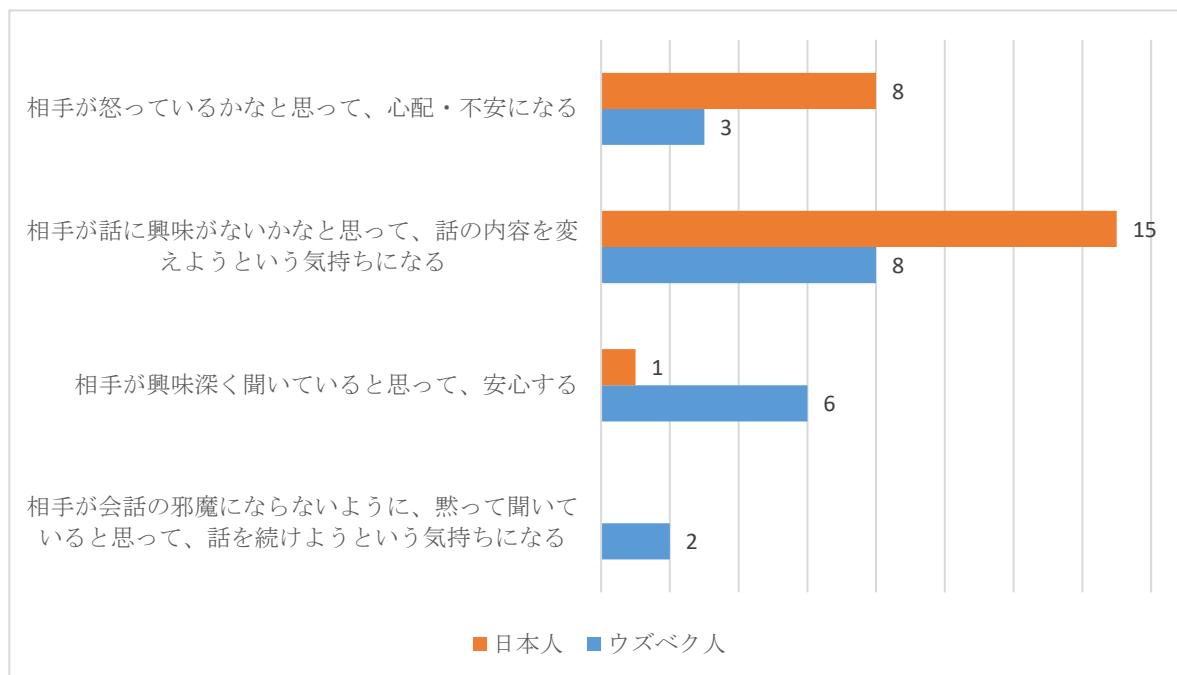
4.2 アンケート調査の観察

アンケート調査に回答して、協力してくださった方は44名である。24人は日本人で、20人はウズベク人である。以下はアンケート調査の質問と回答である。

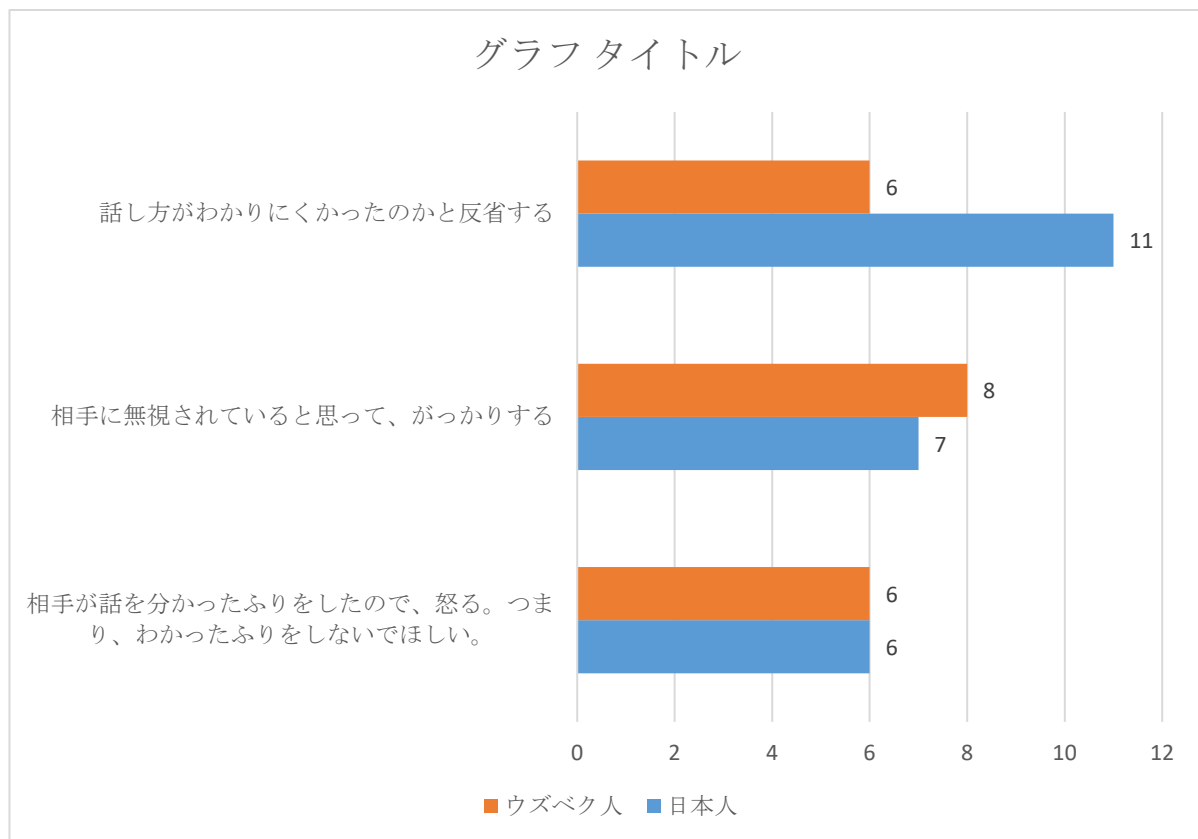
質問1 あいづち表現はあなたにとって大切ですか？



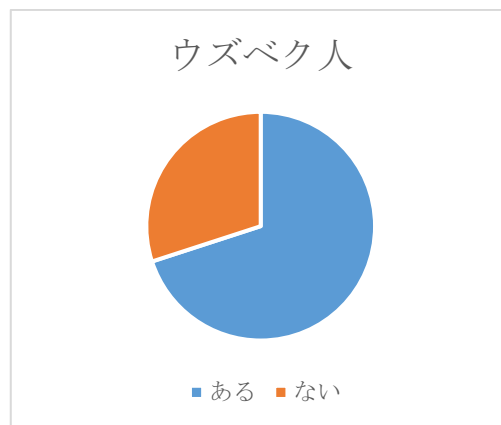
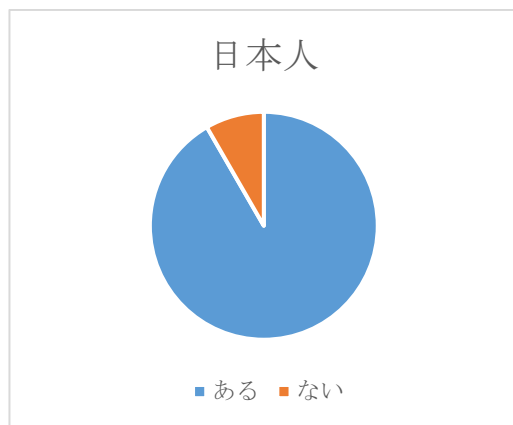
質問 2 会話中、自分が話している時、相手が「聞いていますよ」というあいづち（うん、フーン）を打たないと、どんな気持ちになりますか？



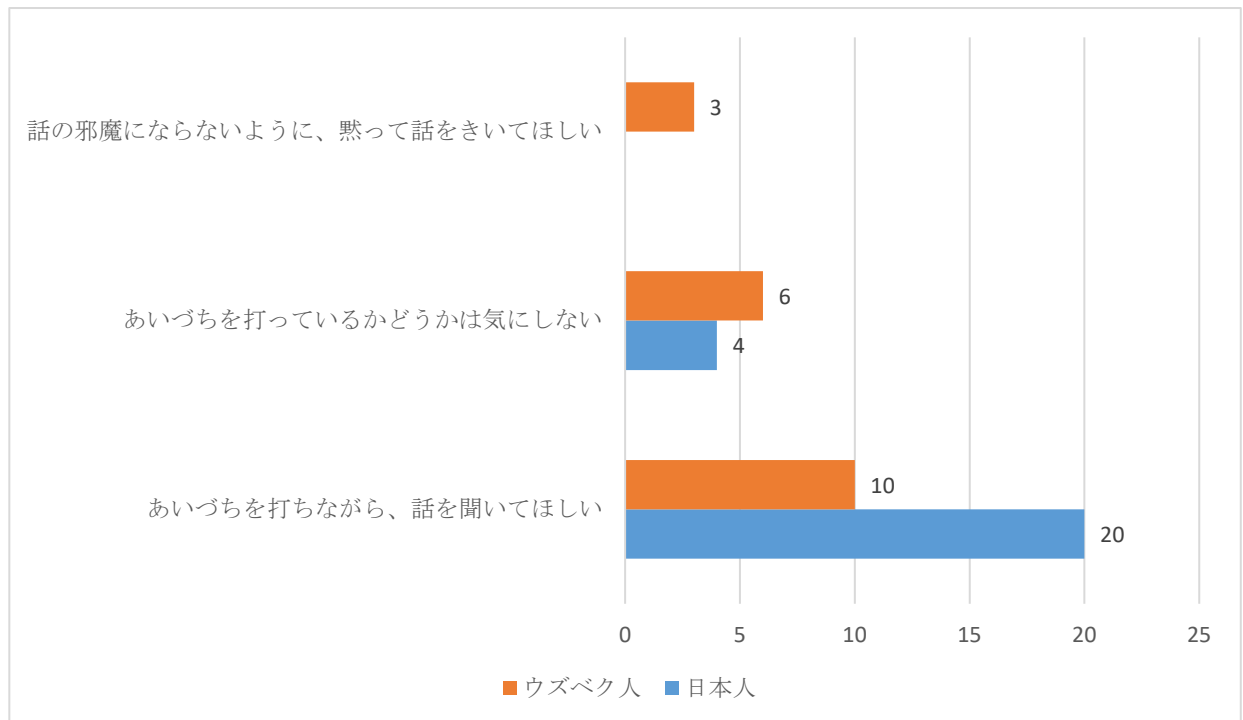
質問 3 会話中、相手が話の内容をきちんと分かっていないのに、分かったふりをしてあいづちを打ったことに気づいたら、どんな気持ちになりますか？



質問 4 会話中、相手の話の内容が分かっていないのに、あいづちを打って、分かったふりをしたことがありますか？



質問 5 相手があいづちを打ちながら、話を聞いてほしいですか？または、あいづちを打たずに、黙って話を聞いてほしいですか？



4.3 アンケート調査のまとめ

上記のアンケート調査を観察し、以下のことがわかった。

1. 両言語の話者は会話をする際にあいづちが大事だと思っている。
2. 両言語の話者は聞き手があいづちを打たないと、聞き手が話に興味がないと思っている。
3. 両言語の話者によれば、話を聞いていないのに、聞いているよとあいづちをうつことがあった経験は多い。
4. あいづちを打ちながら、話を聞いてほしいと思う人は、ウズベク人より日本人のほうが多いこと。
5. ウズベク人の中で相手に話を黙って聞いてほしい人もいる。つまり、あいづちを打たなくてもよいことになる。
6. ウズベク人は日本人に比べると、あいづちにこだわらないこと。

5. 終わりに

人と会話をするとき、聞き上手になるために、聞き手の役割をよく理解すべきだろう。聞き手の重要な役割は相手の調子や気持ちに合わせて、あいづちを打つことである。あいづちは会話で重要な役割を果たすのではないだろうか。円滑なコミュニケーションをするのにあいづちを打つことは欠かせない物だと思う。しかし、それを分らないと、話し手に悪い印象を与えてしまうかもしれない。本研究では、ウズベク語と日本語のあいづち表現について論じた。あいづちを打つことについてアンケート調査を実施し、あいづち表現に対するウズベク人と日本人の意識や感情、コミュニケーションスタイルを探った。

ウズベク人が日本語で会話をする際に、あいづち表現にもフォーマル、インフォーマルな言い方がある。それも理解すべきだと思う。それについては、今後の課題としたい。

参考文献

1. 森山卓郎 2018 「コミュニケーションの日本語」 『岩波ジュニア新書』 86
2. 森田六郎 2011 「日本人の心が分かる日本語」 『アスク出版』 107
3. <https://higashiajiagengobunka.com/files/06-10.pdf> 2024. 5. 16 アクセスした
4. 森田六郎 2011 「日本人の心が分かる日本語」 『アスク出版』 108
5. [チュルク語族 - Wikipedia](#) 2024 年 8 月 5 日アクセスした
6. https://youtu.be/9xDAeKs96hc?si=R1zEBmGNxK_0YOCV 2024 年 8 月 5 日アクセスした 10 分～12 分
7. <https://youtu.be/X0fE2n0VZaA?si=DBBst3H0432xHVC1> 2024 年 8 月 5 日アクセスした 10 分～12 分
8. 堀口純子 1997 「日本語教育と会話分析」 『くろしお出版』 40 ページ
9. 西口光一 2018 「テーマで学ぶ中級日本語」 『くろしお出版』 84、106
10. https://docs.google.com/spreadsheets/d/1jKNBvcJoRAIvg4tmxHuTzxK8nwW-Ghxa7RgFHxpo_nk/edit?usp=sharing アンケート調査のファイル 2024 年 8 月 5 日アクセスした
11. https://drive.google.com/drive/folders/1yAd2PViGz0_nk30c5fSIyE227ATH_kZ_?usp=drive_link あいづちについてソーシャルメディアでの動画
12. [Modal so ‘zlar, Undov so’ zlar, Taqlid so ‘zlar \(arxiv.uz\)](#) 2024 年 8 月 5 日アクセスした

2024年度 日本語・日本文化研修留学生 研究発表会



日時：2024年8月2日（金） 13:10～16:30



場所
教室「E1-303」
Zoom
ミーティングID: 817 8380 7595
パスコード: 079771

和歌山大学留学生による研究発表会をハイブリッド式（対面・Zoom）にて開催いたします。
日本語・日本文化研修留学生7名が1年の留学を通して研究した内容を発表いたします。

発表者	国籍	テーマ
コウシク	 インド	日本語の助詞「で」／「に」とアッサム語の助詞「@」 (ta)／「@」 (re)の対照研究－「窓のトットちゃん」の日本語版とアッサム語版の比較から－
ムティア	 インドネシア	日本人学生とインドネシア人学生におけるSNSの使い方の類似点と相違点
ギー	 ブラジル	日本語の「心」について－『不安の書』に見られる「心」は英訳の「The book of Disquiet」にどのように表現されているか－
ズイ	 ベトナム	在日ベトナム人技能実習生の抱える問題－経済的負担・健康・労働災害－
アンナ	 中国	『みんなの日本語』における漢語や動詞が中国人日本語学習者に与える影響について
ピコミ	 スリランカ	コミュニケーションにおけるアイコンタクトの取り方の研究－スリランカ人と日本人の若者を中心に－
ドスト	 ウズベキスタン	日本語とウズベク語の会話に見られる相違表現のメリットとデメリット



【問合せ先】
和歌山大学 日本学教育研究センター
kokusai@ml.wakayama-u.ac.jp

2023-2024 年度 日本語・日本文化研修留学生

❖ 指導教員：長友 文子（ナガトモ アヤコ）

❖ 留学期間：2023.10～2024.9

❖ 氏名・国籍

☆ MAZUMDAR KAUSHIK インド

☆ MUTHIA FARHA AIDIL インドネシア

☆ FERREIRA PAULO GUILHERME ブラジル

☆ NGUYEN TRUONG DUY ベトナム

☆ 陳 安娜 中国

☆ ABEYKOON MUDIYANSELAGE PIYUMI NADEESHA ABEYKOON スリランカ

☆ TOJIMAMATOV DUSTMUKHAMMAD ウズベキスタン





2024年度
日本語・日本文化研修留学生 研究レポート集

2024 年 9 月 1 日発行

編集・発行

和歌山大学 国際イニシアティブ基幹 日本学教育研究センター

〒640-8510 和歌山市栄谷 930

TEL: 073-457-7524

FAX: 073-457-7886